

令和7年度 地域保健総合推進事業 年次報告書

災害時の栄養・食生活支援活動の
マネジメントと連携強化及び災害対応能力の育成

一般財団法人 日本公衆衛生協会

令和8年3月

令和7年度地域保健総合推進事業 年次報告書 目次

【事業の概要】

1	事業目的	1
2	求められる成果	1
3	事業班体制	2
4	事業内容	3
5	令和7年度の成果	3
6	令和8年度の計画	4
	(参考) 令和7年度スケジュール	4

【量的調査の概要（大規模災害時の栄養・食生活支援活動にかかる準備状況調査）】

1	調査目的	5
2	実施主体	5
3	調査対象	5
4	調査方法	5
5	調査期間	5
6	調査内容	5
7	回収率	5
8	結果の概要	8
	(1) 結果のポイント	8
	(2) 設問別の主な集計結果（都道府県）	14
	(3) 設問別の主な集計結果（市区町村）	20
9	考察	26

【質的調査の概要（被災自治体へのインタビュー調査、関係職種へのインタビュー調査）】

1	調査概要	27
2	インタビュー調査項目	28

【量的調査_資料編】

1	都道府県	
	・調査票	29
	・設問別集計表	44
2	保健所設置市・特別区・市町村	
	・調査票	56
	・設問別集計表	76

【事業の概要】

自然災害が頻発化・長期化する中、防ぎ得る死と二次健康被害の最小化、被災者の早期自立を促すためには、発災直後から、復旧・復興さらには平時の備えに至るまで、全ての災害サイクルのフェーズにおいて、管理栄養士による適切な栄養・食生活支援マネジメントと関係職種・団体との連携強化が必要である。

本事業では、令和6年能登半島地震等の課題を踏まえ、受援体制、初動対応、要配慮者支援、関係職種間連携を中心に量的・質的調査を実施し、実務に資するガイドラインを整備するとともに、災害時の栄養・食生活支援に必要な方策と体制整備を明記した地域防災計画等の策定に寄与する提言を示す。これにより、誰一人取り残さない災害時の栄養・食生活支援体制の構築を推進する。

1 事業目的

避難生活に伴う二次健康被害を防ぎ、被災者の早期自立を促すには、災害サイクルの各フェーズで管理栄養士が栄養・食生活支援を適切にマネジメントすることが重要である。併せて、保健医療福祉活動チーム等の多職種やNPO・民間企業等との連携が不可欠である。

本事業では、令和6年能登半島地震等で顕在化した受援体制、初動対応、要配慮者支援、連携課題等を整理し、平時の備えに資する標準的方策を提示する（R7～8年度の2年計画の1年目）。

本事業のねらい ➤ マネジメント × 連携強化 × 災害対応能力育成

<令和6年能登半島地震を含む災害対応の主な課題（十分な対応が行われなかったこと）>

- ①発災初期から管理栄養士による適切な栄養・食生活支援マネジメント
- ②県と市町村との情報共有や、活動方針にかかる協議、連携協働した活動
- ③保健医療福祉活動チームやNPO・民間企業等との連携
- ④要配慮者の個々に配慮した食事提供 など

2 求められる成果

- ・受援体制や初動対応、要配慮者支援、関係者間の連携課題などを整理し、平時の備えに資するガイドラインを提示する。
- ・災害時の栄養・食生活支援に必要な方策と体制整備を明記した地域防災計画等の策定に寄与する提言を提示する。

3 事業班体制

被災経験（受援・派遣）のある都道府県・市町管理栄養士、災害時の栄養・食生活支援活動にかかる関係機関・職種など、多職種と連携したチーム編成とする。

班構成	所属役職	氏名	所属
分担事業者	副所長兼課長	諸岡 歩	兵庫県伊丹健康福祉事務所健康管理課
協力事業者	課長代理	磯部 澄枝	新潟県十日町保健所地域保健課
協力事業者	主幹兼課長	大倉 香澄	熊本県御船保健所保健予防課
協力事業者	技術主査	君ヶ袋志麻	宮城県塩釜保健所
協力事業者	主幹	藤川千恵子	石川県健康福祉部健康推進課
協力事業者	栄養士	小俵 千尋	熊本県益城町健康保険課
協力事業者	上席栄養士	高野 大太	静岡県富士市地域保健課
協力事業者	技術主幹	茄子川英有	宮城県石巻市河南総合支所
協力事業者	主任管理栄養士	松田美加子	愛媛県西予市福祉事務所長寿介護課
協力事業者	係長	山本めぐみ	岩手県岩手町健康こども課
助言者	統括研究官	奥田 博子	国立保健医療科学院
助言者	副部長	風間 聡美	福島県相双保健福祉事務所（全国保健師長会）
助言者	准教授	久保 彰子	女子栄養大学
助言者	防災監	黒木 研治	神奈川県大井町防災安全課
助言者	専務理事	下浦 佳之	公益社団法人日本栄養士会
助言者	部長	清野富久江	国立保健医療科学院 生涯健康研究部
助言者	客員教授	坪山 宜代	宇都宮大学
助言者	特任講師	中久木康一	東北大学大学院歯学研究科
助言者	所長	西田 敏秀	宮城県延岡保健所（全国保健所長会）
助言者	事務局長	明城 徹也	JVOAD（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）
助言者	室長	塩澤 信良	厚生労働省健康・生活衛生局健康課栄養指導室
助言者	室長補佐	田中 早苗	厚生労働省健康・生活衛生局健康課栄養指導室
助言者	室長補佐	佐々木祥平	厚生労働省健康・生活衛生局健康課栄養指導室
助言者	主査	小岩井 馨	厚生労働省大臣官房厚生科学課災害等危機管理対策室

(R8.3月現在)

4 事業内容

自治体の災害対応能力を高めるため、令和7年度は定量・定性の両面から実態把握を行うこととし、次の三本柱で実施した。

(1) 大規模災害時の栄養・食生活支援活動にかかる準備状況調査（量的調査）

前回調査（平成30年度）から7年経過後における、①地域防災計画への栄養・食生活支援にかかる記載状況、②平時の準備状況（備蓄、協定、体制、人材育成等）の評価に加え、③新たに災害時の栄養・食生活支援にかかる庁内外の関係機関との連携状況等について、質問票により現状を把握した。調査対象は、都道府県本庁・市町村・特別区の防災部局とし、防災部局が健康部局など関連部局に確認の上、回答するようメールで依頼した（令和7年10～11月実施）。

(2) 被災自治体へのインタビュー調査（質的調査）

発災初期から、自治体管理栄養士による栄養・食生活支援活動が適切に行えるよう、受援体制の整備、特に初動マネジメントを強化する上での課題を把握するため、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、令和6年能登半島地震を経験した被災市町（保健師・管理栄養士）と管轄保健所（保健所長・保健師・管理栄養士）、本庁（保健師・管理栄養士）に対するインタビュー調査（オンライン）を行う（令和8年1～3月実施）。

(3) 関係職種へのインタビュー調査（質的調査）

管理栄養士との効果的な連携強化を進めるために必要な事項を把握するため、管理栄養士（自治体管理栄養士、日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT）と連携する関係職種（DMAT、日本赤十字社、小児周産期リエゾン、JDAT、JDA-DAT、JRAT、DWAT、JVOAD/NPO 団体、アレルギー関連学会、自衛隊）へのインタビュー調査（オンライン）を行う（令和8年1～4月実施）。

5 令和7年度の成果

量的調査から、市区町村では食料備蓄の整備は進む一方、食事の質の確保や健康管理、要配慮者支援、受援調整など運用面に関して引き続き課題があることが示された。

管理栄養士が地域防災計画の策定に参画することは、連絡調整窓口の明確化等と関連し、迅速かつ継続的な栄養・食生活支援につながり得る。

今後は、防災部局と健康部局の連携強化、地域防災計画への明記、役割分担の明確化を通じ、発災時に迅速かつ適切に行動できるよう運用の定着に向けて、ガイドラインや提言の提示を行う予定である。

災害時における栄養・食生活支援活動の マネジメントと連携強化に向けて、平時から取り組むべきこと

- 1 防災部局×健康部局の連携強化（平時及び発災時の連絡調整窓口や役割分担の決定、食料備蓄シミュレーターの活用促進、要配慮者対応の事前協議、食事提供の責任の所在等）
- 2 地域防災計画への書き込み（被災者（避難所・在宅・車中等）の栄養・食生活支援、要配慮者対応、食料調達、食事提供手順、受援要請、関係部署との役割分担等）
- 3 初動72時間の栄養・食支援アクションカード作成（本庁・保健所・市区町村・避難所の役割等）
- 4 災害時受援計画の作成（受援体制の整備、D24H運用、JDA-DATなど関係機関との接続等）
- 5 継続的な人材育成（年1回以上の関係部署・機関との合同研修・訓練、E-learning+実地演習等）

6 令和8年度の計画

令和7年度に実施した量的・質的調査結果から得られた知見を基に、災害時の栄養・食生活支援ガイドライン追補版（受援体制、初動対応、防災部局と健康部局の連携強化、地域防災計画への明記方法、DHEATや保健師等チームとの協働、関係者連携・役割分担等を重視）や教育教材等を作成する。

また、自治体の災害対応能力と多部局・多機関連携能力の育成強化に向け、対面ワークショップや全国保健所管理栄養士会と連携した研修会等を開催することにより、研究成果を普及し、災害時の栄養・食生活支援体制の実効性を高める。

(参考)令和7年度事業スケジュール

R7	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R8 上期	R8 下期
1)検討体制	班会議 ①WEB 6/6 計画概要		班会議 ②対面 8/14 調査票完成 インタビュー調査検討		公衆衛生学会 (静岡) 自由集会 (事業説明)		班会議 ③ 12/15 WEB インタビューガイド完成 分担		保健所管理栄養士研修 講座 調査速報 事業発表会 2/25	班会議 ④WEB 3/9 R7実施状況 報告書の作成	班会議 ①②	班会議 ③④ ワーク ショップ 11月 東京・大阪
2)栄養・食生活支援準備状況調査(量的調査)	調査票作成 (被災経験を踏まえた質問項目追加)			倫理審査	調査実施 (10/1~11/26) 自治体対象		集計分析		調査まとめ	ガイドライン案作成		
3)被災自治体へのインタビュー調査(質的調査)							インタビューガイド作成		インタビュー実施		分析	災害時栄養・食生活支援活動ガイドライン追補版作成
熊本地震、西日本豪雨、能登半島地震を経験した被災市町（保健師・管理栄養士）、管轄保健所（保健所長・保健師・管理栄養士）、本庁（保健師・管理栄養士）へ個別インタビュー（計24名、40~60分/人）												
4)関係職種・団体への管理栄養士との連携調査(質的調査)							インタビューガイド作成		インタビュー実施		分析	受援体制 教育教材
DMAT、日本赤十字社、小児周産期リエゾン、JDAT、JDA-DAT、JRAT、DWAT、JVOAD、アレルギー関連学会、自衛隊へインタビュー（90分/組織、40分/人）												
5)統括的な役割担う管理栄養士の役割と行動整理										先行研究報告	検討	

【大規模災害時の栄養・食生活支援活動にかかる準備状況調査の概要】

1 調査目的

大規模災害時の被災者の栄養・食生活支援について、平時の準備状況と災害時の栄養・食生活支援に係る庁内外の関係機関との連携状況について現状を把握し、都道府県及び市区町村における大規模災害時の栄養・食生活支援に必要な方策と体制整備を図る。

※大規模災害＝災害救助法が適応される災害を想定

2 実施主体 一般財団法人 日本公衆衛生協会

3 調査対象 47 都道府県本庁、87 保健所設置市・23 特別区・1,631 市町村＝1,741 自治体

4 調査方法 自治体防災部署へメール依頼、Google フォーム回答
※防災部局が健康部局など関係部局に確認の上、回答するよう依頼

5 調査期間 令和7年10月1日から11月26日

6 調査内容 調査項目はP.6～7、調査票はP.29～43（都道府県票）、P.56～75（市町村票）を参照
(1) 地域防災計画における栄養・食生活支援に係る記載状況
(2) 大規模災害時の栄養・食生活支援に係る準備状況（備蓄、協定、体制、人材育成等）
(3) 大規模災害時の栄養・食生活支援に係る庁内外の関係機関との連携状況
※本調査は、前回調査結果（平成30年度）から7年経過後における準備状況の評価に加え、新たに庁内外の関係機関との連携状況を把握する。

7 回収率

都道府県 47 都道府県（100%）

保健所設置市・特別区・市町村 1,293 市区町村（74.3%） ※H30 調査 60.7%

【都道府県版】		【市町村版】	
大項目	中項目	大項目	中項目
1 属性	調査票回答者	属性	調査票回答者
	所属自治体 所属・担当者 連絡先	所属自治体 所属・担当者 連絡先	所属自治体 所属・担当者 連絡先
2 基本情報	基本情報	基本情報	基本情報
	-	-	人口規模
	-	-	常勤の管理栄養士又は栄養士の配置人数
	被災経験	被災経験	被災経験
	災害公的派遣の経験	災害公的派遣の経験	災害公的派遣の経験
3 地域防災計画	食料備蓄	食料備蓄	食料備蓄
	流通備蓄	流通備蓄	流通備蓄
	避難シミュレーター	避難シミュレーター	避難シミュレーター
	-	-	炊き出し計画の有無
	-	-	調理場
4 食料(モノ)	食料備蓄	食料(モノ)	食料備蓄
	流通備蓄	流通備蓄	流通備蓄
	避難シミュレーター	避難シミュレーター	避難シミュレーター
	-	-	炊き出し計画の有無
	-	-	調理場

【都道府県版】

【市町村版】

大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
4 食事(モノ)	食事提供方法	-	食事(モノ)	食事提供方法	食事や配給に関する準備、適温の食事
	食事評価	食事調査		食事評価	食事調査
	物資受入	支援物資の有効活用		物資受入	支援物資の有効活用
	特定給食施設	特定給食施設における食事提供の継続		特定給食施設	特定給食施設における食事提供の継続(保健所設置市・特別区のみ)
	食糧調整	食料品調達可能な店の情報発信		食糧調整	食料品調達可能な店の情報発信
	要配慮者支援	-		要配慮者支援	要配慮者の把握(地域防災計画、避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プランへの明記有)
		要配慮者用の備蓄			要配慮者用の備蓄
		-			要配慮者への炊き出し対応
		-			要配慮者への弁当等対応
		-			要配慮者への栄養相談
5 人材(ヒト)	人材配酒	防災部門、健康部門への管理栄養士の配酒	人材(ヒト)	人材配酒	防災部門、健康部門への管理栄養士の配酒
	人材育成	統括的な役割を担う管理栄養士の配酒		人材育成	-
		災害時の栄養・食生活支援に関する研修(防災部局、保健担当職員)			災害時の栄養・食生活支援に関する研修
		行政管理栄養士の災害対応能力の向上(研修実施、市町村対象)			-
		庁内・都道府県・市町村・関係機関・団体連携			庁内・都道府県・市町村・関係機関・団体連携
		他自治体や栄養士会に対する管理栄養士の応援要請と要請したい活動内容			他自治体や栄養士会に対する管理栄養士の応援要請と要請したい活動内容
		受援要請内容			受援要請内容
		発災時の派遣体制の確保(DHEATや保健師等常同チームの組み込み)			-
		情報集約・分析活用	情報		情報集約・分析活用
		栄養・食生活支援活動の標準化			被災地支援に必要な情報の集約・分析手法の獲得と活用
6 情報					災害時栄養・食生活支援活動にかかる共通理解
					災害時栄養・食生活支援活動の標準化
7 財源	予算確保	災害時の避難所での生活環境改善	財源	予算確保	災害時の避難所での生活環境改善
		平常時の備え			平常時の備え
8 平常時の備え					家庭備蓄(水、食料)

8 結果の概要

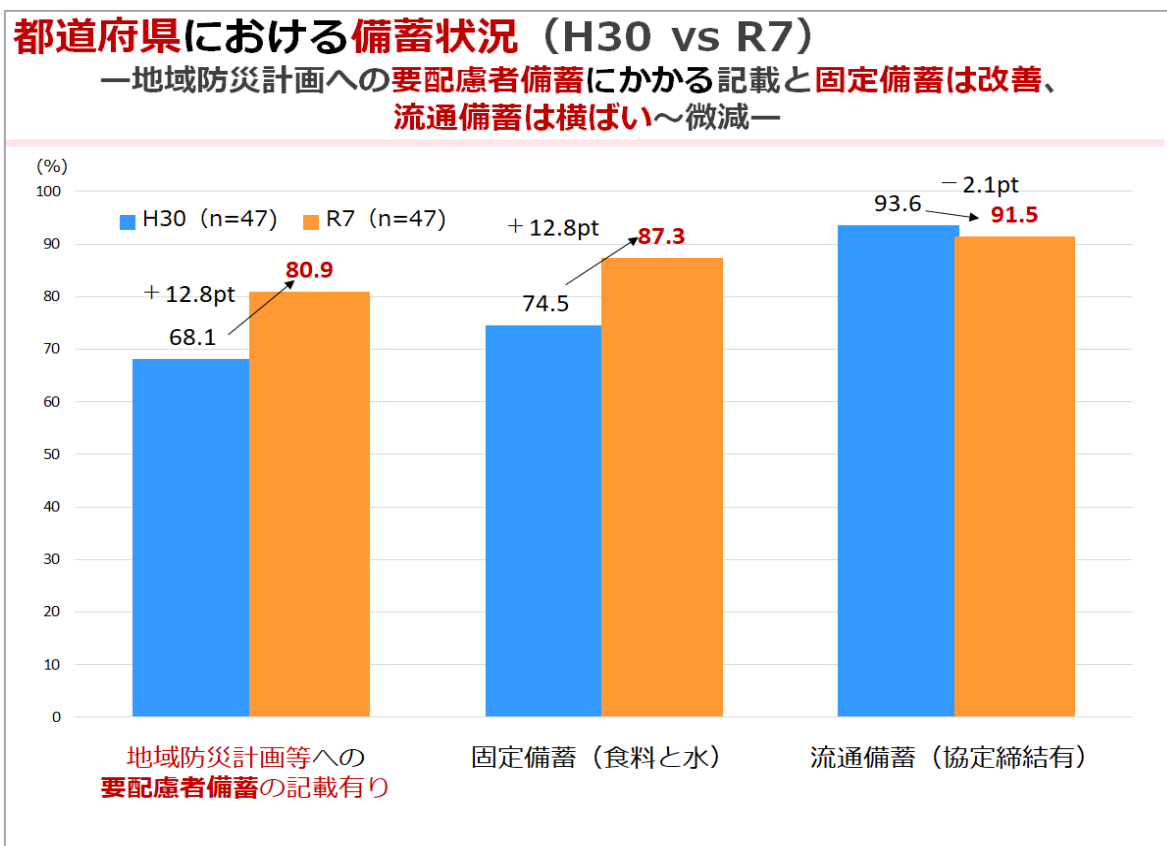
(1) 結果のポイント

平成30年度と比べ、地域防災計画への栄養・食生活支援の記載や要配慮者向け食品を含む固定備蓄の整備は向上した一方、炊き出しや要配慮者への食事提供等の運用面については進展がなかった（統計手法は表注に示す）

(表1) 都道府県における準備状況の経年変化

調査項目	平成30年度 (n=47)(%)	令和7年度 (n=47)(%)
地域防災計画への食の要配慮者の備蓄記載有	32(68.1)	38(80.9)
固定備蓄有（食料と水）	35(74.5)	41(87.3)
流通備蓄(協定締結有)	44(93.6)	43(91.5)

都道府県地域防災計画等への要配慮者備蓄にかかる記載（H30：68.1%→R7：80.9%）や、固定備蓄（H30：74.5%→R7：87.3%）は増加、流通備蓄は横ばいから微減である。



(図1) 都道府県における準備状況の経年変化

(表2) 市区町村における準備状況の経年変化

調査項目		平成30年度 (n=1,056)(%)	令和7年度 (n=1,293)(%)
地域防災計画への栄養・食生活支援の記載有り		558(52.8)	813(62.9)*
計画策定へ管理栄養士参画有り		158(28.3) n=558* ¹	306(37.6)* n=813* ¹
地域防災計画への食事の要配慮者把握の記載有り		379(35.9)	561(43.4)*
固定備蓄有り(食料と水)		1,008(95.5)	1,277(98.8)*
固定備蓄	おかず(缶詰又はトト)	165(16.4)	314(24.6)*
	高齢者・乳幼児用食品	65(6.4)	215(16.8)*
	乳児用ミルク(粉・液体)	310(30.8)	885(69.3)*
	食物アレルギー対応食品	211(20.9)	415(32.5)*
流通備蓄(協定締結有り)		773(73.2)	987(76.3)
炊き出しによる食事提供有り		867(82.1)	951(73.5)*
弁当等業者協定締結有り		344(32.6)	440(34.0)
要配慮者へ弁当提供有り		52(15.1) n=344* ²	176(13.6)
要配慮者へ食事提供有り		268(30.9) n=867* ³	158(12.2)*
適温への配慮有り		53(5.0)	516(39.9)*
提供食の食事調査実施有り		99(9.4)	97(7.5)

※1: 地域防災計画への栄養・食生活支援の記載有の自治体のみ集計

※2: 弁当協定締結有の自治体のみ集計、※3: 炊き出しによる食事提供有の自治体のみ集計

*: 平成30年度との比較で有意差あり (p<0.05)。2×2は χ^2 検定〔補正なし〕、
ただし期待度数<5を含む場合は Fisher 正確確率検定〔両側〕

(表3) 市区町村地域防災計画策定へ管理栄養士の参画有

調査項目	市区町村 (n=306)(%)
庁内外との連携調整窓口設置と役割分担有り	145(47.4)*
炊き出しで提供する食事の献立作成有り	23(9.0)** n=255*
提供食の食事調査実施有り	56(18.3)***
避難所や在宅の被災者への個別栄養相談有り	83(27.1)***
仮設住宅入居者への栄養・食生活支援有り	49(16.0)**
地域防災計画への応援要請記載有り	177(57.8)***

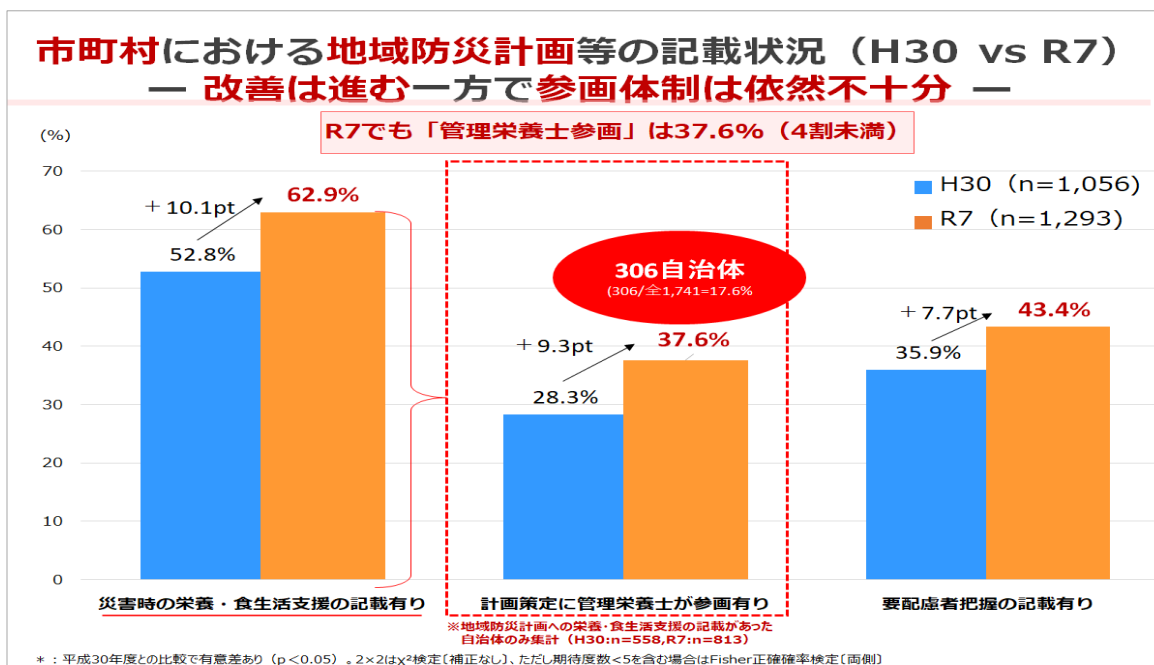
※: 炊き出しによる食事提供有の自治体のみ集計

*: 参画無との比較で有意差あり (p<0.05) ** : 参画無との比較で有意差あり (p<0.01)

***: 参画無との比較で有意差あり (p<0.001)

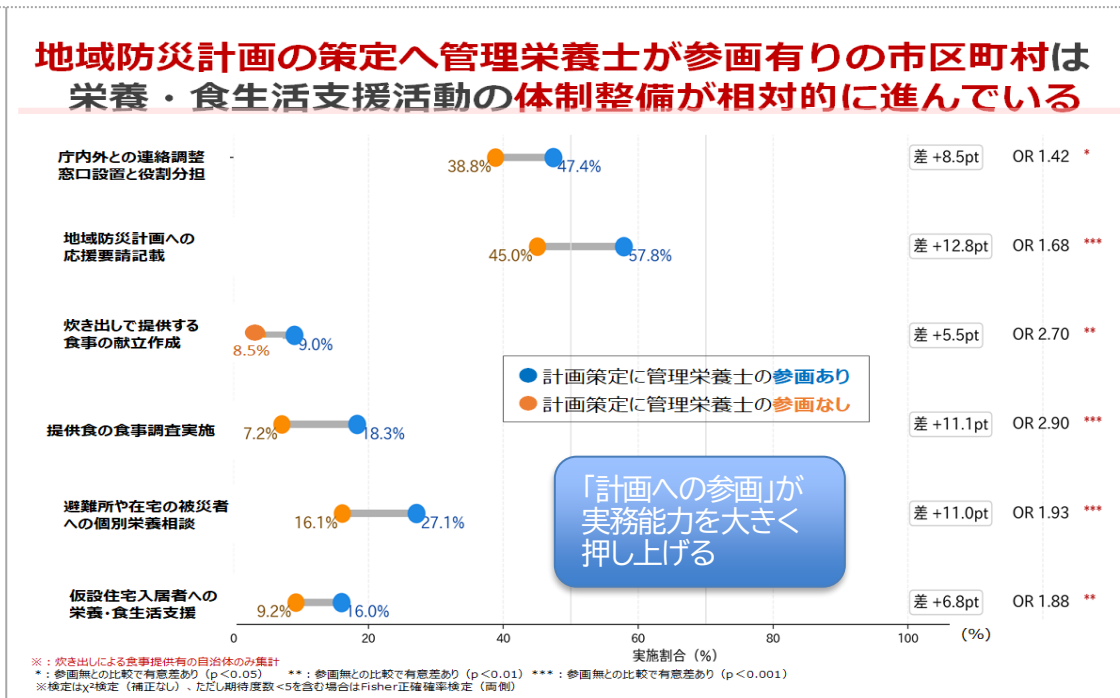
※検定は χ^2 検定(補正なし)、ただし期待度数<5を含む場合は Fisher 正確確率検定(両側)

市町村地域防災計画への栄養・食生活支援の記載（H30：52.8%→R7：62.9%）や、要配慮者把握の記載（H30：35.9%→R7：43.4%）は増加、地域防災計画策定への管理栄養士の参画（H30：28.3%→R7：37.6%）と改善はしているものの、参画は4割未満である。



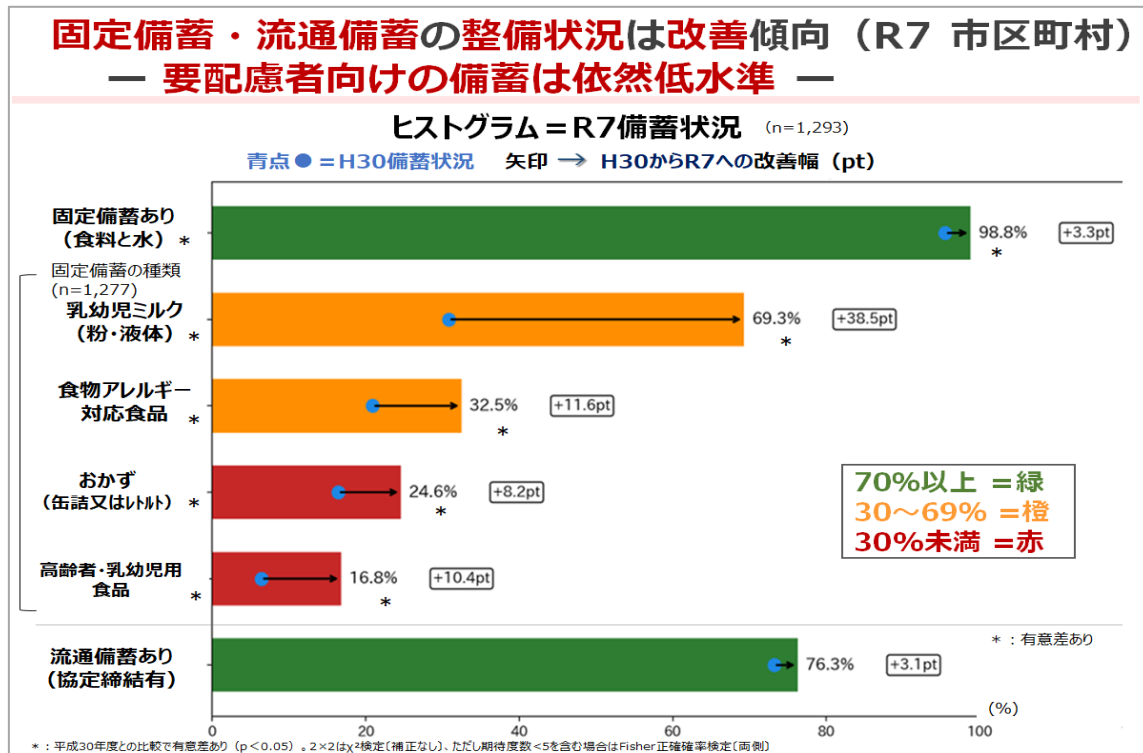
（図2）市区町村における地域防災計画等への記載状況の経年変化

管理栄養士が地域防災計画の策定に参画している自治体では、「連絡調整窓口の明確化」「応援要請の明記」「炊き出し献立の作成」「提供食の食事調査」「避難所や在宅の個別相談」「仮設住宅入居者への食支援」など、管理栄養士が計画に参画していない自治体に比べて、体制整備が相対的に進んでいる。



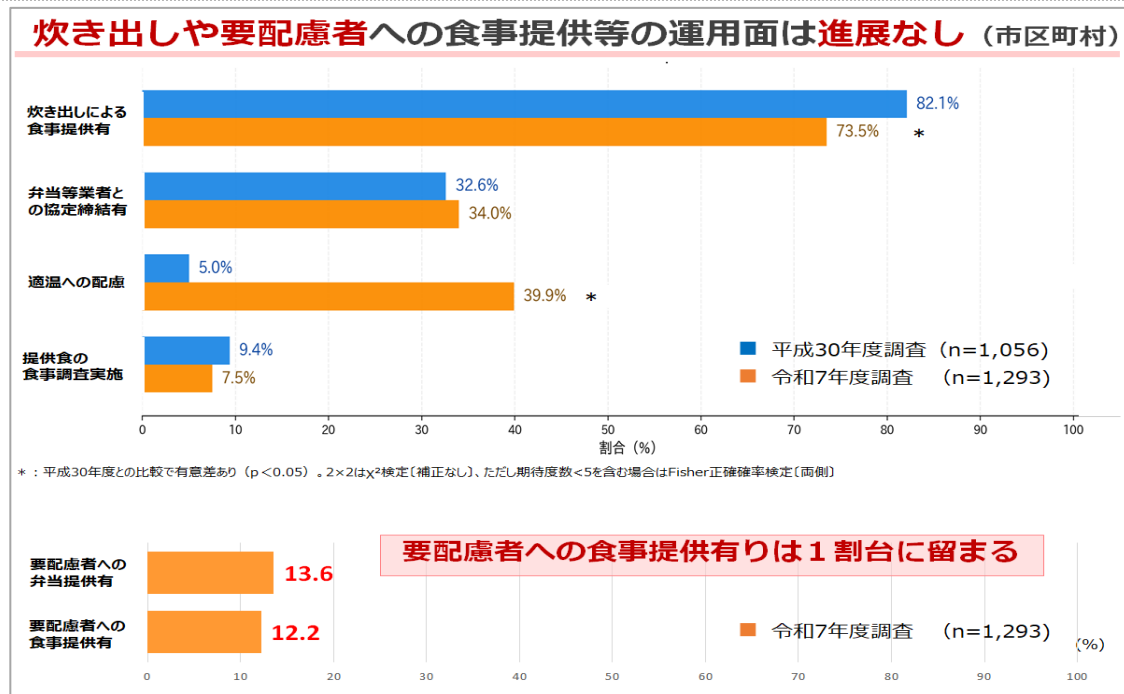
（図3）市区町村地域防災計画策定への管理栄養士の参画有無と体制整備

食料・水の備蓄はおおむね整備されているが、食物アレルギー対応食品 32.5%、高齢者・乳幼児向け食品 16.8%など、要配慮者向けの食料備蓄は依然として不十分である。



(図4) 市区町村における固定備蓄・流通備蓄の整備状況 (令和7年度)

適温への配慮は進む一方、提供食の食事調査 7.5%、要配慮者への弁当提供 13.6%、要配慮者への食事提供 12.2%であり、実際の支援につながる「運用面」は進展がみられない。



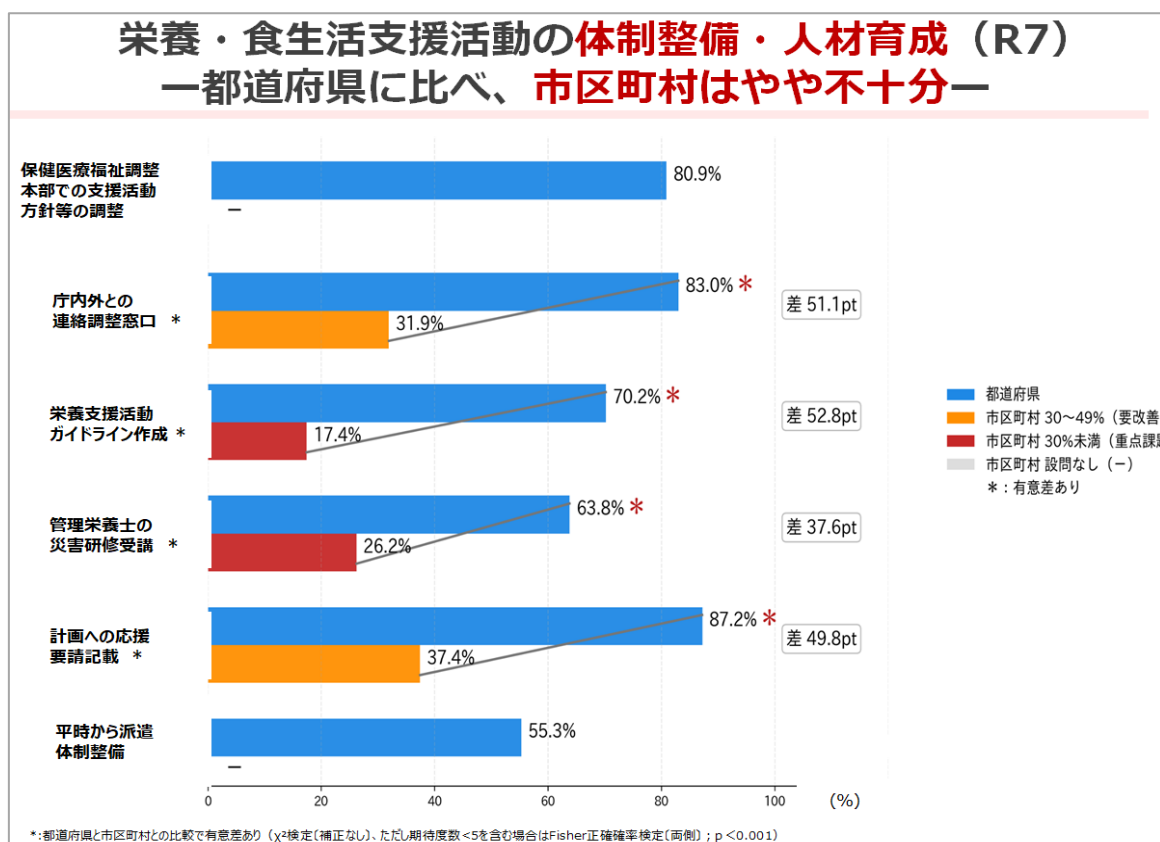
(図5) 市区町村における炊き出しや要配慮者への食事提供等の運用面の経年変化

(表4) 栄養・食生活支援活動の体制整備・人材育成 (令和7年度)

調査項目	都道府県 (n=47) (%)	市区町村 (n=1,293) (%)
保健医療福祉調整本部での支援活動の方針等調整有り	38(80.9)	—
庁内外との連絡調整窓口有り	39(83.0) *	413(31.9)
栄養支援活動がガイドライン作成有り	33(70.2) *	225(17.4)
管理栄養士の災害研修受講有り	30(63.8) *	339(26.2)
計画への応援要請記載有り	41(87.2) *	484(37.4)
平時から派遣体制整備済	26(55.3)	—

*:都道府県と市区町村との比較で有意差あり (χ²検定〔補正なし〕、ただし期待度数<5を含む場合は Fisher 正確確率検定〔両側〕；p<0.001)

体制整備・人材育成について、都道府県は6~9割が整備済みであるが、市区町村では、連絡調整窓口31.9%、ガイドライン作成17.4%、研修受講26.2%、計画への応援要請記載37.4%と、平時の体制整備が都道府県に比べて低率である。



(図6) 栄養・食生活支援活動にかかる体制整備・人材育成の状況 (令和7年度)

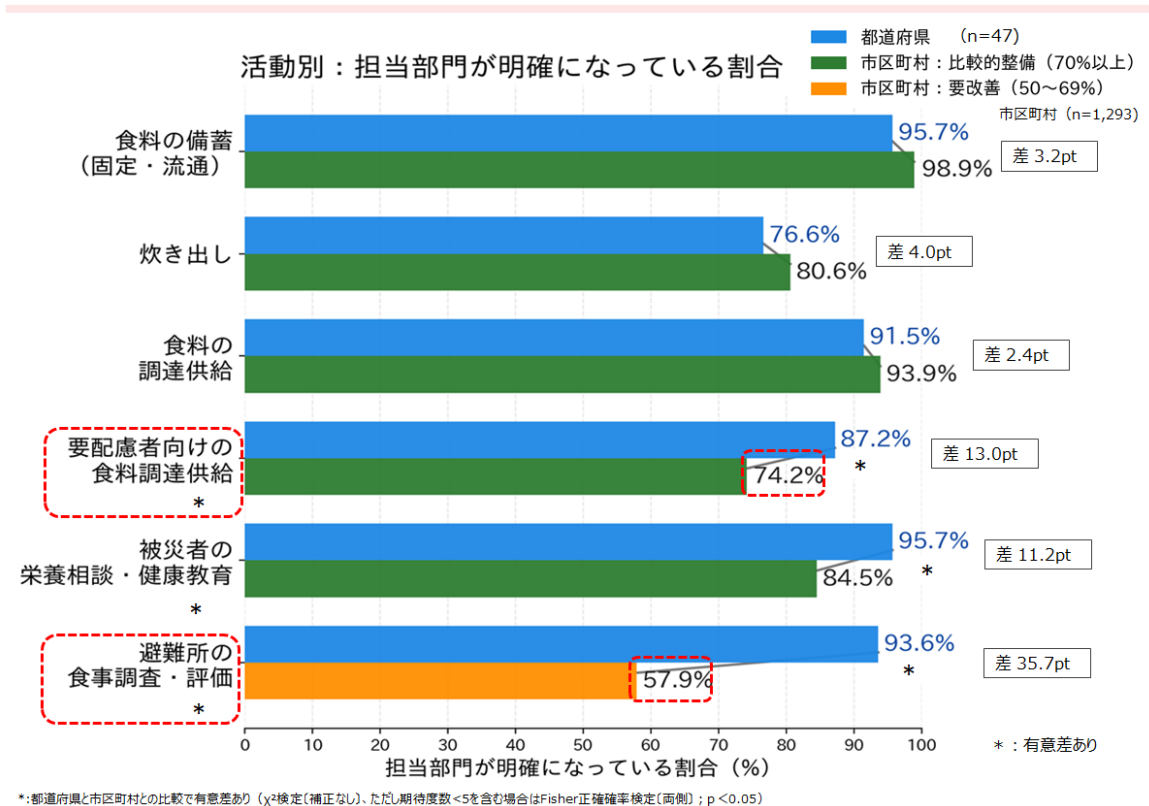
(表4) 栄養・食生活支援活動の担当部門の決定度 (令和7年度)

活動内容	都道府県 (n=47) (%)	市区町村 (n=1,293) (%)
食料の備蓄 (固定・流通)	45(95.7)	1,279(98.9)
炊き出し	36(76.6)	1,042(80.6)
食料の調達供給	43(91.5)	1,214(93.9)
要配慮者向けの食料調達供給	41(87.2) *	960(74.2)
被災者の栄養相談・健康教育	45(95.7) *	1,093(84.5)
避難所の食事調査・評価	44(93.6) *	749(57.9)

*:都道府県と市区町村との比較で有意差あり (χ^2 検定〔補正なし〕、ただし期待度数<5を含む場合はFisher正確確率検定〔両側〕; $p < 0.05$)

平時からの担当部門について、市区町村で特に低い(決まっていない)栄養・食生活支援活動は、避難所の食事調査・評価 57.9%、要配慮者向けの食料調達供給 74.2%などで、都道府県との差が大きい。

平時から担当部門が決まっている栄養・食生活支援活動 (R7)



(図7) 栄養・食生活支援活動における平時からの担当部門の決定状況 (令和7年度)

(2) 設問別の主な集計結果 (都道府県：集計結果は P.44～55 を参照)

基本情報、人材確保・育成 (都道府県数 (%)、n=47) 都道府県

➤ **基本情報**

- ・東日本大震災以降、災害救助法が適用された**被災経験有**：44 (93.6)
- ・東日本大震災以降、被災地に管理栄養士を**派遣した経験有**：40 (85.1)
- ・**保健医療福祉調整本部で栄養支援活動の方針調整を行う仕組み有**：38 (80.9)
- ・災害時栄養支援活動にかかる**庁内外との連絡調整窓口や担当部署の決定**：39(83.0)

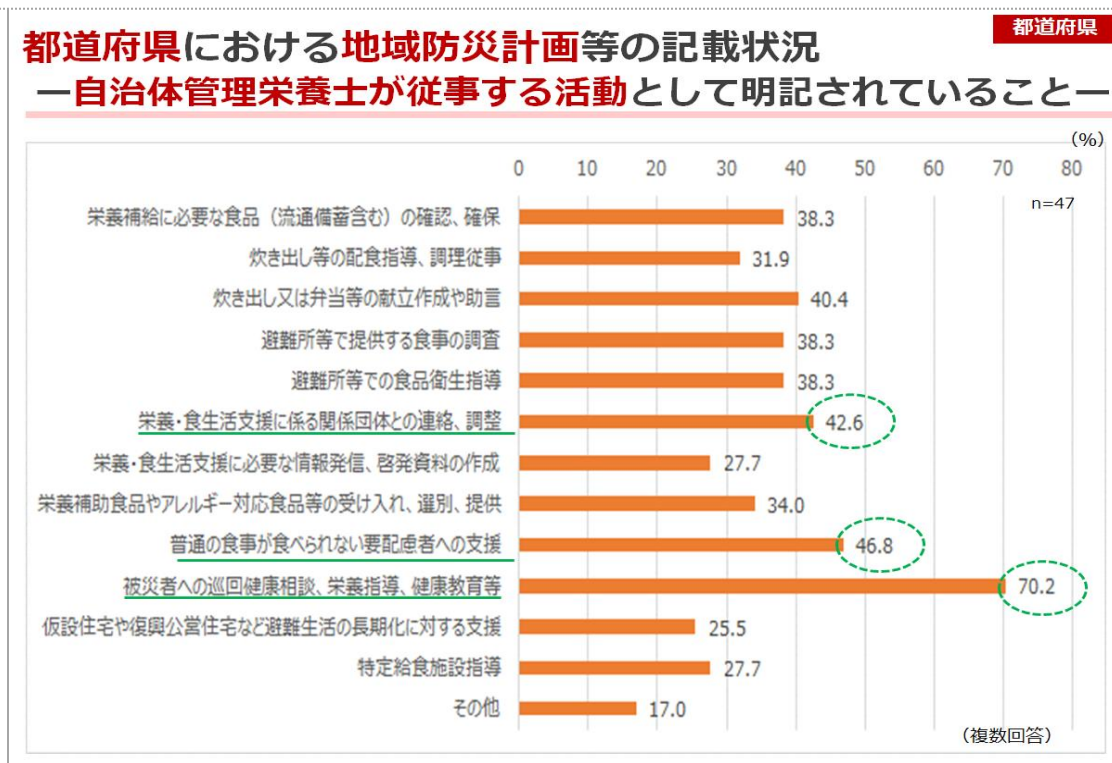
➤ **食事 (モノ)**

- ・厚労省食料備蓄量算出のための**簡易シミュレーター活用有**：6(12.8)
- ・避難所等で提供する**食事調査の実施有**：19 (40.4)
- ・災害時に**食料品の調達可能な店舗情報を把握し、住民に発信有**：6(12.8)

➤ **人材確保・人材育成**

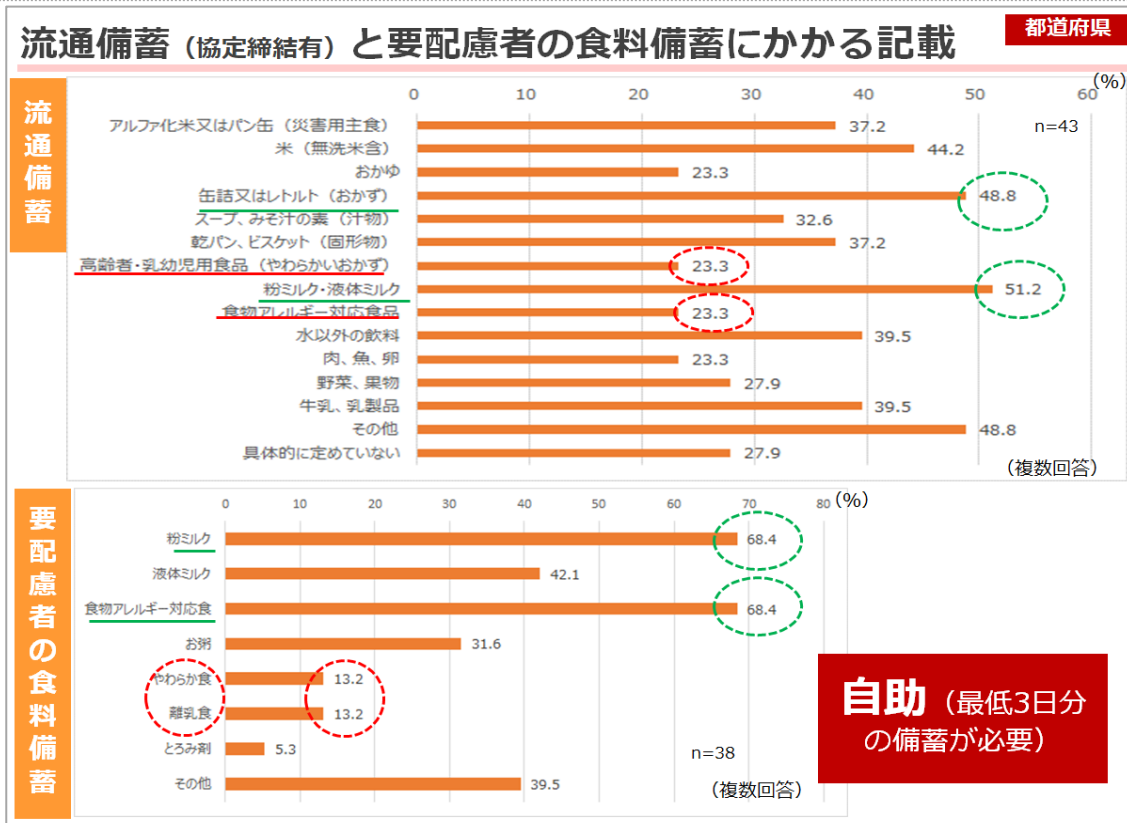
- ・**防災部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置有**：1 (2.1)
- ・複数配置の管理栄養士を**統括する管理栄養士の配置有**：15(31.9)
- ・**防災部局職員** (事務職等) **災害時の栄養食支援研修受講有**：5(10.6)
- ・**行政管理栄養士対象の年1回以上の災害対応能力向上研修実施有**：19 (40.4)
→保健所対象16、市町村対象15、DHEAT連動4、栄養士会連動6
→フェーズごとの支援活動18、避難所食事状況調査票 (統一3、独自2)
- ・**圏域又は保健所管内ごとの市町村栄養士対象研修、会議の実施有**：40 (85.1)
- ・**管理栄養士・栄養士** **災害時の栄養食支援研修年1回以上受講有**：30(63.8)

管理栄養士が従事する活動の記載状況にはバラつきがあり、複数項目で50%前後である。



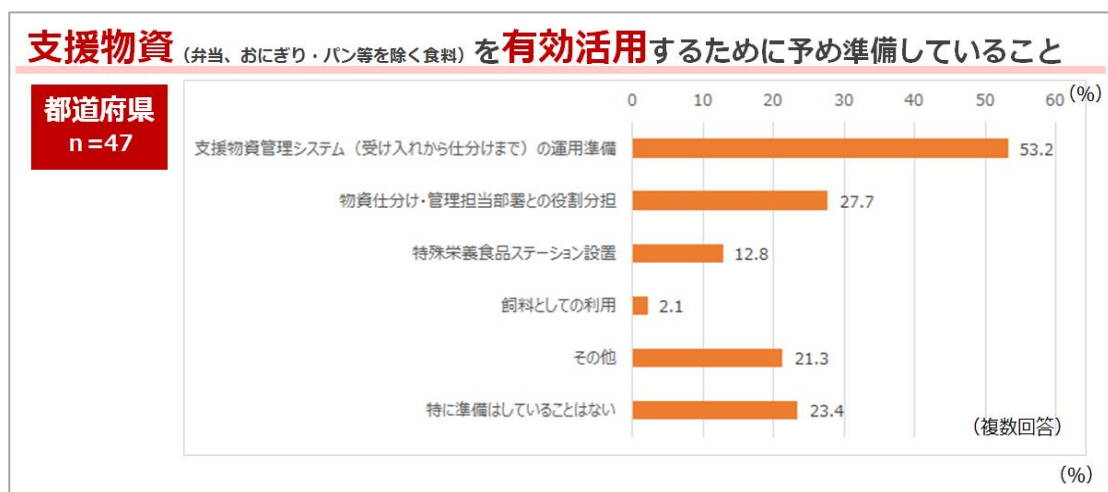
(図8) 地域防災計画において管理栄養士が従事する活動の記載状況

流通備蓄（協定締結有）は、粉ミルク・液体ミルク 51.2%、おかず 48.8%の順に多く、高齢者・乳幼児用食品、食物アレルギー対応食品、肉・魚・卵はいずれも 23.3%にとどまる。地域防災計画等への要配慮者用備蓄にかかる記載は、粉ミルク、食物アレルギー対応食はいずれも 68.4%、やわらか食、離乳食はいずれも 13.2%である。



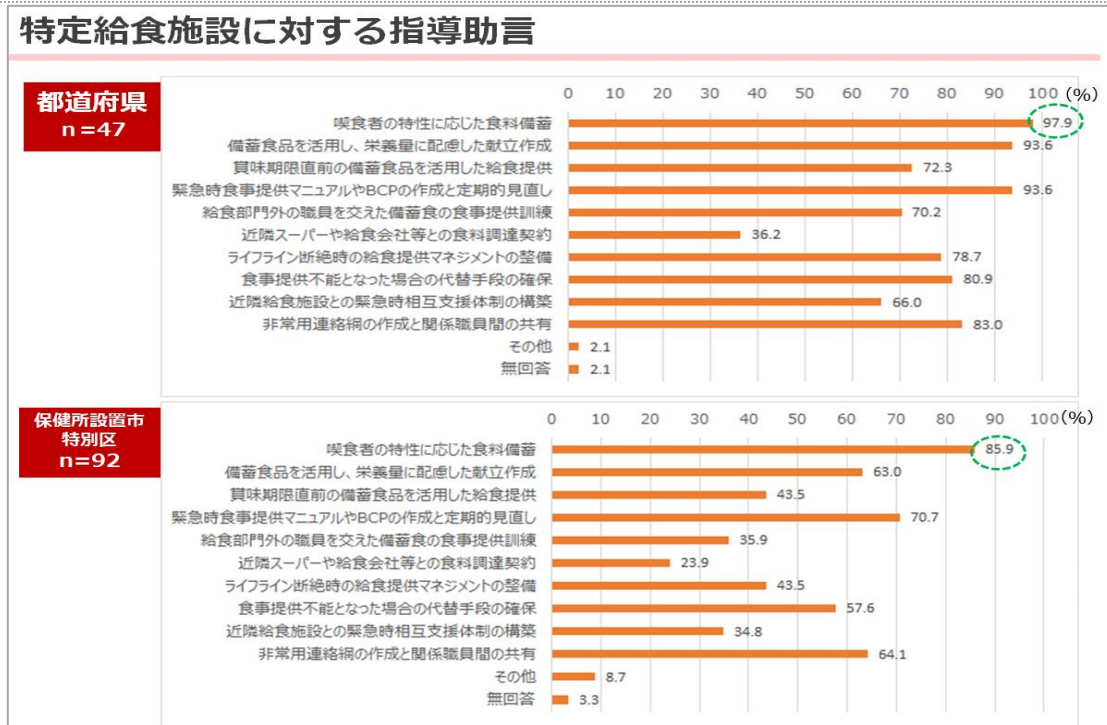
（図9）流通備蓄（協定締結有）と要配慮者の食料備蓄にかかる計画等への記載状況

支援物資を有効活用するために予め準備していることは、支援物資管理システム（受け入れから仕分けまで）の運用準備は 53.2%である一方、特に準備していることは 23.4%である。



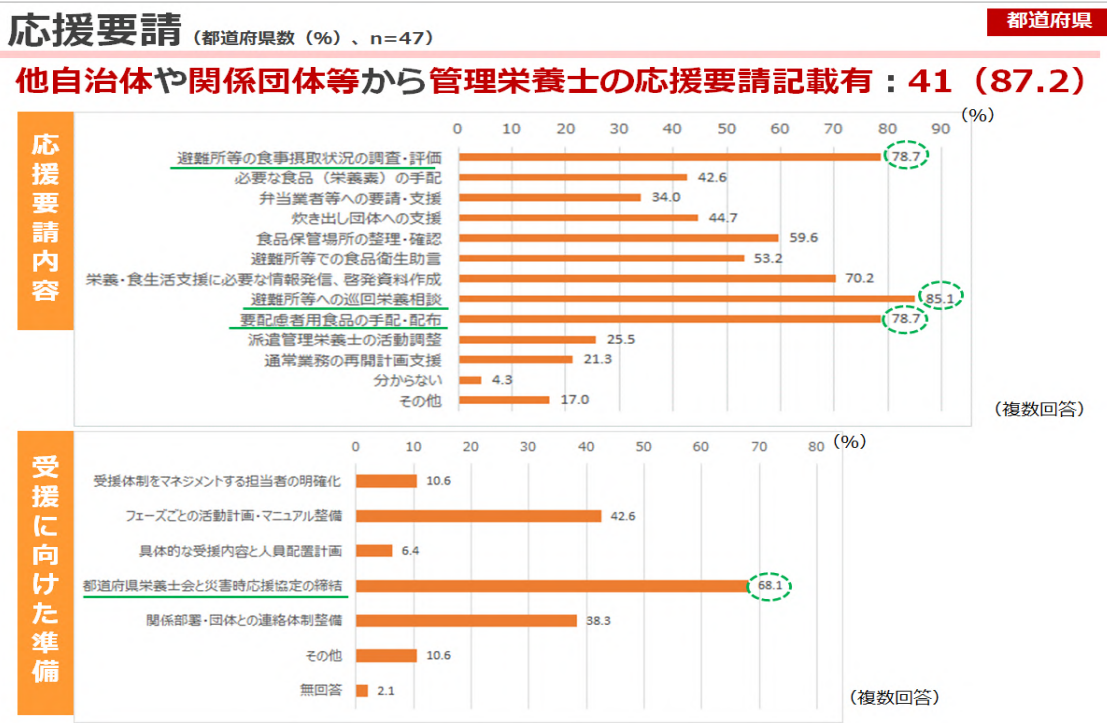
（図10）支援物資を有効活用するために予め準備していること

特定給食施設への指導助言は、都道府県と保健所設置市で実施割合が異なり、都道府県の方が実施率は一貫して高い。



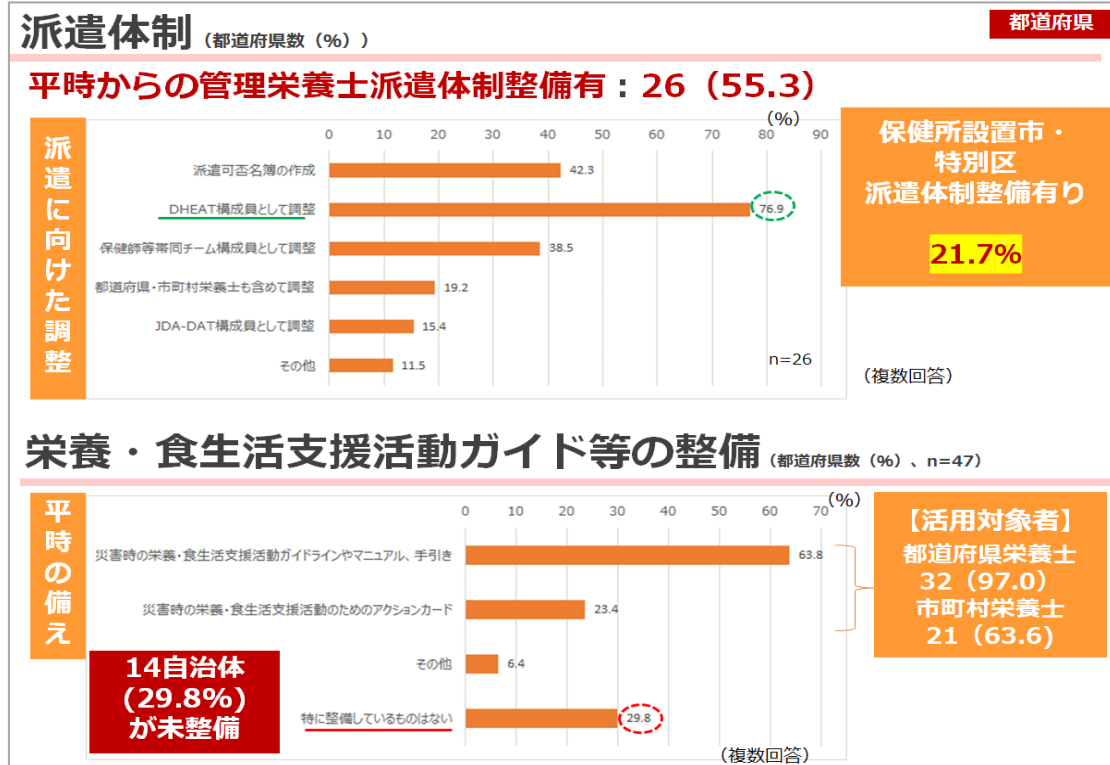
(図 11) 特定給食施設に対する指導助言 (都道府県、保健所設置市・特別区)

地域防災計画や栄養・食生活支援ガイドライン等に、他自治体や関係団体等からの管理栄養士の応援要請を記載している自治体は 87.2% と高く、応援要請の内容も多岐にわたっている。



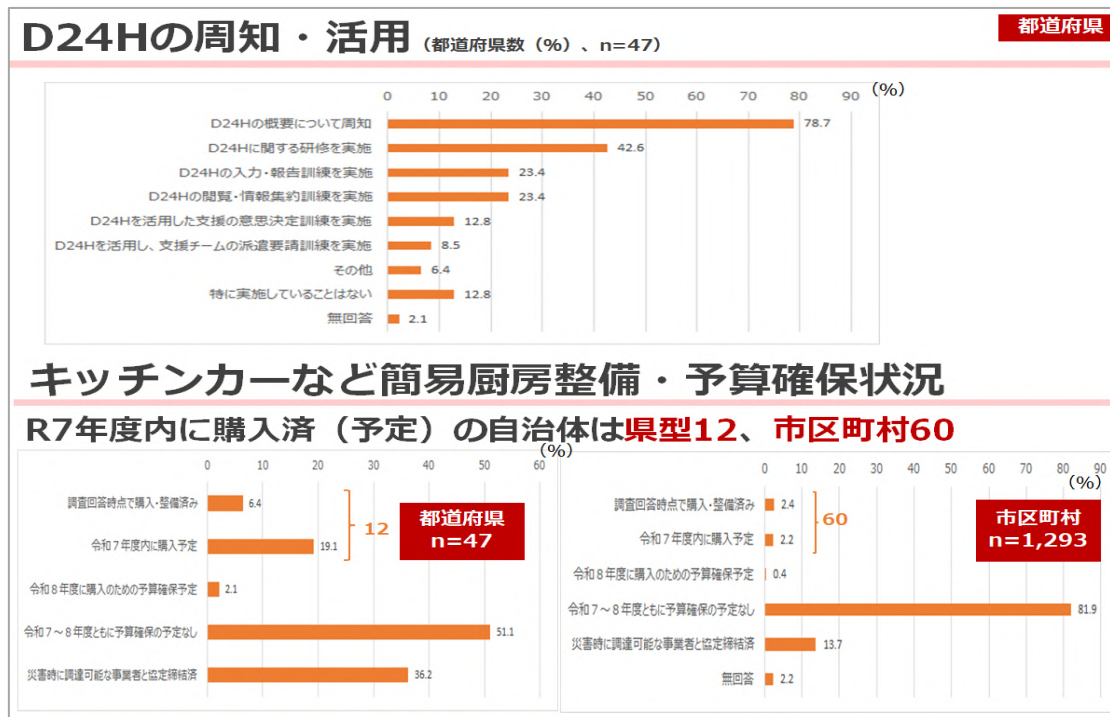
(図 12) 地域防災計画等への他自治体や関係団体等から管理栄養士の応援要請記載状況

平時からの派遣体制整備は55.3%と半数強、ガイドラインは29.8%が未整備である。



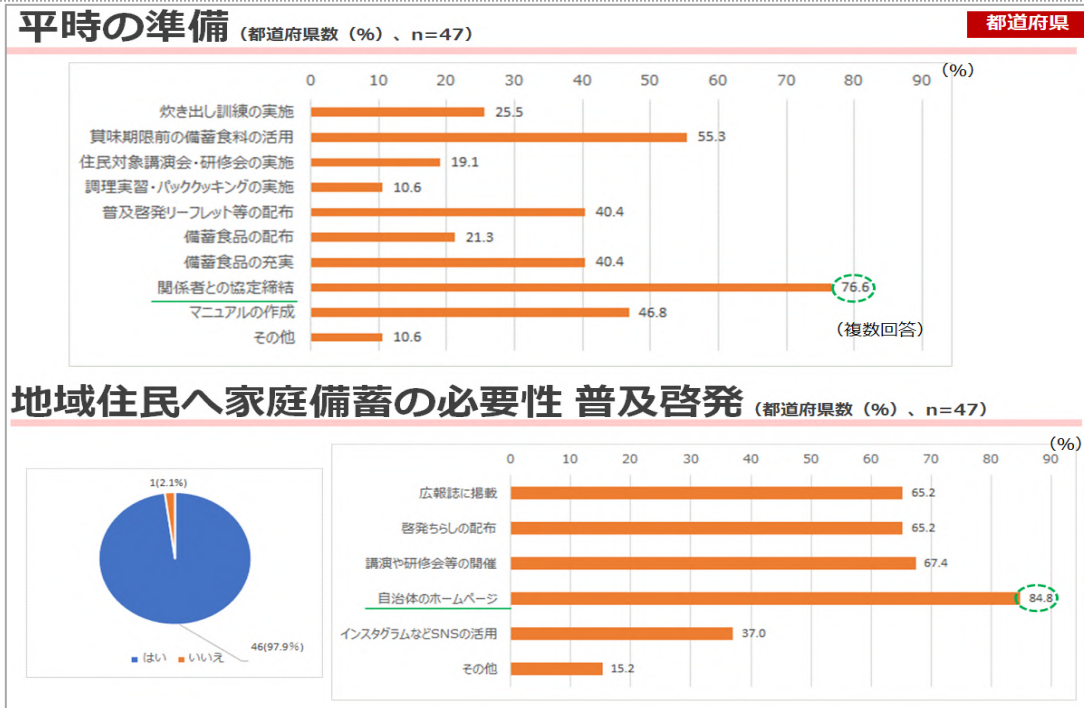
(図 13) 平時からの管理栄養士派遣体制と栄養・食生活支援活動ガイドライン等の整備状況

災害時保健医療福祉活動支援システム (D24H) を周知している自治体は78.7%、キッチンカー等の簡易厨房は令和7年度までに県12自治体、市区町村60自治体が整備済・予定である。



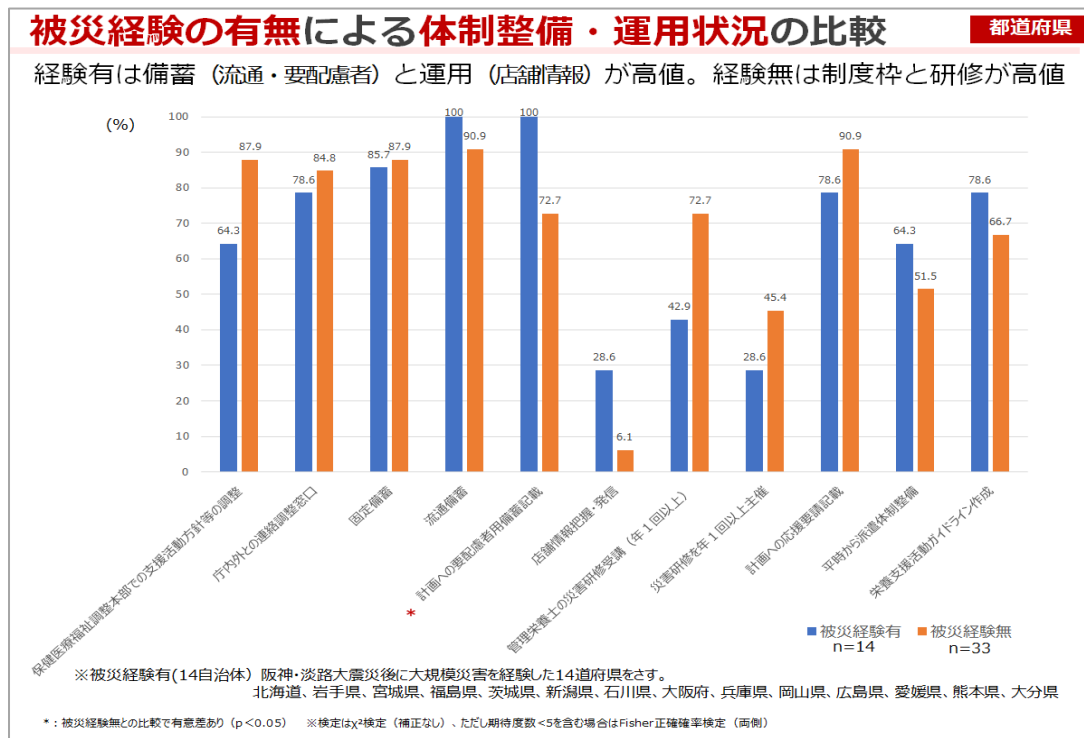
(図 14) D24H の周知・活用状況/キッチンカーなど簡易厨房の整備・予算確保状況

平時の準備は、関係者との協定締結 76.6%、賞味期限前の備蓄食料の活用 55.3%であり、その他項目は50%未満である。家庭備蓄の普及啓発は多くの都道府県で実施されている。



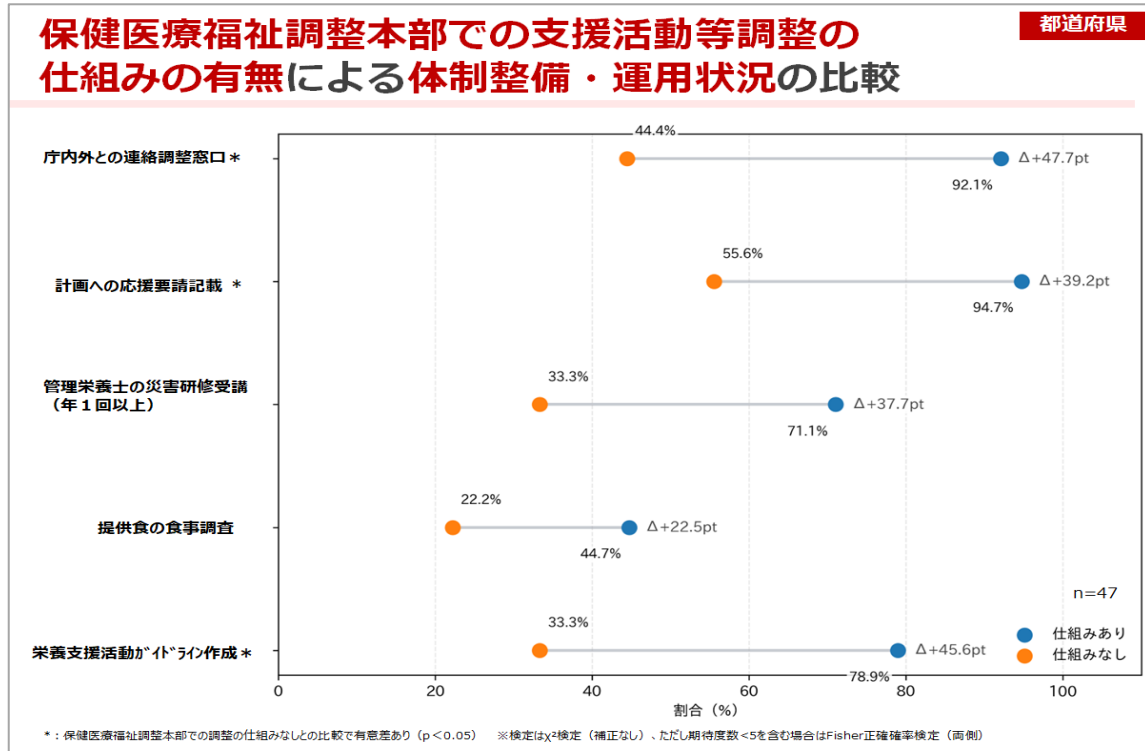
(図 15) 平時の準備と地域住民への家庭備蓄の必要性にかかる普及啓発状況

被災経験有の自治体は、流通備蓄や要配慮者用の備蓄、ガイドライン作成が高率、被災経験無の自治体は、保健医療福祉調整本部での支援活動等調整の仕組みや応援要請の記載が高率。



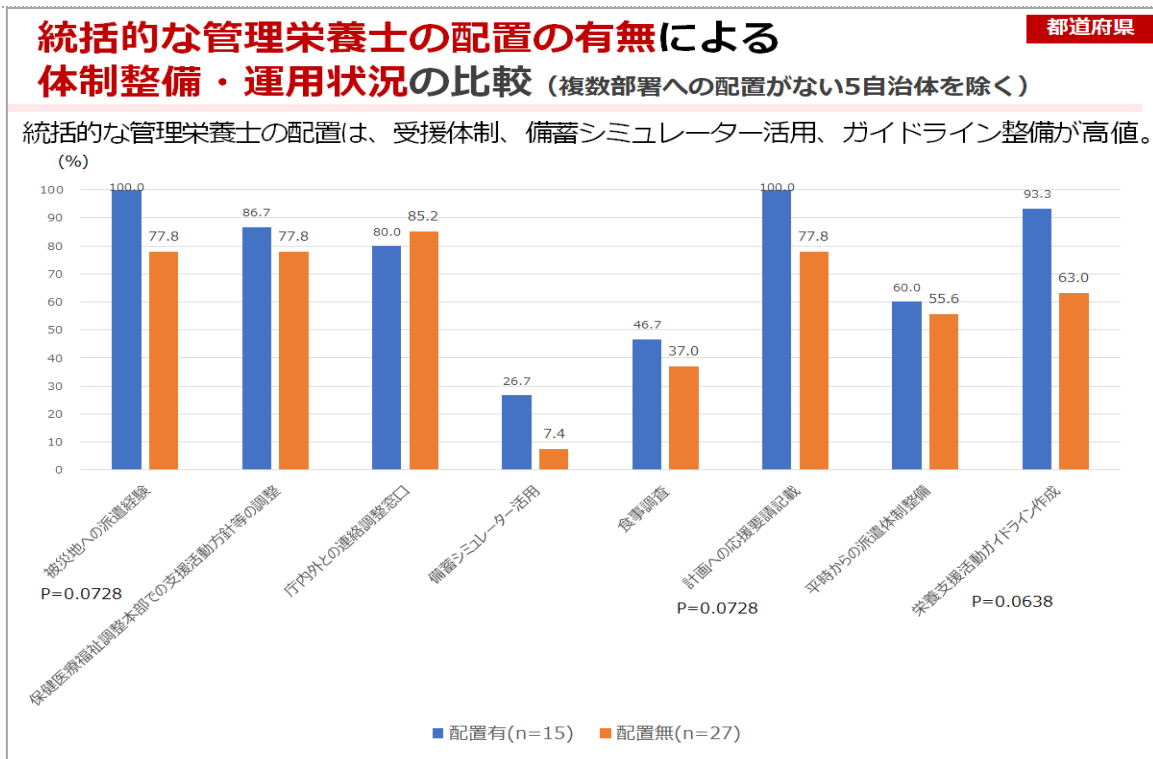
(図 16) 被災経験の有無による体制整備・運用状況の比較

保健医療福祉調整本部での支援活動等調整の仕組み有の自治体は、連絡窓口有 92.1%、応援要請記載 94.7%、研修受講有 71.1%と全般的に高率。仕組み無は各項目 20~50%台と低い。



(図 17) 保健医療福祉調整本部での支援活動等調整の仕組みの有無による体制整備・運用状況の比較

統括的な管理栄養士有の自治体は、ガイドライン作成 93.3%、応援要請 100%と高率。



(図 18) 統括的な管理栄養士の配置の有無による体制整備・運用状況の比較

(2) 設問別の主な集計結果（保健所設置市・特別区・市町村：集計結果は P.76～92 を参照）

市区町村

基本情報、食事、人材確保・育成 (市区町村数 (%)、n=1,293)

➤ **基本情報**

- ・ 東日本大震災以降、災害救助法が適用された**被災経験有**：627 (**48.5**)
 - 被災経験の有無で有意差ありは「地域防災計画等への要配慮者の食料備蓄の記載」
(被災経験有の自治体で記載率が高い、 $p=0.034$)と「おかず、汁物の備蓄のみ」
高齢・乳幼児向け、ミルク、アレルギーは有意差なし (**被災経験有でも、要配慮者向け備蓄が十分とは言えない**)
- ・ 東日本大震災以降、**被災地に管理栄養士を派遣した経験有**：74 (**5.7**)
- ・ 災害時栄養支援活動にかかる**庁内外との連絡調整窓口や担当部署の決定**：413(**31.9**)

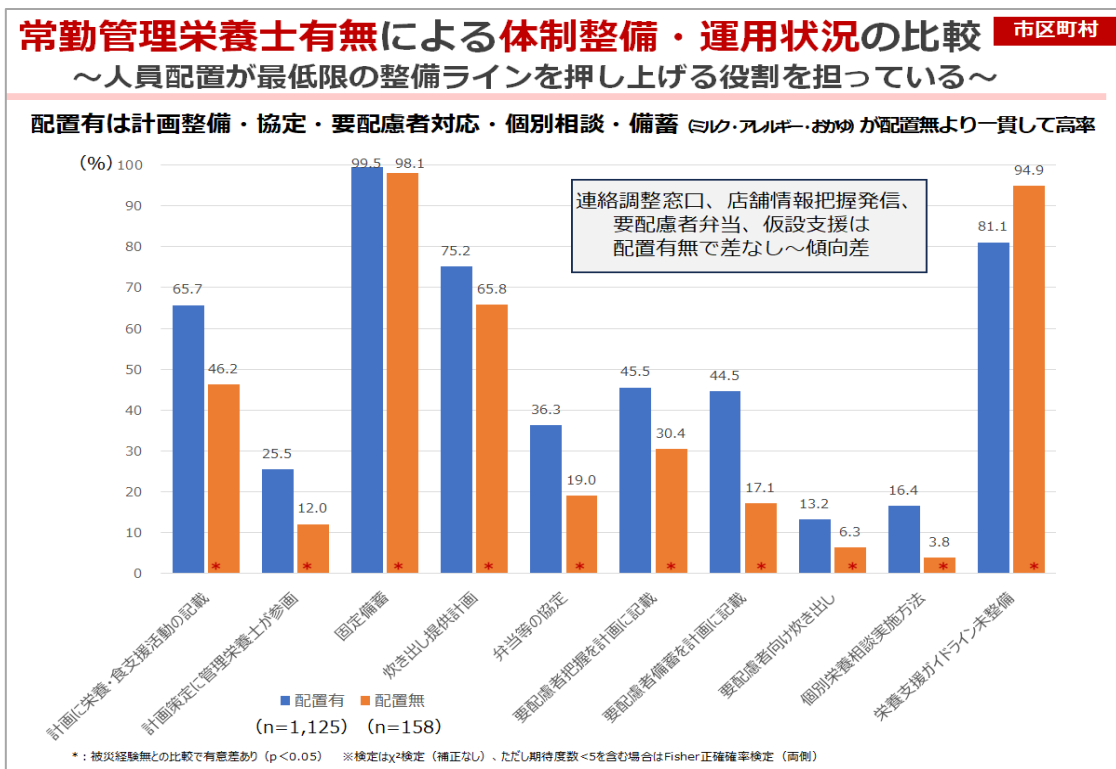
➤ **食事 (モノ)**

- ・ 厚生省食料備蓄量算出のための**簡易シミュレーター活用有**：49(**3.8**)
- ・ 避難所等で提供する**食事調査の実施有**：97 (**7.5**)
- ・ 災害時に**食料品の調達可能な店舗情報を把握し、住民に発信有**：134(**10.4**)

➤ **人材確保・人材育成**

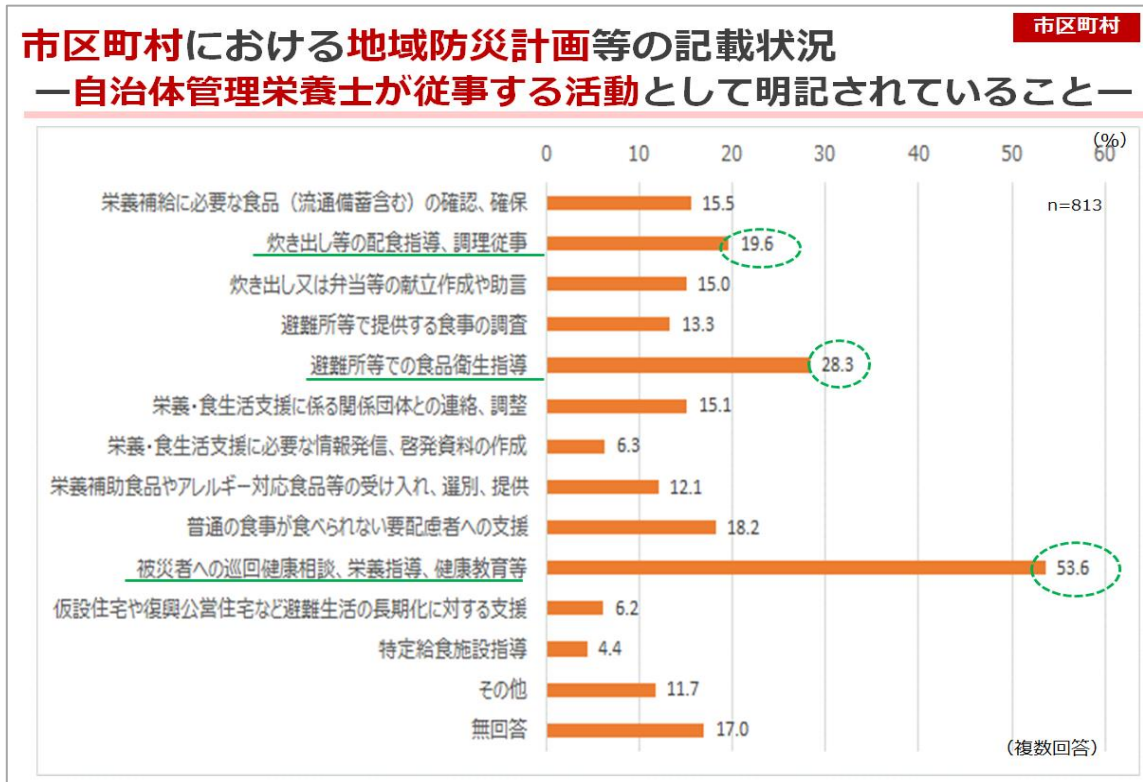
- ・ **防災部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置有**：4 (**0.3**)
- ・ **健康部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置有**：1,071(**82.8**)
- ・ **防災部局職員 (事務職等) 災害時の栄養食支援研修受講経験有**：116(**9.0**)
- ・ **管理栄養士・栄養士 災害時の栄養食支援研修年1回以上受講有**：339(**26.2**)
→F1-スごとの支援活動272(80.2)、避難所食事状況調査票 (統一30、独自12)

常勤管理栄養士配置自治体は計画記載 65.7%、弁当協定 36.3%、要配慮者備蓄記載 44.5%、個別相談 16.4%と高率。配置無は多くが50%以下であり、人員配置が整備の底上げに直結。



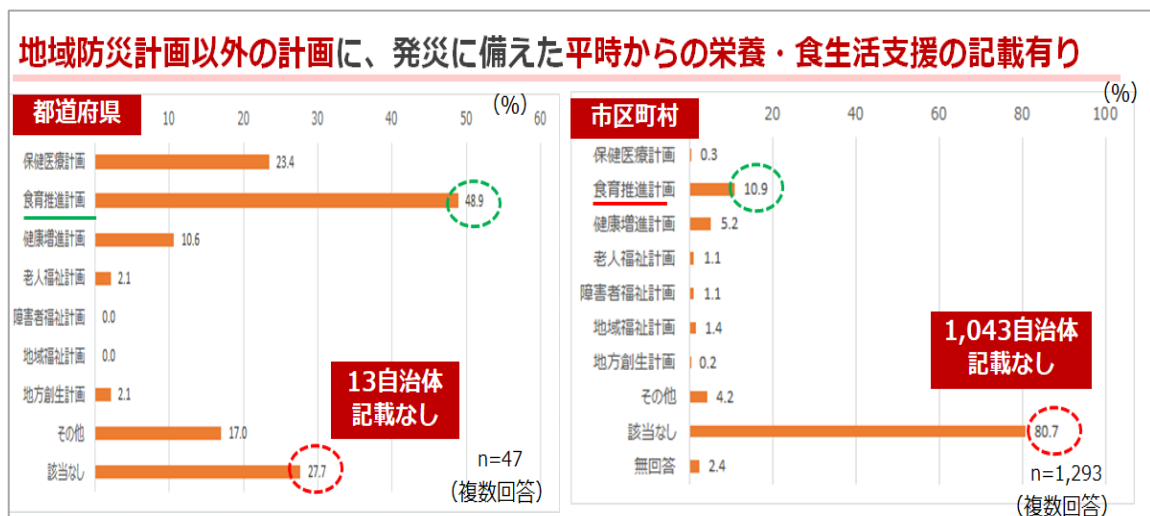
(図 19) 常勤管理栄養士配置の有無による体制整備・運用状況の比較

管理栄養士が従事する活動の記載状況は複数項目で10~20%程度に留まり、明記されていない活動が多い。



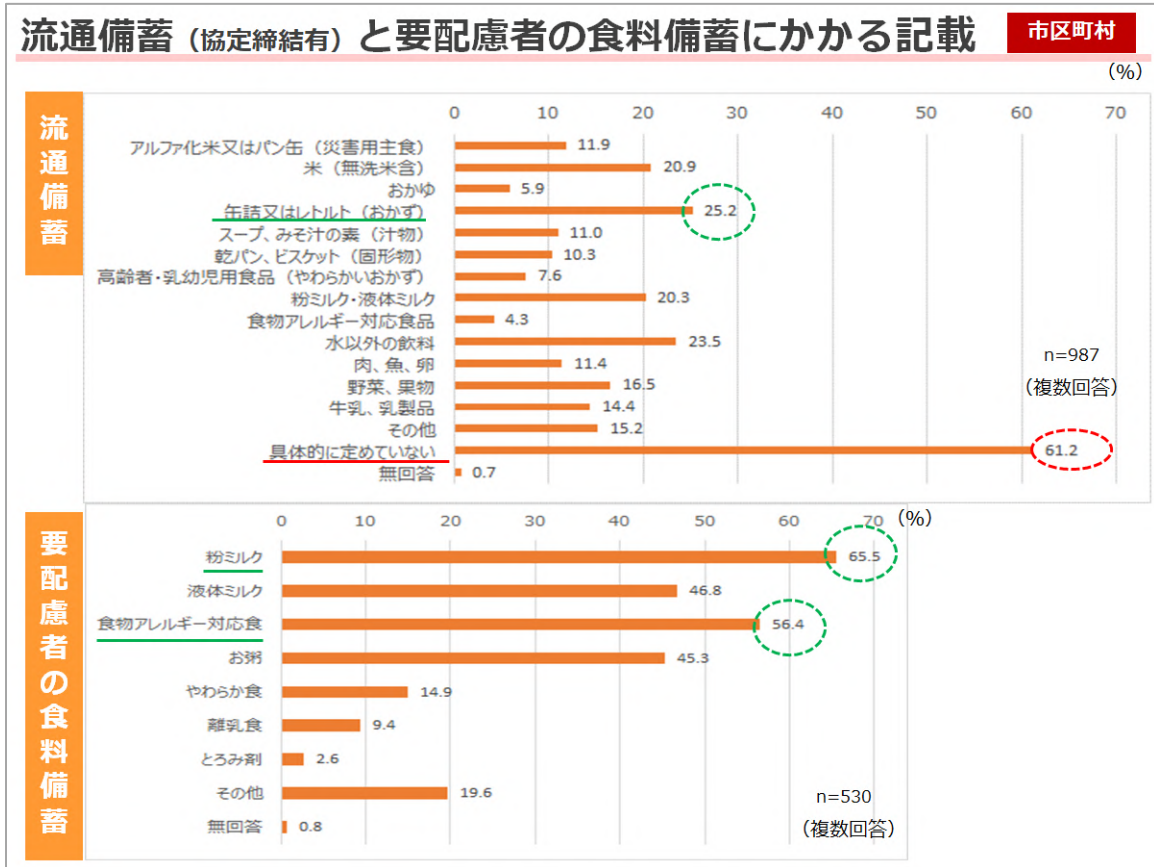
(図 20) 地域防災計画において管理栄養士が従事する活動の記載状況

地域防災計画を除き、発災時や発災に備えた平時からの栄養・食生活支援の記載がある計画は「食育推進計画」が最も多く、都道府県 48.9%、市区町村 10.9%である。一方、計画への記載がない自治体は、都道府県 27.7%（13自治体）、市区町村 80.7%（1,043自治体）である。



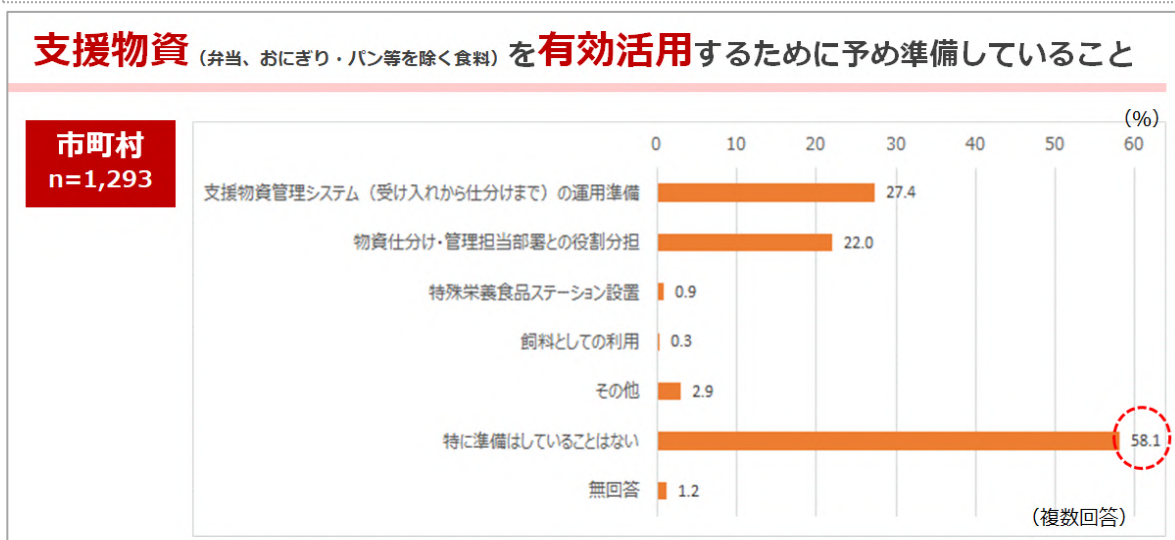
(図 21) 発災に備え、平時からの栄養・食生活支援の記載がある計画 (地域防災計画以外)

流通備蓄（協定締結有）は、おかず 25.2%、水以外の飲料 23.5%の順に多く、食物アレルギー対応食品、おかゆ、高齢者・乳幼児用食品は 10%以下にとどまる。地域防災計画等への要配慮者用備蓄にかかる記載は、粉ミルク 65.5%、食物アレルギー対応食 56.4%の順である。



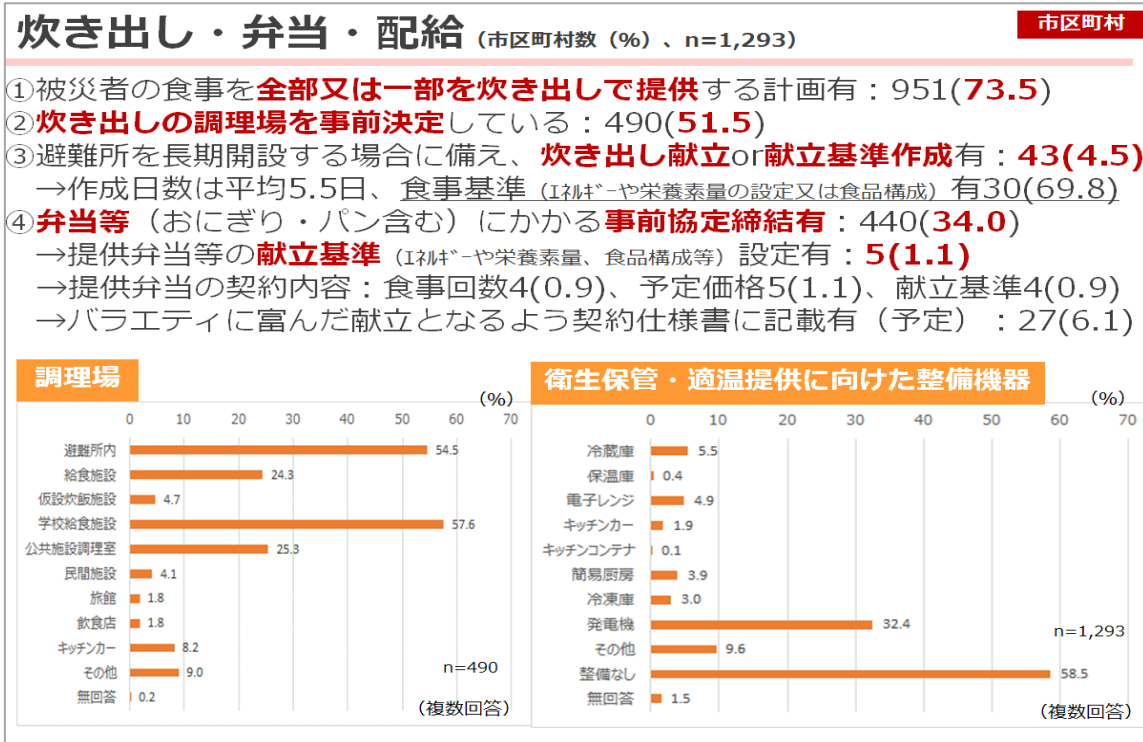
(図 22) 流通備蓄（協定締結有）と要配慮者の食料備蓄にかかる計画等への記載状況

支援物資を有効活用するために予め準備していることは「特にない」が 58.3%と最も多い。



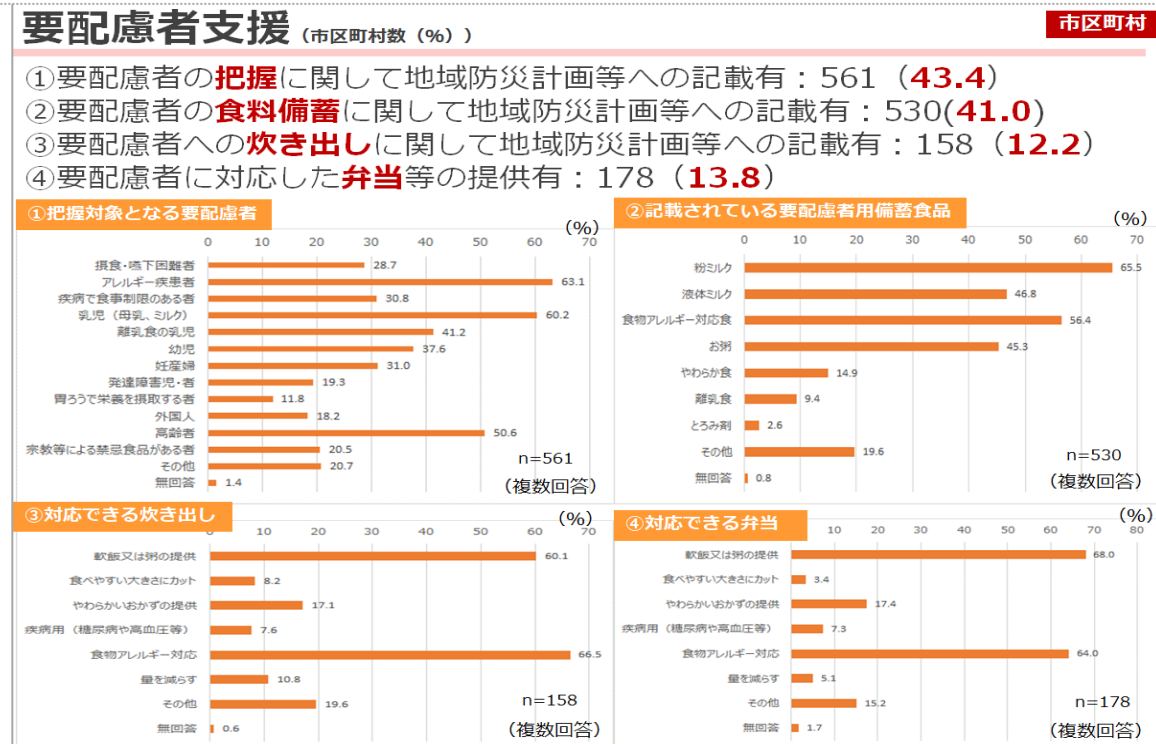
(図 23) 支援物資を有効活用するために予め準備していること

炊き出し計画有 73.5%のうち献立基準作成有 4.5%、弁当等事前協定有 34.0%のうち献立基準作成有 1.1%である。炊き出し調理場事前決定 51.5%のうち、学校給食施設が 57.6%と最多。



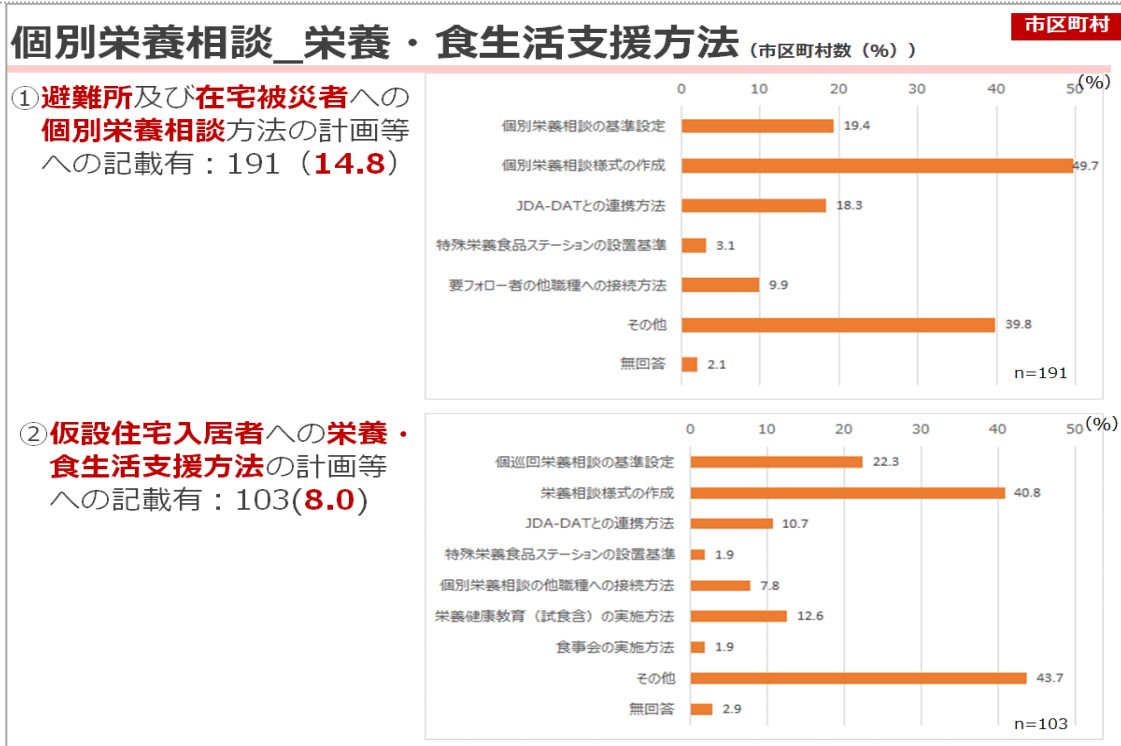
(図 24) 炊き出し・弁当・配給にかかる準備状況

地域防災計画等への記載として、要配慮者の把握 43.3%、要配慮者の備蓄 41.0%は 4 割以上であるが、炊き出しは 12.2%、弁当提供は 13.8%と 1 割強にとどまる。



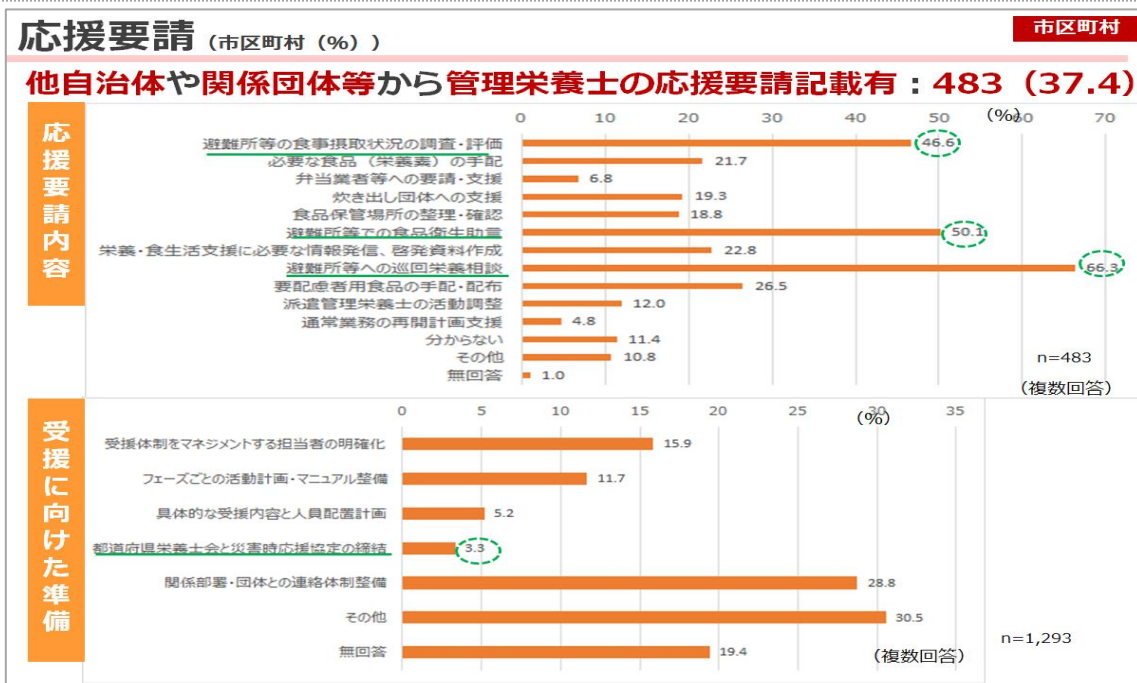
(図 25) 要配慮者支援にかかる準備状況

計画等への避難所及び在宅被災者への個別栄養相談記載有 14.8%、仮設住宅入居者への栄養・食生活支援記載有 8.0%といずれも低率。



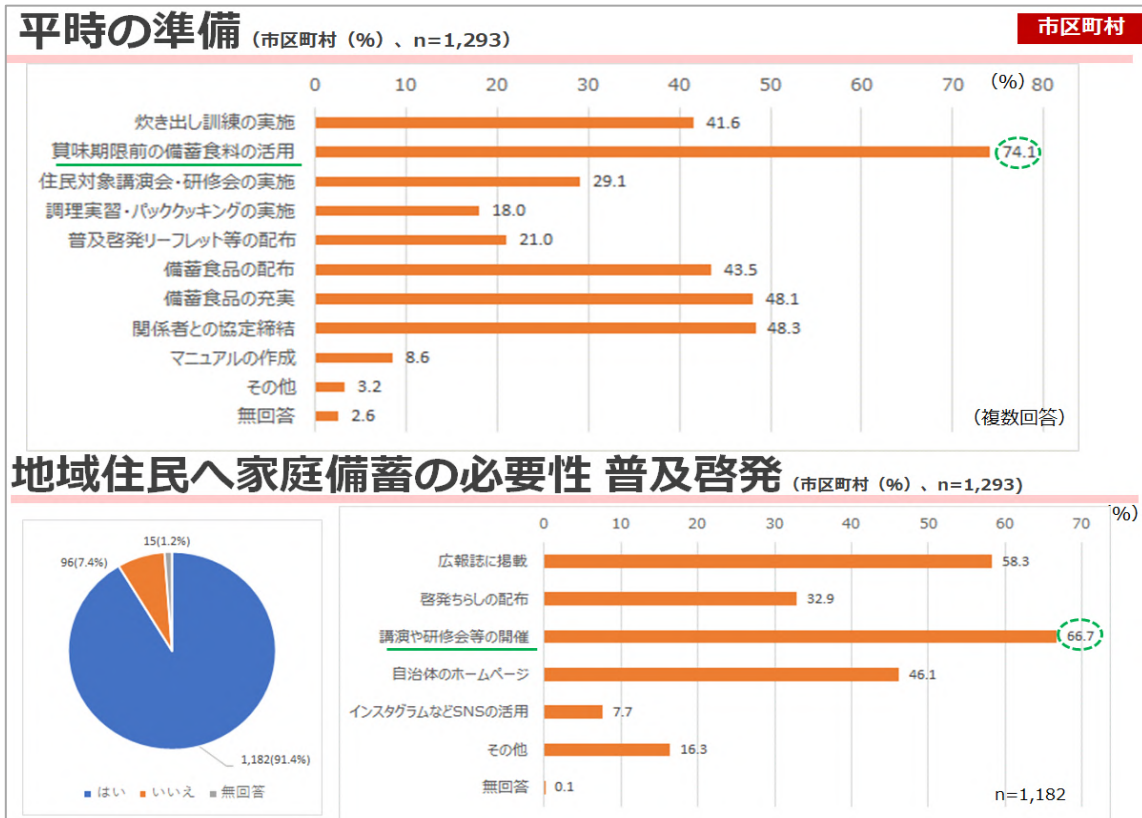
(図 26) 個別栄養相談および栄養・食生活支援方法にかかる計画等への記載状況

地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン等に、他自治体や関係団体等の管理栄養士の応援要請を記載している自治体は 37.4%で、6 割以上が未記載。



(図 27) 地域防災計画等への他自治体や関係団体等から管理栄養士の応援要請記載状況

平時の準備は、賞味期限前の備蓄食料の活用 74.1%、関係者との協定締結 48.3%、備蓄食品の充実 48.1%の順に多い。家庭備蓄の普及啓発は9割の市区町村で実施されている







(図 28) 平時の準備と地域住民への家庭備蓄の必要性にかかる普及啓発状況

10 考察

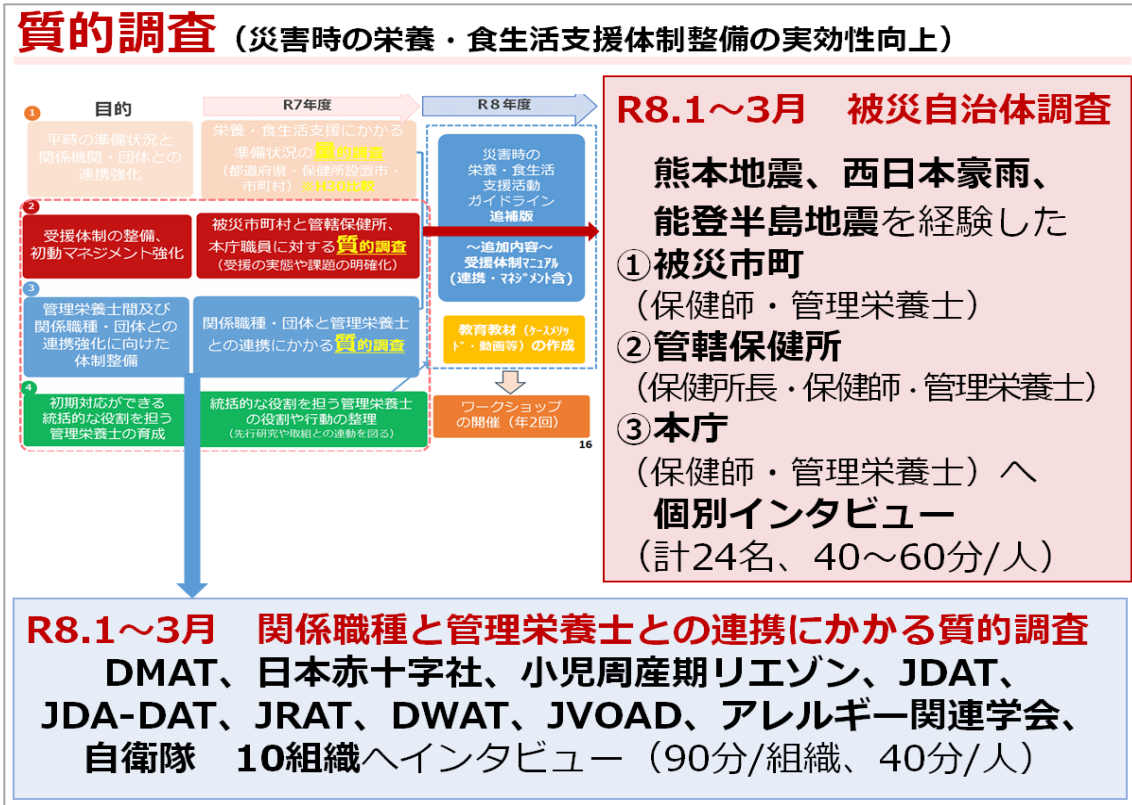
準備状況は改善傾向にあるが、栄養に配慮した食料備蓄や要配慮者対応の不足、活動手順の未整備や支援活動の主担当部門が決定していない等の課題が明らかになった。

受援体制の不備は外部支援受入れの遅延につながり得るため、平時から部局横断の役割分担や情報共有、保健所と市町村の連携が重要である。

また、地域防災計画の策定に管理栄養士が参画している市区町村では、連絡調整窓口の明確化、献立作成、食事調査、個別栄養相談、仮設住宅入居者支援、応援要請が相対的に進んでいたことから、計画策定への参画を起点に、支援活動手順の明確化と研修・訓練を組み合わせ、平時からの事前準備の実効性を高めることが求められる。

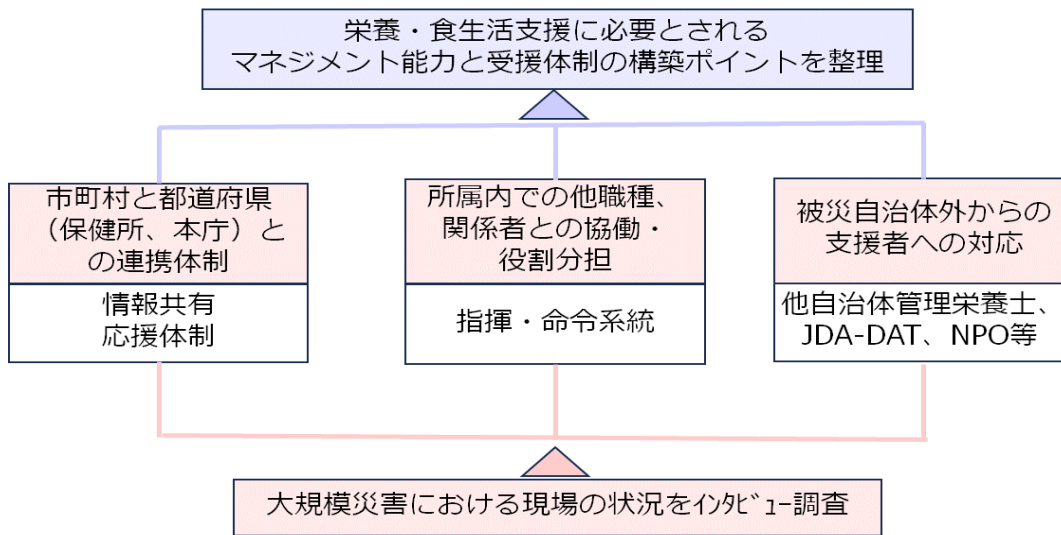
準備状況の量的調査のまとめ（考察）	
改善 	地域防災計画への栄養・食生活支援の記載増加 食料備蓄の増加
不足 	要配慮者対応の不足 （食料備蓄、炊き出しなど） 活動手順や受援体制の未整備 部局横断の連携不足 （平時からの支援活動担当部門の未決定）
クロス分析 	地域防災計画の策定に管理栄養士が参画している 市区町村は、 連絡調整窓口の明確化 や 応援要請 、 栄養相談 、 食事調査 等が相対的に 進んでいる 。
ポイント 	計画策定への参画を起点に 、支援活動 手順の明確化 と 研修・訓練 を組み合わせ、 平時からの事前準備の実効性を高める ことが重要である。

【質的調査の概要（被災自治体インタビュー調査、関係職種インタビュー調査）】



被災市町村と管轄保健所、本庁職員に対する質的調査まとめ方案

インタビュー調査を踏まえ、①発災時の初動体制の構築、自治体間の連携ポイントと必要なマネジメント能力の整理、②物資や情報、人材が不足する被災地において、迅速かつ円滑に支援活動を行うために必要な受援体制構築のポイントをまとめる。



被災市町村と管轄保健所、本庁職員に対するインタビュー調査項目

【管理栄養士対象】 1人60分

- 1 基本情報
- 2 栄養・食生活支援にかかる対応
 - ①被災地の栄養・食生活支援活動について、いつ頃、どのような場面で、誰と何を話し、その結果、どう働きかけたか。
 - ②栄養・食生活支援活動を進める上で、円滑に対応できたこと、対応が難しかったことは何か。
 - ③管理栄養士の応援はどのタイミングで、誰に、どのように要請したか。受援体制はどう整えたか。
- 3 市町村と保健所、本庁等との連携
- 4 被災経験を踏まえた事前準備

【保健師対象】 1人40分

- 1 基本情報
- 2 栄養・食生活支援にかかる対応
 - ①被災地の栄養・食生活支援に関して、自所属では、いつ頃、誰が、どのような活動から開始したか。
 - ②栄養・食生活支援活動に関する問題は、どの時点で、誰から上がってきたか。把握した問題に対して、どのように判断し、自所属の管理栄養士に対する指示は、いつ頃、どのように出したか。
- 3 自所属の管理栄養士との協働
- 4 被災経験を踏まえた事前準備

【保健所長対象】 1人40分

- 1 基本情報
- 2 栄養・食生活支援にかかる対応
 - ①被災地の栄養・食生活支援に関して、自所属では、いつ頃、誰が、どのような活動から開始したか。
 - ②栄養・食生活支援活動に関する問題は、どの時点で、誰から上がってきたか。把握した問題に対して、どのように判断し、自所属の管理栄養士に対する指示は、いつ頃、どのように出したか。
- 3 栄養・食生活支援にかかる所内・所外との連携
- 4 被災経験を踏まえた事前準備





関係職種・団体へ管理栄養士との連携にかかるインタビュー調査項目

DMAT、日本赤十字社、小児周産期リエゾン、JDAT、JDA-DAT、JRAT、DWAT、JVOAD、アレルギー関連学会、自衛隊 10組織インタビュー（90分/組織、40分/人）

- 1 基本情報
- 2 被災地における栄養・食生活支援に関して、実際に体験した問題
 - ①フェーズごとにどのような問題が生じていたか、どのような課題に直面したか。問題があった場合、その問題は「どこに」、あるいは「誰に」、提案や相談をしたか。その相手は**管理栄養士（被災自治体管理栄養士、派遣自治体管理栄養士、JDA-DAT）**であったか。
 - ②貴組織にとって、被災地における栄養・食生活支援活動や管理栄養士による活動はどのフェーズで求められているか。
- 3 被災地において管理栄養士と連携できたこと、連携が難しかったこと
 - ①管理栄養士と連携することで、効果的に活動できたこと、連携が難しかったことは何か。連携したかったが、連携できなかった場合は、その理由は。
 - ②被災地で、貴組織と管理栄養士が連携して、栄養・食生活支援活動を進めていく際のポイントや、管理栄養士が果たすべき役割についてどう考えるか。
- 4 今後の災害対応において、貴組織と管理栄養士と連携して活動を進めるために、管理栄養士に求める事前準備

令和7年度 栄養・食生活支援にかかる準備状況の量的調査 「都道府県版」

- 回答の締切は**令和7年11月4日（火）**です
- 防災主管課の担当者が、関係各課に確認の上、回答してください
- ファイルは右記に送信をお願いします → eiyou@comon.jp
- ウェブフォームと本調査票の、いずれかでの回答をお願いします
- 回答方法とセル色の説明

	単数回答、選択肢番号を直接記載あるいはプルダウン
	複数回答、あてはまる選択肢番号を記載
	数字を記載
	文字を記載、記載内容のすべてがセル内に表示されなくても、記載内容は保存されています

●用語について

※**大規模災害**：災害救助法が適用される規模の災害

※**要配慮者**：高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（災害対策基本法第8条15項）

※**炊き出し**：災害時において、食事を大量に調理して、無償又は低価格で提供する活動

※**避難所食事状況調査票（統一様式）**：災害時の栄養・食生活支援ガイド（日本栄養士会作成）に収載している様式 ↓

https://www.dietitian.or.jp/news/upload/images/jdadat_guide_202207.pdf

※**JDA-DAT**：日本栄養士会が設立した災害支援専門チーム

↓ここから質問が始まります

調査回答自治体および回答者について、ご記入ください

都道府県名	<input type="text"/>
調査回答者のご所属(部・課・係)	<input type="text"/>
調査回答者のお名前	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
FAX番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

I. 貴自治体の基本情報について

Q 1 東日本大震災（2011年3月）以降、貴自治体において災害救助法が適用された被災経験はありますか

(番号は1つ) 1. 有 2. 無

Q 2 東日本大震災（2011年3月）以降、貴自治体として、被災地に管理栄養士又は栄養士を派遣した経験はありますか

(番号は1つ) 1. 有 2. 無

Q 3 保健医療福祉調整本部では、栄養・食生活支援活動の方針等の調整を行う仕組みは整っていますか

(番号は1つ) 1. はい 2. いいえ

Q 4 発災時の栄養・食生活支援活動について、庁内外との連絡調整窓口をどこに設置し、誰が連絡調整の役割を担うか予め決めてありますか

2の場合 (番号は1つ) 1. 決めている → Q4-1
2. 決めていない → Q4-2

1の場合

Q 4-1 「1. 決めている」場合、部署および職位職種をご記入ください

部署

職位職種

Q 4-2 「2. 決めていない」場合、今後、決める予定はありますか

(番号は1つ) 1. 有 2. 無

Q 5 本調査の分析および公表について、承諾の可否をご記入ください（自治体名は特定されません、全体の結果についてのみ）

(番号は1つ) 1. 承諾する 2. 承諾しない

II. 貴自治体の地域防災計画について

- Q 6 災害が発生した場合、栄養・食生活支援の担当として、貴自治体の管理栄養士又は栄養士が従事する活動について、地域防災計画又は避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プランに明記されている選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

栄養・食生活支援には従事しない場合は、「14」を記入してください

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載）

↓「13. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 栄養補給に必要な食品(流通備蓄含む)の確認、確保
2. 炊き出し等の配食指導、調理従事
3. 炊き出し又は弁当等の献立作成や助言
4. 避難所等で提供する食事の調査
5. 避難所等での食品衛生指導
6. 栄養・食生活支援に係る関係団体との連絡、調整
7. 栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料の作成
8. 栄養補助食品やアレルギー対応食品等の受け入れ、選別、提供
9. 普通の食事が食べられない要配慮者への支援
10. 被災者への巡回健康相談、栄養指導、健康教育等
11. 仮設住宅や復興公営住宅など避難生活の長期化に対する支援
12. 特定給食施設指導
13. その他
14. 栄養・食生活支援には従事しない

- Q 7 地域防災計画及び災害関連計画以外に、発災時や発災に備えた平時からの栄養・食生活支援について記載がある計画はありますか。あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載）

↓「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 保健医療計画 <input type="checkbox"/> | 4. 老人福祉計画 <input type="checkbox"/> | 7. 地方創生計画 <input type="checkbox"/> |
| 2. 食育推進計画 <input type="checkbox"/> | 5. 障害者福祉計画 <input type="checkbox"/> | 8. その他 |
| 3. 健康増進計画 | 6. 地域福祉計画 | 9. 該当なし |

Ⅲ. 食事について

Q 8 固定備蓄についてお尋ねします。被災者へ提供する食料及び水について、現物で備蓄をしていますか

← (番号は1つ)

1. 有(食料・水) } → Q8-1

2. 一部有(食料のみ) } → Q8-1

3. 一部有(水のみ) } → Q9

4. 無 } → Q9

1又は2の場合

↓

Q 8-1 「1. 有(食料・水)」 「2. 一部有(食料のみ)」の場合、次の食料のうち現物備蓄している物の量(○日分、1日○回、○食分、人口に対する割合○%)を記入してください
A~Kそれぞれについて、記載できる単位のセルに数字をいれてください

	○日分	1日○回	○食分	人口に対する割合○%
A. アルファ化米又はパン缶(災害用主食)				
B. 米(無洗米含)				
C. おかゆ				
D. 缶詰又はレトルト(おかず)				
E. スープ、みそ汁の素(汁物)				
F. 乾パン、ビスケット(固形物)				
G. 高齢者・乳幼児用食品(やわらかいおかず)				
H. 粉ミルク・液体ミルク				
I. 食物アレルギー対応食品				
J. 水以外の飲料				
K. その他(最も備蓄量が多いもの)				

Q 9 被災者へ提供する食料（弁当やおにぎり、パン等の食事及び炊き出しを除く）や水について、流通備蓄（協定締結）をしていますか

← (番号は1つ)
 ↓
 1又は2の場合

1. 有(食料・水) } → Q9-1
 2. 一部有(食料のみ) }
 3. 一部有(水のみ) } → Q10
 4. 無

Q 9-1 「1. 有(食料・水)」「2. 一部有(食料のみ)」の場合、次の食料のうち、流通備蓄（協定締結）している選択肢番号を記入してください（複数回答可能）
 具体的に定めていない場合は、「15」を記入してください

 (回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「14. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|---|
| 1. アルファ化米又はパン缶(災害用主食) <input type="checkbox"/> | 9. 食物アレルギー対応食品 <input type="checkbox"/> |
| 2. 米(無洗米含) <input type="checkbox"/> | 10. 水以外の飲料 <input type="checkbox"/> |
| 3. おかゆ <input type="checkbox"/> | 11. 肉、魚、卵 |
| 4. 缶詰又はレトルト(おかず) <input type="checkbox"/> | 12. 野菜、果物 <input type="checkbox"/> |
| 5. スープ、みそ汁の素(汁物) <input type="checkbox"/> | 13. 牛乳、乳製品 <input type="checkbox"/> |
| 6. 乾パン、ビスケット(固形物) <input type="checkbox"/> | 14. その他 <input type="checkbox"/> |
| 7. 高齢者・乳幼児用食品(やわらかいおかず) | 15. 具体的に定めていない |
| 8. 粉ミルク・液体ミルク <input type="checkbox"/> | |

Q 10 令和2年4月 厚生労働省発「大規模災害時に備えた栄養に配慮した食料備蓄量の算出のための簡易シミュレーター」は活用したことがありますか

← (番号は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q 11 地域防災計画や災害時要配慮者支援プランには、要配慮者の食料備蓄に関する記載はありますか

← (番号は1つ)
 ↓
 1の場合

1. 有 2. 無

Q 11-1 「1. 有」と回答した場合、記載されている備蓄食品について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

 (回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1. 粉ミルク <input type="checkbox"/> | 5. やわらか食 <input type="checkbox"/> |
| 2. 液体ミルク <input type="checkbox"/> | 6. 離乳食 <input type="checkbox"/> |
| 3. 食物アレルギー対応食 <input type="checkbox"/> | 7. とろみ剤 <input type="checkbox"/> |
| 4. お粥 <input type="checkbox"/> | 8. その他 |

Q 12 災害時に避難所等で提供する食事の栄養量を算出するために、食事調査を実施することとしていますか

← (番号は1つ) 1. はい 2. いいえ

Q 13 支援物資（弁当、おにぎり・パン等を除く食料）を有効活用するために、予め準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）
準備をしていない場合は、「6」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「5. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 支援物資管理システム(受け入れから仕分けまで)の運用準備
2. 物資仕分け・管理担当部署との役割分担
3. 特殊栄養食品ステーション設置
4. 飼料としての利用
5. その他
6. 特に準備はしていることはない

Q 14 特定給食施設に対して指導助言していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「11. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 喫食者の特性に応じた食料備蓄
2. 備蓄食品を活用し、栄養量に配慮した献立作成
3. 賞味期限直前の備蓄食品を活用した給食提供
4. 緊急時食事提供マニュアルやBCPの作成と定期的見直し
5. 給食部門外の職員を交えた備蓄食の食事提供訓練
6. 近隣スーパーや給食会社等との食料調達契約
7. ライフライン断絶時の給食提供マネジメントの整備
8. 食事提供不能となった場合の代替手段の確保
9. 近隣給食施設との緊急時相互支援体制の構築
10. 非常用連絡網の作成と関係職員間の共有
11. その他

Q 15 災害時に食料品の調達が可能な店（スーパーやコンビニ、飲食店等）に関する情報を住民に発信するために、発災時に店舗情報を把握することとしていますか

← (番号は1つ) 1. はい 2. いいえ

IV. 人材について

Q 16 ①防災部門、②健康部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置の有無と、「有」の場合は配置人数を記入してください

①防災部門		← (番号は1つ)	1. 有 2. 無
	配置人数		
			人 (実人数)
②健康部門		← (番号は1つ)	1. 有 2. 無
	配置人数		
			人 (実人数)

Q 17 貴自治体において複数配置の管理栄養士又は栄養士を統括する役割を有する管理栄養士は配置されていますか

		← (番号は1つ)	1. はい 2. いいえ → Q17-1 3. 複数部署への配置がない
	2の場合		Q18

Q 17-1 「2. いいえ」と回答した場合、今後、配置する予定はありますか

		← (番号は1つ)	1. 有 2. 無
--	--	--------------	----------------

Q 18 現在、防災部局に所属する職員（事務職等）は、災害時の栄養・食生活支援に関する研修（都道府県、保健所、各種団体等が主催）を受講したことがありますか

		← (番号は1つ)	1. はい 2. いいえ
--	--	--------------	-------------------

Q 19 保健担当職員（保健師、管理栄養士等）は、災害時の栄養・食生活支援に関する研修（都道府県、保健所、各種団体等が主催）を受講したことがありますか

		← (番号は1つ)	1. はい 2. いいえ
--	--	--------------	-------------------

Q 20 行政管理栄養士を対象に、災害時の栄養・食生活対応能力の向上に向けた研修等を年1回以上、実施していますか

(番号は1つ)

1. はい → Q20-1、20-2

2. いいえ → Q21

1の場合

→ Q 20-1 「1. はい」と回答した場合、研修の実施方法（主催・対象）について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓ 「9. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. 保健所管理栄養士対象の災害研修会
- 2. 市町村管理栄養士対象の災害研修会
- 3. DHEAT研修と連動した研修会
- 4. 栄養士会JDA-DAT研修と連携した研修会
- 5. 同職種（医療・福祉等）と連携した研修会
- 6. 防災部門など他部門と連携した研修会
- 7. 災害中間支援組織やNPO等と連携した研修会
- 8. 外部団体連携した研修会
- 9. その他

→ Q 20-2 「1. はい」と回答した場合、災害時の栄養・食生活支援にかかる研修内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓ 「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. 避難所食事状況調査票（統一様式）の記載方法
- 2. 避難所食事状況調査票（自治体独自）の記載方法
- 3. 避難所食事状況調査集計フォーム（統一様式）の入力方法
- 4. 個別相談指導記録票記載方法
- 5. フェーズごとの栄養課題など支援活動に係る全般的な内容
- 6. その他

Q 21 貴管下では、令和6年度、圏域又は保健所管内ごとに、市町村栄養士を対象とした災害時の栄養・食生活支援にかかる研修、会議等を実施していますか。実施している場合、どの程度実施していますか

(番号は1つ)

1. 実施している

2. 実施していない

1の場合

実施している保健所の割合は、 %

1保健所あたりの実施頻度は、年 回

主な実施内容

Q 22 災害時の栄養・食生活対応能力向上に向け、管理栄養士又は栄養士は、自治体主催あるいは、関係機関主催の研修等を年1回以上、受講していますか

	← (番号は1つ)	1. はい 2. いいえ
--	-----------	--------------

Q 23 (1)～(6)に示す災害時の栄養・食生活支援活動について、A：貴自治体内での主な担当部門を1つ選択し、B：平時から連携している(※)庁内外の関係機関・団体について記入してください。回答は、防災部門が、健康福祉部門など関連部門に確認の上、記入してください。

※「連携している」とは、「地域防災計画や避難所運営マニュアル等災害関連計画に明文化」「協定・契約を締結」「支援活動の対応方針など合同会議で協議」「研修会や訓練等を協働実施」を指します。

(1) 食料の備蓄(固定・流通)

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先 →

--	--

複数回答可→

A：主な担当部門の選択肢

- ① 防災主管課
- ② 農政主管課
- ③ 健康づくり主管課
- ④ 福祉主管課
- ⑤ 住民課・総務課
- ⑥ 産業・商工主管課
- ⑦ 学校教育課
- ⑧ 学校給食センター
- ⑨ 財政課
- ⑩ その他
- ⑪ 決まっていない

(2) 炊き出し

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先 →

--	--

複数回答可→

B：平時からの連携先

- 1. 防災部門
- 2. 健康部門
- 3. 福祉部門
- 4. 食料調達部門
- 5. ボランティア調整部門
- 6. 医療職能団体
- 7. 栄養士会
- 8. 大学・研究機関
- 9. 災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会
- 10. 住民ボランティア組織
- 11. 学校給食センター
- 12. 食品関連事業者

(3) 食料の調達供給

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先 →

--	--

複数回答可→

(4) 要配慮者向けの食料調達供給

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先 →

--	--

複数回答可→

(5) 被災者の栄養相談・健康教育

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先 →

--	--

複数回答可→

(6) 避難所の食事調査・評価

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

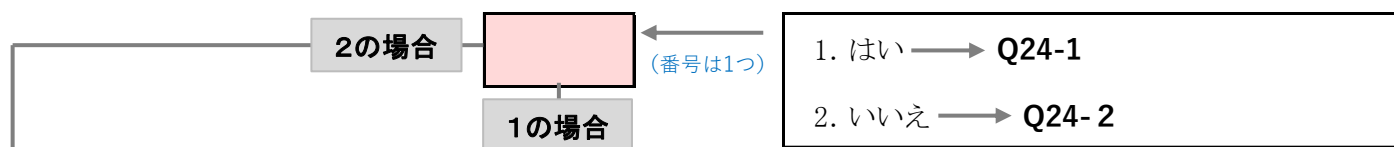
--	--

B：平時からの連携先 →

--	--

複数回答可→

Q 24 被災者の栄養・食生活を支援するにあたり、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請することについて、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか



Q 24-1 「1. はい」と回答した場合、どこに応援を要請することとしていますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

決めていない場合は、「7」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓ 「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|--|
| 1. 他都道府県 <input type="checkbox"/> | 5. 施設(病院、福祉施設等) <input type="checkbox"/> |
| 2. 近隣市町村・区 <input type="checkbox"/> | 6. その他 <input type="checkbox"/> |
| 3. 災害協定を結ぶ市町村・区 <input type="checkbox"/> | 7. 特に決めていない <input type="checkbox"/> |
| 4. 栄養士会 <input type="checkbox"/> | |

Q 24-2 「2. いいえ」と回答した場合、応援を要請しない理由について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓ 「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 自所属内の管理栄養士・栄養士で十分だと思う
2. 受援の受け皿がない(所属に管理栄養士・栄養士の配置なし)
3. どんな活動を支援してもらえるのか分からない
4. どんな活動を要請したらよいのか分からない
5. どこに依頼すればいいのか分からない
6. 受援の必要性がない
7. 検討自体をしていない
8. その他

Q 25 被災者の栄養・食生活を支援するにあたり、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請する場合、派遣された管理栄養士又は栄養士に、どんな活動を要請しますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載）

↓「13. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 避難所等の食事摂取状況の調査・評価
2. 必要な食品(栄養素)の手配
3. 弁当業者等への要請・支援
4. 炊き出し団体への支援
5. 食品保管場所の整理・確認
6. 避難所等での食品衛生助言
7. 栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料作成
8. 避難所等への巡回栄養相談
9. 要配慮者用食品の手配・配布
10. 派遣管理栄養士の活動調整
11. 通常業務の再開計画支援
12. 分からない
13. その他

Q 26 他自治体や関係団体等からの応援管理栄養士又は栄養士を受け入れるにあたり、平時から準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載）

↓「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 受援体制をマネジメントする担当者の明確化
2. フェーズごとの活動計画・マニュアル整備
3. 具体的な受援内容と人員配置計画
4. 都道府県栄養士会と災害時応援協定の締結
5. 関係部署・団体との連絡体制整備
6. その他

Q 27 管理栄養士又は栄養士の被災地への派遣について、平時から派遣体制を整備していますか

(番号は1つ) ← 1. はい 2. いいえ

1の場合

Q 27-1 「1. はい」と回答した場合、具体的に調整していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. 派遣可否名簿の作成
- 2. DHEAT構成員として調整
- 3. 保健師等帯同チーム構成員として調整
- 4. 都道府県・市町村栄養士も含めて調整
- 5. JDA-DAT構成員として調整
- 6. その他

V. 情報について

Q 28 D24H（災害時保健医療福祉活動支援システム）の周知・活用について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

実施していることはない場合は、「8」を記入してください

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載）

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. D24Hの概要について周知
2. D24Hに関する研修を実施
3. D24Hの入力・報告訓練を実施
4. D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施
5. D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施
6. D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施
7. その他
8. 特に実施していることはない → Q29

→ Q28-1

1～7の場合

→ Q 28-1 Q28で選んだ選択肢番号のうち、「D24Hの周知・活用」に関して、貴自治体の管理栄養士又は栄養士も対象になっているものはどれですか

対象のものがない場合は、「8」を記入してください

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載）

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. D24Hの概要について周知
2. D24Hに関する研修を実施
3. D24Hの入力・報告訓練を実施
4. D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施
5. D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施
6. D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施
7. その他
8. 管理栄養士又は栄養士が対象のものはない

Q 29 災害時における栄養・食生活支援活動を円滑に行うため、自治体として整備しているものについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）
 整備しているものがない場合は、「4」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「3. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

1～3の場合

- 【選択肢】
- 1. 災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインやマニュアル、手引き等
 - 2. 災害時の栄養・食生活支援活動のためのアクションカード → Q29-1、29-2
 - 3. その他
 - 4. 特に整備しているものはない → Q29-3

→ Q 29-1 Q29で1～3に該当する場合、ガイドライン等を活用する主な対象者は誰ですか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

- 【選択肢】
- 1. 都道府県栄養士
 - 2. 市町村栄養士
 - 3. 防災部局
 - 4. 食料調達部局
 - 5. 病院、施設等栄養士
 - 6. 保健医療関係者
 - 7. その他

→ Q 29-2 「1. ガイドラインやマニュアル、手引き等」に該当する場合、作成年度と最新の改訂年度はいつですか

(数字を記入) 作成年度 年度作成

(数字を記入) 最新の改訂年度 年度改訂

※和暦でご記入ください 例：R3

Q 29-3 「4. 特に整備しているものはない」と回答した場合、今後の整備予定はありますか

(番号は1つ) 1. 有 2. 無

VI. 財源について

Q 30 キッチンカー、キッチンコンテナなど簡易厨房の整備・予算確保状況について、あてはまる
選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載）

【選択肢】

1. 調査回答時点で購入・整備済み
2. 令和7年度内に購入予定
3. 令和8年度に購入のための予算確保予定
4. 令和7～8年度ともに予算確保の予定なし
5. 災害時に調達可能な事業者と協定締結済

VII. 平常時の備えについて

Q 31 災害時の栄養・食生活支援に備えて、平常時に準備していることについて、あてはまる選
肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載）

↓「10. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1. 炊き出し訓練の実施 <input type="checkbox"/> | 6. 備蓄食品の配布 <input type="checkbox"/> |
| 2. 賞味期限前の備蓄食料の活用 <input type="checkbox"/> | 7. 備蓄食品の充実 <input type="checkbox"/> |
| 3. 住民対象講演会・研修会の実施 <input type="checkbox"/> | 8. 関係者との協定締結 <input type="checkbox"/> |
| 4. 調理実習・バッククッキングの実施 <input type="checkbox"/> | 9. マニュアルの作成 <input type="checkbox"/> |
| 5. 普及啓発リーフレット等の配布 | 10. その他 |

Q 32 地域住民に対して、家庭備蓄の必要性についての普及啓発を行っていますか

（番号は1つ）

1. はい 2. いいえ

1の場合

Q 32-1 「1. はい」と回答した場合、どのような方法で啓発していますか、あてはまる選
肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載）

↓「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|---|
| 1. 広報誌に掲載 <input type="checkbox"/> | 4. 自治体のホームページ <input type="checkbox"/> |
| 2. 啓発ちらしの配布 <input type="checkbox"/> | 5. インスタグラムなどSNSの活用 <input type="checkbox"/> |
| 3. 講演や研修会等の開催 <input type="checkbox"/> | 6. その他 |

質問は終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ファイルは右記に送信をお願いします

eiyou@comon.jp

(2) 設問別集計表 (都道府県=47)

Q1東日本大震災(2011年3月)以降、貴自治体において災害救助法が適用された被災経験はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	44	93.6
2	無	3	6.4
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q2東日本大震災(2011年3月)以降、貴自治体として、被災地に管理栄養士又は栄養士を派遣した経験はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	40	85.1
2	無	7	14.9
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q3保健医療福祉調整本部では、栄養・食生活支援活動の方針等の調整を行う仕組みは整っていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	38	80.9
2	いいえ	9	19.1
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q4発災時の栄養・食生活支援活動について、庁内外との連絡調整窓口をどこに設置し、誰が連絡調整の役割を担うか予め決めていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	決めている	39	83.0
2	決めていない	8	17.0
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q4-2「2. 決めていない」場合、今後、決める予定はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	7	87.5
2	無	1	12.5
	無回答	0	0.0
	非該当	39	
	全体	8	100.0

Q5本調査の分析および公表について、承諾の可否をご記入ください

No.	カテゴリー名	n	%
1	承諾する	47	100.0
2	承諾しない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q6災害が発生した場合、栄養・食生活支援の担当として、貴自治体の管理栄養士又は栄養士が従事する活動について、地域防災計画又は避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プランに明記されている選択肢番号を記入してください(複数回答可能)

No.	カテゴリー名	n	%
1	栄養補給に必要な食品(流通備蓄含む)の確認、確保	18	38.3
2	炊き出し等の配食指導、調理従事	15	31.9
3	炊き出し又は弁当等の献立作成や助言	19	40.4
4	避難所等で提供する食事の調査	18	38.3
5	避難所等での食品衛生指導	18	38.3
6	栄養・食生活支援に係る関係団体との連絡、調整	20	42.6
7	栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料の作成	13	27.7
8	栄養補助食品やアレルギー対応食品等の受け入れ、選別、提供	16	34.0
9	普通の食事が食べられない要配慮者への支援	22	46.8
10	被災者への巡回健康相談、栄養指導、健康教育等	33	70.2
11	仮設住宅や復興公営住宅など避難生活の長期化に対する支援	12	25.5
12	特定給食施設指導	13	27.7
13	その他	8	17.0
14	栄養・食生活支援には従事しない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q7地域防災計画及び災害関連計画以外に、発災時や発災に備えた平時からの栄養・食生活支援について記載がある計画はありますか。あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	保健医療計画	11	23.4
2	食育推進計画	23	48.9
3	健康増進計画	5	10.6
4	老人福祉計画	1	2.1
5	障害者福祉計画	0	0.0
6	地域福祉計画	0	0.0
7	地方創生計画	1	2.1
8	その他	8	17.0
9	該当なし	13	27.7
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q8固定備蓄についてお尋ねします。被災者へ提供する食料及び水について、現物で備蓄をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有（食料・水）	35	74.5
2	一部有（食料のみ）	6	12.8
3	一部有（水のみ）	0	0.0
4	無	6	12.8
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q8-1Aアルファ化米等の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	39	95.1
2	備蓄なし・不明	2	4.9
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1B米の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	3	7.3
2	備蓄なし・不明	38	92.7
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1Cおかゆの備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	12	29.3
2	備蓄なし・不明	29	70.7
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1D缶詰等おかずの備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	13	31.7
2	備蓄なし・不明	28	68.3
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1Eスープ等汁物の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	1	2.4
2	備蓄なし・不明	40	97.6
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1F乾パン等固形物の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	16	39.0
2	備蓄なし・不明	25	61.0
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1G高齢・乳幼児用の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	6	14.6
2	備蓄なし・不明	35	85.4
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1H粉・液体ミルクの備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	28	68.3
2	備蓄なし・不明	13	31.7
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1Iアレルギー対応食品の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	18	43.9
2	備蓄なし・不明	23	56.1
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1J水以外の飲料の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	2	4.9
2	備蓄なし・不明	39	95.1
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q8-1Kその他の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	8	19.5
2	備蓄なし・不明	33	80.5
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

Q9被災者へ提供する食料（弁当やおにぎり、パン等の食事及び炊き出しを除く）や水について、流通備蓄（協定締結）をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有（食料・水）	39	83.0
2	一部有（食料のみ）	4	8.5
3	一部有（水のみ）	1	2.1
4	無	3	6.4
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q9-1「1. 有（食料・水）」「2. 一部有（食料のみ）」の場合、次の食料のうち、流通備蓄（協定締結）している選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	アルファ化米又はパン缶（災害用主食）	16	37.2
2	米（無洗米含）	19	44.2
3	おかゆ	10	23.3
4	缶詰又はレトルト（おかず）	21	48.8
5	スープ、みそ汁の素（汁物）	14	32.6
6	乾パン、ビスケット（固形物）	16	37.2
7	高齢者・乳幼児用食品（やわらかいおかず）	10	23.3
8	粉ミルク・液体ミルク	22	51.2
9	食物アレルギー対応食品	10	23.3
10	水以外の飲料	17	39.5
11	肉、魚、卵	10	23.3
12	野菜、果物	12	27.9
13	牛乳、乳製品	17	39.5
14	その他	21	48.8
15	具体的に定めていない	12	27.9
	無回答	0	0.0
	非該当	4	
	全体	43	100.0

Q10令和2年4月 厚生労働省発「大規模災害時に備えた栄養に配慮した食料備蓄量の算出のための簡易シミュレーター」は活用したことがありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	6	12.8
2	いいえ	41	87.2
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q11地域防災計画や災害時要配慮者支援プランには、要配慮者の食料備蓄に関する記載はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	38	80.9
2	無	9	19.1
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q11-1「1. 有」と回答した場合、記載されている備蓄食品について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	粉ミルク	26	68.4
2	液体ミルク	16	42.1
3	食物アレルギー対応食	26	68.4
4	お粥	12	31.6
5	やわらか食	5	13.2
6	離乳食	5	13.2
7	とろみ剤	2	5.3
8	その他	15	39.5
	無回答	0	0.0
	非該当	9	
	全体	38	100.0

Q12災害時に避難所等で提供する食事の栄養量を算出するために、食事調査を実施することとしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	19	40.4
2	いいえ	28	59.6
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q13支援物資（弁当、おにぎり・パン等を除く食料）を有効活用するために、予め準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	支援物資管理システム（受け入れから仕分けまで）の運用準備	25	53.2
2	物資仕分け・管理担当部署との役割分担	13	27.7
3	特殊栄養食品ステーション設置	6	12.8
4	飼料としての利用	1	2.1
5	その他	10	21.3
6	特に準備はしていることはない	11	23.4
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q14特定給食施設に対して指導助言していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	喫食者の特性に応じた食料備蓄	46	97.9
2	備蓄食品を活用し、栄養量に配慮した献立作成	44	93.6
3	賞味期限直前の備蓄食品を活用した給食提供	34	72.3
4	緊急時食事提供マニュアルやBCPの作成と定期的見直し	44	93.6
5	給食部門外の職員を交えた備蓄食の食事提供訓練	33	70.2
6	近隣スーパーや給食会社等との食料調達契約	17	36.2
7	ライフライン断絶時の給食提供マネジメントの整備	37	78.7
8	食事提供不能となった場合の代替手段の確保	38	80.9
9	近隣給食施設との緊急時相互支援体制の構築	31	66.0
10	非常用連絡網の作成と関係職員間の共有	39	83.0
11	その他	1	2.1
	無回答	1	2.1
	全体	47	100.0

Q15災害時に食料品の調達が可能な店（スーパーやコンビニ、飲食店等）に関する情報を住民に発信するために、発災時に店舗情報を把握することとしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	6	12.8
2	いいえ	39	83.0
	無回答	2	4.3
	全体	47	100.0

Q16①有無①防災部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置の有無と、「有」の場合は配置人数を記入してください

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	1	2.1
2	無	46	97.9
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q16②有無②健康部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置の有無と、「有」の場合は配置人数を記入してください

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	47	100.0
2	無	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q17貴自治体において複数配置の管理栄養士又は栄養士を統括する役割を有する管理栄養士は配置されていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	15	31.9
2	いいえ	27	57.4
3	複数部署への配置がない	5	10.6
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q17-1「2. いいえ」と回答した場合、今後、配置する予定はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	0	0.0
2	無	27	100.0
	無回答	0	0.0
	非該当	20	
	全体	27	100.0

Q18現在、防災部局に所属する職員（事務職等）は、災害時の栄養・食生活支援に関する研修（都道府県、保健所、各種団体等が主催）を受講したことがありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	5	10.6
2	いいえ	42	89.4
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q19保健担当職員（保健師、管理栄養士等）は、災害時の栄養・食生活支援に関する研修（都道府県、保健所、各種団体等が主催）を受講したことがありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	45	95.7
2	いいえ	2	4.3
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q20行政管理栄養士を対象に、災害時の栄養・食生活対応能力の向上に向けた研修等を年1回以上、実施していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	19	40.4
2	いいえ	28	59.6
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q20-1 「1. はい」と回答した場合、研修の実施方法（主催・対象）について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	保健所管理栄養士対象の災害研修会	16	84.2
2	市町村管理栄養士対象の災害研修会	15	78.9
3	DHEAT研修と連動した研修会	4	21.1
4	栄養士会JDA-DAT研修と連携した研修会	6	31.6
5	同職種（医療・福祉等）と連携した研修会	2	10.5
6	防災部門など他部門と連携した研修会	1	5.3
7	災害中間支援組織やNPO等と連携した研修会	0	0.0
8	外部団体連携した研修会	1	5.3
9	その他	1	5.3
	無回答	0	0.0
	非該当	28	
	全体	19	100.0

Q20-2 「1. はい」と回答した場合、災害時の栄養・食生活支援にかかる研修内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難所食事状況調査票（統一様式）	3	15.8
2	避難所食事状況調査票（自治体独自）の記載方法	2	10.5
3	避難所食事状況調査集計フォーム（統一様式）の入力方法	0	0.0
4	個別相談指導記録票記載方法	2	10.5
5	フェーズごとの栄養課題など支援活動に係る全般的な内容	18	94.7
6	その他	4	21.1
	無回答	0	0.0
	非該当	28	
	全体	19	100.0

Q21貴管下では、令和6年度、圏域又は保健所管内ごとに、市町村栄養士を対象とした災害時の栄養・食生活支援にかかる研修、会議等を実施していますか、実施している場合、どの程度実施していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施している	40	85.1
2	実施していない	7	14.9
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q22災害時の栄養・食生活対応能力向上に向け、管理栄養士又は栄養士は、自治体主催あるいは、関係機関主催の研修等を年1回以上、受講していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	30	63.8
2	いいえ	17	36.2
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q23-1食料の備蓄_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	37	78.7
2	農政主管課	1	2.1
3	健康づくり主管課	0	0.0
4	福祉主管課	5	10.6
5	住民課・総務課	0	0.0
6	産業・商工主管課	0	0.0
7	学校教育課	0	0.0
8	学校給食センター	0	0.0
9	財政課	0	0.0
10	その他	2	4.3
11	決まっていない	2	4.3
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q23-1食料の備蓄_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	24	51.1
2	健康部門	6	12.8
3	福祉部門	7	14.9
4	食料調達部門	5	10.6
5	ボランティア調整部門	0	0.0
6	医療職能団体	1	2.1
7	栄養士会	0	0.0
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組NPO法人、社会福祉協議会	3	6.4
10	住民ボランティア組織	0	0.0
11	学校給食センター	1	2.1
12	食品関連事業者	12	25.5
	無回答	7	14.9
	全体	47	100.0

Q23-2炊き出し_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	24	51.1
2	農政主管課	1	2.1
3	健康づくり主管課	1	2.1
4	福祉主管課	2	4.3
5	住民課・総務課	0	0.0
6	産業・商工主管課	0	0.0
7	学校教育課	0	0.0
8	学校給食センター	0	0.0
9	財政課	0	0.0
10	その他	5	10.6
11	決まっていない	11	23.4
	無回答	3	6.4
	全体	47	100.0

Q23-2炊き出し_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	13	27.7
2	健康部門	6	12.8
3	福祉部門	4	8.5
4	食料調達部門	6	12.8
5	ボランティア調整部門	2	4.3
6	医療職能団体	0	0.0
7	栄養士会	2	4.3
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組NPO法人、社会福祉協議会	5	10.6
10	住民ボランティア組織	3	6.4
11	学校給食センター	1	2.1
12	食品関連事業者	8	17.0
	無回答	19	40.4
	全体	47	100.0

Q23-3食料調達供給_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	25	53.2
2	農政主管課	5	10.6
3	健康づくり主管課	0	0.0
4	福祉主管課	4	8.5
5	住民課・総務課	0	0.0
6	産業・商工主管課	5	10.6
7	学校教育課	0	0.0
8	学校給食センター	0	0.0
9	財政課	0	0.0
10	その他	4	8.5
11	決まっていない	4	8.5
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q23-3食料調達供給_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	21	44.7
2	健康部門	5	10.6
3	福祉部門	5	10.6
4	食料調達部門	9	19.1
5	ボランティア調整部門	1	2.1
6	医療職能団体	0	0.0
7	栄養士会	0	0.0
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組NPO法人、社会福祉協議会	3	6.4
10	住民ボランティア組織	0	0.0
11	学校給食センター	2	4.3
12	食品関連事業者	23	48.9
	無回答	7	14.9
	全体	47	100.0

Q23-4要配慮者向け_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	18	38.3
2	農政主管課	2	4.3
3	健康づくり主管課	12	25.5
4	福祉主管課	5	10.6
5	住民課・総務課	0	0.0
6	産業・商工主管課	1	2.1
7	学校教育課	0	0.0
8	学校給食センター	0	0.0
9	財政課	0	0.0
10	その他	3	6.4
11	決まっていない	6	12.8
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q23-4要配慮者向け_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	14	29.8
2	健康部門	9	19.1
3	福祉部門	10	21.3
4	食料調達部門	9	19.1
5	ボランティア調整部門	1	2.1
6	医療職能団体	0	0.0
7	栄養士会	16	34.0
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組NPO法人、社会福祉協議会	2	4.3
10	住民ボランティア組織	0	0.0
11	学校給食センター	0	0.0
12	食品関連事業者	10	21.3
	無回答	11	23.4
	全体	47	100.0

Q23-5被災者栄養相談等_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	0	0.0
2	農政主管課	0	0.0
3	健康づくり主管課	44	93.6
4	福祉主管課	0	0.0
5	住民課・総務課	0	0.0
6	産業・商工主管課	0	0.0
7	学校教育課	1	2.1
8	学校給食センター	0	0.0
9	財政課	0	0.0
10	その他	0	0.0
11	決まっていない	2	4.3
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q23-5被災者栄養相談等_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	5	10.6
2	健康部門	16	34.0
3	福祉部門	5	10.6
4	食料調達部門	0	0.0
5	ボランティア調整部門	0	0.0
6	医療職能団体	1	2.1
7	栄養士会	37	78.7
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組NPO法人、社会福祉協議会	0	0.0
10	住民ボランティア組織	1	2.1
11	学校給食センター	0	0.0
12	食品関連事業者	0	0.0
	無回答	2	4.3
	全体	47	100.0

Q23-6避難所食事調査等_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	1	2.1
2	農政主管課	0	0.0
3	健康づくり主管課	41	87.2
4	福祉主管課	0	0.0
5	住民課・総務課	0	0.0
6	産業・商工主管課	0	0.0
7	学校教育課	1	2.1
8	学校給食センター	0	0.0
9	財政課	0	0.0
10	その他	1	2.1
11	決まっていない	3	6.4
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q23-6避難所食事調査等_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	4	8.5
2	健康部門	17	36.2
3	福祉部門	4	8.5
4	食料調達部門	0	0.0
5	ボランティア調整部門	0	0.0
6	医療職能団体	0	0.0
7	栄養士会	33	70.2
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組NPO法人、社会福祉協議会	0	0.0
10	住民ボランティア組織	0	0.0
11	学校給食センター	0	0.0
12	食品関連事業者	0	0.0
	無回答	5	10.6
	全体	47	100.0

Q24被災者の栄養・食生活を支援するにあたり、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請することについて、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	41	87.2
2	いいえ	6	12.8
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q24-1「1. はい」と回答した場合、どこに応援を要請することとしていますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	他都道府県	27	65.9
2	近隣市町村・区	9	22.0
3	災害協定を結ぶ市町村・区	2	4.9
4	栄養士会	39	95.1
5	施設（病院、福祉施設等）	0	0.0
6	その他	6	14.6
7	特に決めていない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	非該当	6	
	全体	41	100.0

Q24-2「2. いいえ」と回答した場合、応援を要請しない理由について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	自所属内の管理栄養士・栄養士で十分だと思う	0	0.0
2	受援の受け皿がない（所属に管理栄養士・栄養士の配置なし）	0	0.0
3	どんな活動を支援してもらえるのか分からない	1	16.7
4	どんな活動を要請したらよいか分からない	1	16.7
5	どこに依頼すればいいのか分からない	0	0.0
6	受援の必要性がない	1	16.7
7	検討自体をしていない	0	0.0
8	その他	4	66.7
	無回答	1	16.7
	非該当	41	
	全体	6	100.0

Q25被災者の栄養・食生活を支援するにあたり、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請する場合、派遣された管理栄養士又は栄養士に、どんな活動を要請しますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難所等の食事摂取状況の調査・評価	37	78.7
2	必要な食品（栄養素）の手配	20	42.6
3	弁当業者等への要請・支援	16	34.0
4	炊き出し団体への支援	21	44.7
5	食品保管場所の整理・確認	28	59.6
6	避難所等での食品衛生助言	25	53.2
7	栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料作成	33	70.2
8	避難所等への巡回栄養相談	40	85.1
9	要配慮者用食品の手配・配布	37	78.7
10	派遣管理栄養士の活動調整	12	25.5
11	通常業務の再開計画支援	10	21.3
12	分からない	2	4.3
13	その他	8	17.0
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q26他自治体や関係団体等からの応援管理栄養士又は栄養士を受け入れるにあたり、平時から準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	受援体制をマネジメントする担当者の明確化	5	10.6
2	フェーズごとの活動計画・マニュアル整備	20	42.6
3	具体的な受援内容と人員配置計画	3	6.4
4	都道府県栄養士会と災害時応援協定の締結	32	68.1
5	関係部署・団体との連絡体制整備	18	38.3
6	その他	5	10.6
	無回答	1	2.1
	全体	47	100.0

Q27管理栄養士又は栄養士の被災地への派遣について、平時から派遣体制を整備していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	26	55.3
2	いいえ	21	44.7
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q27-1「1. はい」と回答した場合、具体的に調整していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	派遣可否名簿の作成	11	42.3
2	DHEAT構成員として調整	20	76.9
3	保健師等帯同チーム構成員として調整	10	38.5
4	都道府県・市町村栄養士も含めて調整	5	19.2
5	JDA-DAT構成員として調整	4	15.4
6	その他	3	11.5
	無回答	0	0.0
	非該当	21	
	全体	26	100.0

Q28D24H（災害時保健医療福祉活動支援システム）の周知・活用について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	D24Hの概要について周知	37	78.7
2	D24Hに関する研修を実施	20	42.6
3	D24Hの入力・報告訓練を実施	11	23.4
4	D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施	11	23.4
5	D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施	6	12.8
6	D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施	4	8.5
7	その他	3	6.4
8	特に実施していることはない	6	12.8
	無回答	1	2.1
	全体	47	100.0

Q28-1Q28で選んだ選択肢番号のうち、「D24Hの周知・活用」に関して、貴自治体の管理栄養士又は栄養士も対象になっているものはどれですか

No.	カテゴリー名	n	%
1	D24Hの概要について周知	33	82.5
2	D24Hに関する研修を実施	18	45.0
3	D24Hの入力・報告訓練を実施	11	27.5
4	D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施	9	22.5
5	D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施	4	10.0
6	D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施	4	10.0
7	その他	4	10.0
8	管理栄養士又は栄養士が対象のものはない	3	7.5
	無回答	0	0.0
	非該当	7	
	全体	40	100.0

Q29災害時における栄養・食生活支援活動を円滑に行うため、自治体として整備しているものについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインやマニュアル、手引き等	30	63.8
2	災害時の栄養・食生活支援活動のためのアクションカード	11	23.4
3	その他	3	6.4
4	特に整備しているものはない	14	29.8
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q29-1Q29で1～3に該当する場合、ガイドライン等を活用する主な対象者は誰ですか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	都道府県栄養士	32	97.0
2	市町村栄養士	21	63.6
3	防災部局	2	6.1
4	食料調達部局	0	0.0
5	病院、施設等栄養士	5	15.2
6	保健医療関係者	0	0.0
7	その他	3	9.1
	無回答	0	0.0
	非該当	14	
	全体	33	100.0

Q29-3「4. 特に整備しているものはない」と回答した場合、今後の整備予定はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	8	57.1
2	無	6	42.9
	無回答	0	0.0
	非該当	33	
	全体	14	100.0

Q30キッチンカー、キッチンコンテナなど簡易厨房の整備・予算確保状況について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	調査回答時点で購入・整備済み	3	6.4
2	令和7年度内に購入予定	9	19.1
3	令和8年度に購入のための予算確保予定	1	2.1
4	令和7～8年度ともに予算確保の予定なし	24	51.1
5	災害時に調達可能な事業者と協定締結済	17	36.2
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q31災害時の栄養・食生活支援に備えて、平常時に準備していることについて、あてはま

る選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	炊き出し訓練の実施	12	25.5
2	賞味期限前の備蓄食料の活用	26	55.3
3	住民対象講演会・研修会の実施	9	19.1
4	調理実習・パッククッキングの実施	5	10.6
5	普及啓発リーフレット等の配布	19	40.4
6	備蓄食品の配布	10	21.3
7	備蓄食品の充実	19	40.4
8	関係者との協定締結	36	76.6
9	マニュアルの作成	22	46.8
10	その他	5	10.6
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q32地域住民に対して、家庭備蓄の必要性についての普及啓発を行っていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	46	97.9
2	いいえ	1	2.1
	無回答	0	0.0
	全体	47	100.0

Q32-1「1. はい」と回答した場合、どのような方法で啓発していますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	広報誌に掲載	30	65.2
2	啓発ちらしの配布	30	65.2
3	講演や研修会等の開催	31	67.4
4	自治体のホームページ	39	84.8
5	インスタグラムなどSNSの活用	17	37.0
6	その他	7	15.2
	無回答	0	0.0
	非該当	1	
	全体	46	100.0

令和7年度 栄養・食生活支援にかかる準備状況の量的調査 「保健所設置市・特別区・市町村版」

- 回答の締切は**令和7年11月4日（火）**です
- 防災主管課の担当者が、関係各課に確認の上、回答してください
- ファイルは右記に送信をお願いします → eiyou@comon.jp
- ウェブフォームと本調査票の、いずれかでの回答をお願いします
- 回答方法とセル色の説明

	単数回答、選択肢番号を直接記載あるいはプルダウン
	複数回答、あてはまる選択肢番号を記載
	数字を記載
	文字を記載、記載内容のすべてがセル内に表示されなくても、記載内容は保存されています

●用語について

- ※**大規模災害**：災害救助法が適用される規模の災害
- ※**要配慮者**：高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（災害対策基本法第8条15項）
- ※**炊き出し**：災害時において、食事を大量に調理して、無償又は低価格で提供する活動
- ※**特定給食施設**：特定かつ多数の者に対して、継続的に食事を供給する施設（病院、高齢者施設、保育所、事業所等）
- ※**避難所食事状況調査票（統一様式）**：災害時の栄養・食生活支援ガイド（日本栄養士会作成）に記載している様式 ↓
https://www.dietitian.or.jp/news/upload/images/jdadat_guide_202207.pdf
- ※**JDA-DAT**：日本栄養士会が設立した災害支援専門チーム

↓ **ここから質問が始まります**

調査回答自治体および回答者について、ご記入ください

都道府県名	
市町村名	
管轄保健所名	
調査回答者のご所属(部・課・係)	
調査回答者のお名前	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

I. 貴自治体の基本情報について

Q 1 令和7年4月現在の推計人口について、あてはまる選択肢番号をご記入ください

(番号は1つ)

1. 1万人未満

2. 1万～3万人未満

3. 3万～10万人未満

4. 10万～30万人未満

5. 30万～50万人未満

6. 50万人以上

Q 2 令和7年4月現在の常勤の管理栄養士又は栄養士の配置

※配置部署は問わないが、公立保育園、学校への配置は除く

(番号は1つ)

1. 有 2. 無

↓

1の場合

Q 2-1 「1. 有」の場合、人数をご記入ください 人 (実人数)

Q 3 東日本大震災（2011年3月）以降、貴自治体において災害救助法が適用された被災経験はありますか

(番号は1つ)

1. 有 2. 無

Q 4 東日本大震災（2011年3月）以降、貴自治体として、被災地に管理栄養士又は栄養士を派遣した経験はありますか

(番号は1つ)

1. 有 2. 無

Q 5 発災時の栄養・食生活支援活動について、庁内外との連絡調整窓口をどこに設置し、誰が連絡調整の役割を担うか予め決めていますか

2の場合 (番号は1つ)

1. 決めている → Q5-1

2. 決めていない → Q5-2

↓

1の場合

Q 5-1 「1. 決めている」場合、部署および職位職種をご記入ください

部署

職位職種

Q 5-2 「2. 決めていない」場合、今後、決める予定はありますか

(番号は1つ)

1. 有 2. 無

Q 6 本調査の分析および公表について、承諾の可否をご記入ください（自治体名は特定されません、全体の結果についてのみ）

(番号は1つ)

1. 承諾する 2. 承諾しない

II. 貴自治体の地域防災計画について

Q 7 地域防災計画又は避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プランには、大規模災害時の栄養・食生活支援に関する内容が記載されていますか

← (番号は1つ)

1. 有 → Q7-1、7-2 2. 無

↓

1の場合

Q 7-1 「1. 有」の場合、計画策定に管理栄養士又は栄養士の参画はありますか

← (番号は1つ)

1. 有 2. 無

Q 7-2 「1. 有」の場合、災害時に、貴自治体の管理栄養士又は栄養士が栄養・食生活支援の担当として従事する活動に関して、計画に明記されている選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓ 「13. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 栄養補給に必要な食品(流通備蓄含む)の確認、確保
2. 炊き出し等の配食指導、調理従事
3. 炊き出し又は弁当等の献立作成や助言
4. 避難所等で提供する食事の調査
5. 避難所等での食品衛生指導
6. 栄養・食生活支援に係る関係団体との連絡、調整
7. 栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料の作成
8. 栄養補助食品やアレルギー対応食品等の受け入れ、選別、提供
9. 普通の食事が食べられない要配慮者への支援
10. 被災者への巡回健康相談、栄養指導、健康教育等
11. 仮設住宅や復興公営住宅など避難生活の長期化に対する支援
12. 特定給食施設指導
13. その他

Q 8 地域防災計画及び災害関連計画以外に、発災時や発災に備えた平時からの栄養・食生活支援について記載がある計画はありますか。あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

該当しない場合は、「9」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

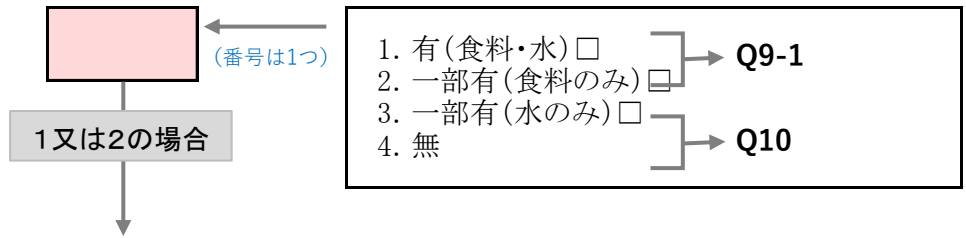
↓ 「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 保健医療計画 <input type="checkbox"/> | 4. 老人福祉計画 <input type="checkbox"/> | 7. 地方創生計画 <input type="checkbox"/> |
| 2. 食育推進計画 <input type="checkbox"/> | 5. 障害者福祉計画 <input type="checkbox"/> | 8. その他 |
| 3. 健康増進計画 | 6. 地域福祉計画 | 9. 該当なし |

Ⅲ. 食事について

Q 9 固定備蓄についてお尋ねします。被災者へ提供する食料及び水について、現物で備蓄をしていますか



Q 9-1 「1. 有（食料・水）」 「2. 一部有（食料のみ）」 の場合、次の食料のうち現物備蓄している物の量（〇日分、1日〇回、〇食分、人口に対する割合〇％）を記入してください

A～Kそれぞれについて、記載できる単位のセルに数字をいれてください

	〇日分	1日〇回	〇食分	人口に対する割合〇％
A. アルファ化米又はパン缶（災害用主食）				
B. 米（無洗米含）				
C. おかゆ				
D. 缶詰又はレトルト（おかず）				
E. スープ、みそ汁の素（汁物）				
F. 乾パン、ビスケット（固形物）				
G. 高齢者・乳幼児用食品（やわらかいおかず）				
H. 粉ミルク・液体ミルク				
I. 食物アレルギー対応食品				
J. 水以外の飲料				
K. その他（最も備蓄量が多いもの）				

Q 10 被災者へ提供する食料（弁当やおにぎり、パン等の食事及び炊き出しを除く）や水について、流通備蓄（協定締結）をしていますか

(番号は1つ)

1又は2の場合

1. 有(食料・水) <input type="checkbox"/>	} → Q10-1
2. 一部有(食料のみ) <input type="checkbox"/>	
3. 一部有(水のみ) <input type="checkbox"/>	} → Q11
4. 無	

Q 10-1 「1. 有(食料・水)」 「2. 一部有(食料のみ)」の場合、次の食料のうち、流通備蓄(協定締結)している選択肢番号を記入してください(複数回答可能)

具体的に定めていない場合は、「15」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「14. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|---|
| 1. アルファ化米又はパン缶(災害用主食) <input type="checkbox"/> | 9. 食物アレルギー対応食品 <input type="checkbox"/> |
| 2. 米(無洗米含) <input type="checkbox"/> | 10. 水以外の飲料 <input type="checkbox"/> |
| 3. おかゆ <input type="checkbox"/> | 11. 肉、魚、卵 |
| 4. 缶詰又はレトルト(おかず) <input type="checkbox"/> | 12. 野菜、果物 <input type="checkbox"/> |
| 5. スープ、みそ汁の素(汁物) <input type="checkbox"/> | 13. 牛乳、乳製品 <input type="checkbox"/> |
| 6. 乾パン、ビスケット(固形物) <input type="checkbox"/> | 14. その他 <input type="checkbox"/> |
| 7. 高齢者・乳幼児用食品(やわらかいおかず) | 15. 具体的に定めていない |
| 8. 粉ミルク・液体ミルク <input type="checkbox"/> | |

Q 11 令和2年4月 厚生労働省発「大規模災害時に備えた栄養に配慮した食料備蓄量の算出のための簡易シミュレーター」は活用したことがありますか

(番号は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q 12 被災者への食事について、全部又は一部を炊き出して提供する計画とされていますか

(番号は1つ)

1の場合

1. はい → Q12-1、12-2

2. いいえ → Q13

Q 12-1 Q12で「1. はい」と回答した場合、炊き出しの調理場を事前に決めていますか（計画書に明記又は協定を締結している）

(番号は1つ)

1の場合

1. 決めている 2. 決めていない

「1. 決めている」と回答した場合、事前に決めている場所の選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「10. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

- 【選択肢】**
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|---------|
| 1. 避難所内 <input type="checkbox"/> | 4. 学校給食施設 <input type="checkbox"/> | 7. 旅館 <input type="checkbox"/> | 10. その他 |
| 2. 給食施設 <input type="checkbox"/> | 5. 公共施設調理室 | 8. 飲食店 <input type="checkbox"/> | |
| 3. 仮設炊飯施設 | 6. 民間施設 | 9. キッチンカー | |

Q 12-2 Q12で「1. はい」と回答した場合、避難所の開設が長期にわたる場合に備えて、炊き出しで提供する食事の献立または献立基準を作成していますか

(番号は1つ)

1の場合

1. 作成している 2. 作成していない

「1. 作成している」場合、何日分かを記入ください 日分

「1. 作成している」場合、炊き出しで提供する食事の基準（エネルギーや栄養素量の設定又は食品構成）を設定していますか

(番号は1つ)

1の場合

1. はい 2. いいえ

「1. はい」と回答した場合、予め設定している栄養素について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

- 【選択肢】**
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------------------|--------|
| 1. エネルギー <input type="checkbox"/> | 3. ビタミンB ₁ | 5. ビタミンC <input type="checkbox"/> | 7. その他 |
| 2. たんぱく質 <input type="checkbox"/> | 4. ビタミンB ₂ | 6. 食塩量 | |

Q 13 被災者へ提供する弁当等（おにぎりやパンも含む）について、事前に協定を締結していますか

1の場合、
Q13-1 ~ 13-3 に
回答してください

[Red box for answer]

(番号は1つ)

1. はい → Q13-1、13-2、13-3
2. いいえ → Q14

Q 13-1 Q13で「1. はい」と回答した場合、提供する弁当等の1食又は1日あたりの献立基準（エネルギーや栄養素量、食品構成等）を設定していますか

[Red box for answer]

(番号は1つ)

1. はい 2. いいえ

1の場合

「1. はい」と回答した場合、仕様として、予め設定している栄養又は食品の基準について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

[Blue box for answer]

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

[Yellow box for specific details]

【選択肢】

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. エネルギー <input type="checkbox"/> | 5. ビタミンC <input type="checkbox"/> |
| 2. たんぱく質 <input type="checkbox"/> | 6. 食塩量 <input type="checkbox"/> |
| 3. ビタミンB ₁ | 7. 食品群別提供量 |
| 4. ビタミンB ₂ | 8. その他 |

Q 13-2 Q13で「1. はい」と回答した場合、提供する弁当の契約内容について、予め仕様書に記載している選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

[Blue box for answer]

【選択肢】

1. 食事回数
2. 予定価格
3. 献立基準
4. その他

↓「4. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

[Yellow box for specific details]

「1. 食事回数」と回答した場合、具体的に記入してください

食事回数 → 1日 [Green box] 回

「2. 予定価格」と回答した場合、具体的に記入してください

予定価格 → 1食 [Green box] 円 又は 1日 [Green box] 円

Q 13-3 Q13で「1. はい」と回答した場合、提供する弁当等の献立は、毎日同じものではなく、バラエティに富んだ献立になるよう契約の仕様書に記載する予定としていますか

[Red box for answer]

(番号は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q 14

被災者に提供する食事や支援物資の食料として、衛生的な保管や適温で提供するために整備している機器等について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）
整備をしていない場合は、「10」を記入してください

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載）

↓「9. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 冷蔵庫□ | 6. 簡易厨房□ |
| 2. 保温庫□ | 7. 冷凍庫□ |
| 3. 電子レンジ□ | 8. 発電機□ |
| 4. キッチンカー | 9. その他□ |
| 5. キッチンコンテナ□ | 10. 整備なし□ |

Q 15

災害時に避難所等で提供する食事の栄養量を算出するために、食事調査を実施することとしていますか

←
(番号は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q 16

支援物資（弁当、おにぎり・パン等を除く食料）を有効活用するために、予め準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）
準備をしていない場合は、「6」を記入してください

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載）

↓「5. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 支援物資管理システム(受け入れから仕分けまで)の運用準備□
2. 物資仕分け・管理担当部署との役割分担□
3. 特殊栄養食品ステーション設置□
4. 飼料としての利用
5. その他□
6. 特に準備はしていることはない

Q 17 **【Q17は保健所設置市・特別区のみご回答ください】**

特定給食施設に対して指導助言していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「11. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 喫食者の特性に応じた食料備蓄
2. 備蓄食品を活用し、栄養量に配慮した献立作成
3. 賞味期限直前の備蓄食品を活用した給食提供
4. 緊急時食事提供マニュアルやBCPの作成と定期的見直し
5. 給食部門外の職員を交えた備蓄食の食事提供訓練
6. 近隣スーパーや給食会社等との食料調達契約
7. ライフライン断絶時の給食提供マネジメントの整備
8. 食事提供不能となった場合の代替手段の確保
9. 近隣給食施設との緊急時相互支援体制の構築
10. 非常用連絡網の作成と関係職員間の共有
11. その他

Q 18 災害時に食料品の調達が可能な店（スーパーやコンビニ、飲食店等）に関する情報を住民に発信するために、発災時に店舗情報を把握することとしていますか

(番号は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q 19 災害時の食事提供において、普通の食事が食べられない要配慮者を把握することとしていますか（地域防災計画や避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プランに記載している）

(番号は1つ)

1. はい 2. いいえ

1の場合

Q 19-1 「1. はい」と回答した場合、把握する対象となっている要配慮者について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「13. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|---|---|
| 1. 摂食・嚥下困難者 <input type="checkbox"/> | 8. 発達障害児・者 <input type="checkbox"/> |
| 2. アレルギー疾患者 <input type="checkbox"/> | 9. 胃ろうで栄養を摂取する者 <input type="checkbox"/> |
| 3. 疾病で食事制限のある者 <input type="checkbox"/> | 10. 外国人 <input type="checkbox"/> |
| 4. 乳児(母乳、ミルク) <input type="checkbox"/> | 11. 高齢者 <input type="checkbox"/> |
| 5. 離乳食の乳児 <input type="checkbox"/> | 12. 宗教等による禁忌食品がある者 <input type="checkbox"/> |
| 6. 幼児 <input type="checkbox"/> | 13. その他 <input type="checkbox"/> |
| 7. 妊産婦 <input type="checkbox"/> | |

Q 20 地域防災計画や災害時要配慮者支援プランには、要配慮者の食料備蓄に関する記載はありますか

1. 有 2. 無

← (番号は1つ)

1の場合

Q 20-1 「1. 有」と回答した場合、記載されている備蓄食品について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓ 「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1. 粉ミルク <input type="checkbox"/> | 5. やわらか食 <input type="checkbox"/> |
| 2. 液体ミルク <input type="checkbox"/> | 6. 離乳食 <input type="checkbox"/> |
| 3. 食物アレルギー対応食 <input type="checkbox"/> | 7. とろみ剤 <input type="checkbox"/> |
| 4. お粥 <input type="checkbox"/> | 8. その他 |

Q 21 普通の食事が食べられない要配慮者に対応した炊き出しを福祉避難所以外の避難所で提供することとしていますか（地域防災計画や避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プラン記載している）

1. はい 2. いいえ

← (番号は1つ)

1の場合

Q 21-1 「1. はい」と回答した場合、対応できる内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓ 「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. 軟飯又は粥の提供 <input type="checkbox"/> | 5. 食物アレルギー対応 <input type="checkbox"/> |
| 2. 食べやすい大きさにカット <input type="checkbox"/> | 6. 量を減らす <input type="checkbox"/> |
| 3. やわらかいおかずの提供 <input type="checkbox"/> | 7. その他 |
| 4. 疾病用(糖尿病や高血圧等) <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

Q 22 普通の食事が食べられない要配慮者に対応した弁当等を提供することとしていますか

	← (番号は1つ)	1. はい 2. いいえ
↓		
1の場合		
↓		

Q 22-1 「1. はい」と回答した場合、対応できる内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

	(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)
--	-----------------------------------

↓ 「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

--

- 【選択肢】**
- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. 軟飯又は粥の提供 <input type="checkbox"/> | 5. 食物アレルギー対応 <input type="checkbox"/> |
| 2. 食べやすい大きさにカット <input type="checkbox"/> | 6. 量を減らす <input type="checkbox"/> |
| 3. やわらかいおかずの提供 <input type="checkbox"/> | 7. その他 <input type="checkbox"/> |
| 4. 疾病用(糖尿病や高血圧等) <input type="checkbox"/> | |

Q 23 避難所及び在宅の被災者に対する個別栄養相談の実施方法について、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか

	← (番号は1つ)	1. 有 2. 無
↓		
1の場合		
↓		

Q 23-1 「1. 有」と回答した場合、予め定めていることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

	(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)
--	-----------------------------------

↓ 「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

--

- 【選択肢】**
- | |
|---|
| 1. 個別栄養相談の基準設定 <input type="checkbox"/> |
| 2. 個別栄養相談様式の作成 <input type="checkbox"/> |
| 3. JDA-DATとの連携方法 <input type="checkbox"/> |
| 4. 特殊栄養食品ステーションの設置基準 <input type="checkbox"/> |
| 5. 要フォロー者の他職種への接続方法 <input type="checkbox"/> |
| 6. その他 <input type="checkbox"/> |

Q 24 仮設住宅入居者への栄養・食生活支援の実施方法について、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか

← (番号は1つ) 1. 有 2. 無

↓

1の場合

Q 24-1 「1. 有」と回答した場合、予め定めていることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. 個巡回栄養相談の基準設定
- 2. 栄養相談様式の作成
- 3. JDA-DATとの連携方法
- 4. 特殊栄養食品ステーションの設置基準
- 5. 個別栄養相談の他職種への接続方法
- 6. 栄養健康教育(試食含)の実施方法
- 7. 食事会の実施方法
- 8. その他

IV. 人材について

Q 25 ①防災部門、②健康部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置の有無と、「有」の場合は配置人数を記入してください

①防災部門 ← (番号は1つ) 1. 有 2. 無

↓

配置人数 人 (実人数)

②健康部門 ← (番号は1つ) 1. 有 2. 無

↓

配置人数 人 (実人数)

Q 26 現在、防災部局に所属する職員（事務職等）は、災害時の栄養・食生活支援に関する研修（都道府県、保健所、各種団体等が主催）を受講したことがありますか

← (番号は1つ) 1. はい 2. いいえ

Q 27 災害時の栄養・食生活対応能力向上に向け、管理栄養士又は栄養士は自治体主催あるいは、関係機関主催の研修等を年1回以上受講していますか

	(番号は1つ)	1. はい 2. いいえ
--	---------	-----------------

↓
1の場合

Q 27-1 「1. はい」と回答した場合、災害時の栄養・食生活支援にかかる研修内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

--

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓ 「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

--

【選択肢】

- 1. 避難所食事状況調査票(統一様式)の記載方法□
- 2. 避難所食事状況調査票(自治体独自)の記載方法
- 3. 避難所食事状況調査集計フォーム(統一様式)の入力方法
- 4. 個別相談指導記録票の記載方法□
- 5. フェーズごとの栄養課題など支援活動に係る全般的な内容
- 6. その他

Q 28 (1)～(6)に示す災害時の栄養・食生活支援活動について、A：貴自治体内での主な担当部門を1つ選択し、B：平時から連携している(※)庁内外の関係機関・団体について記入してください。回答は、防災部門が、健康福祉部門など関連部門に確認の上、記入してください

※「連携している」とは、「地域防災計画や避難所運営マニュアル等災害関連計画に明文化」「協定・契約を締結」「支援活動の対応方針など合同会議で協議」「研修会や訓練等を協働実施」を指します。

(1) 食料の備蓄(固定・流通)

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先

--	--

 複数回答可 →

(2) 炊き出し

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先

--	--

 複数回答可 →

(3) 食料の調達供給

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先

--	--

 複数回答可 →

(4) 要配慮者向けの食料調達供給

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先

--	--

 複数回答可 →

(5) 被災者の栄養相談・健康教育

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先

--	--

 複数回答可 →

(6) 避難所の食事調査・評価

↓番号は1つ ↓「⑩その他」の具体的内容

A：主な担当部門 →

--	--

B：平時からの連携先

--	--

 複数回答可 →

A：主な担当部門の選択肢

- ①防災主管課
- ②農政主管課
- ③健康づくり主管課
- ④福祉主管課
- ⑤住民課・総務課
- ⑥産業・商工主管課
- ⑦学校教育課
- ⑧学校給食センター
- ⑨財政課
- ⑩その他
- ⑪決まっていない

B：平時からの連携先

- 1. 防災部門
- 2. 健康部門
- 3. 福祉部門
- 4. 食料調達部門
- 5. ボランティア調整部門
- 6. 医療職能団体
- 7. 栄養士会
- 8. 大学・研究機関
- 9. 災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会
- 10. 住民ボランティア組織
- 11. 学校給食センター
- 12. 食品関連事業者

Q 29 被災者の栄養・食生活を支援するにあたり、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請することについて、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか

(番号は1つ)

1. はい → Q29-1、Q29-2
2. いいえ → Q29-3

1の場合

→ Q 29-1 「1. はい」と回答した場合、どこに応援を要請することとしていますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）
決めていない場合は、「8」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|--|
| 1. 都道府県 <input type="checkbox"/> | 5. 栄養士会 <input type="checkbox"/> |
| 2. 管轄の保健所 <input type="checkbox"/> | 6. 施設(病院、福祉施設等) <input type="checkbox"/> |
| 3. 近隣市町村・区 <input type="checkbox"/> | 7. その他 <input type="checkbox"/> |
| 4. 災害協定を結ぶ市町村・区 <input type="checkbox"/> | 8. 特に決めていない <input type="checkbox"/> |

→ Q 29-2 「1. はい」と回答した場合、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請する場合、派遣された管理栄養士又は栄養士に、どんな活動を要請しますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「13. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 避難所等の食事摂取状況の調査・評価
2. 必要な食品(栄養素)の手配
3. 弁当業者等への要請・支援
4. 炊き出し団体への支援
5. 食品保管場所の整理・確認
6. 避難所等での食品衛生助言
7. 栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料作成
8. 避難所等への巡回栄養相談
9. 要配慮者用食品の手配・配布
10. 派遣管理栄養士の活動調整
11. 通常業務の再開計画支援
12. 分からない
13. その他

Q 29-3 Q29で「2. いいえ」と回答した場合、応援を要請しない理由について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「8. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 自所属内の管理栄養士・栄養士で十分だと思う
2. 受援の受け皿がない(所属に管理栄養士・栄養士の配置なし)
3. どんな活動を支援してもらえるのか分からない
4. どんな活動を要請したらよいか分からない
5. どこに依頼すればいいのか分からない
6. 受援の必要性がない
7. 検討自体をしていない
8. その他

Q 30

他自治体や関係団体等からの応援管理栄養士又は栄養士を受け入れるにあたり、平時から準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

1. 受援体制をマネジメントする担当者の明確化
2. フェーズごとの活動計画・マニュアル整備
3. 具体的な受援内容と人員配置計画
4. 都道府県栄養士会と災害時応援協定の締結
5. 関係部署・団体との連絡体制整備
6. その他

Q 31 【Q31、31-1は保健所設置市・特別区のみご回答ください】

管理栄養士又は栄養士の被災地への派遣について、平時から派遣体制を整備していますか

← (番号は1つ) 1. はい 2. いいえ

1の場合

Q 31-1 「1. はい」と回答した場合、具体的に調整していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓ 「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. 派遣可否名簿の作成
- 2. DHEAT構成員として調整
- 3. 保健師等帯同チーム構成員として調整
- 4. 都道府県・市町村栄養士も含めて調整
- 5. JDA-DAT構成員として調整
- 6. その他

V. 情報について

Q 32 【Q32、32-1は保健所設置市・特別区のみご回答ください】

D24H（災害時保健医療福祉活動支援システム）の周知・活用について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

実施していることはない場合は、「8」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. D24Hの概要について周知
- 2. D24Hに関する研修を実施
- 3. D24Hの入力・報告訓練を実施
- 4. D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施
- 5. D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施
- 6. D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施
- 7. その他
- 8. 特に実施していることはない → **Q33**

→ **Q32-1**

1~7の場合

Q 32-1 Q32で選んだ選択肢番号のうち、「D24Hの周知・活用」に関して、貴自治体の管理栄養士又は栄養士も対象になっているものはどれですか

対象のものがない場合は、「8」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載)

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. D24Hの概要について周知
- 2. D24Hに関する研修を実施
- 3. D24Hの入力・報告訓練を実施
- 4. D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施
- 5. D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施
- 6. D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施
- 7. その他
- 8. 管理栄養士又は栄養士が対象のものはない

Q 33 災害時における栄養・食生活支援活動を円滑に行うため、自治体として整備しているものについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

整備しているものがない場合は、「4」を記入してください

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「3. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. 災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインやマニュアル、手引き等
- 2. 災害時の栄養・食生活支援活動のためのアクションカード
- 3. その他
- 4. 特に整備しているものはない → Q33-3

→ Q33-1、33-2

1～3の場合

→ Q 33-1 Q33で1～3に該当する場合、ガイドライン等を活用する主な対象者は誰ですか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

↓「7. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- 1. 都道府県栄養士
- 2. 市町村栄養士
- 3. 防災部局
- 4. 食料調達部局
- 5. 病院、施設等栄養士
- 6. 保健医療関係者
- 7. その他

→ Q 33-2 「1. ガイドラインやマニュアル、手引き等」に該当する場合、作成年度と最新の改訂年度はいつですか

(数字を記入) 作成年度 年度作成
(数字を記入) 最新の改訂年度 年度改訂

※和暦でご記入ください 例：R3

Q 33-3 「4. 特に整備しているものはない」と回答した場合、今後の整備予定はありますか

(番号は1つ) 1. 有 2. 無

VI. 財源について

Q 34 キッチンカー、キッチンコンテナなど簡易厨房の整備・予算確保状況について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

(回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2、3のように記載)

【選択肢】

- 1. 調査回答時点で購入・整備済み
- 2. 令和7年度内に購入予定
- 3. 令和8年度に購入のための予算確保予定
- 4. 令和7～8年度ともに予算確保の予定なし
- 5. 災害時に調達可能な事業者と協定締結済

Ⅶ. 平常時の備えについて

- Q 35 災害時の栄養・食生活支援に備えて、平常時に準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載）

↓「10. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1. 炊き出し訓練の実施 <input type="checkbox"/> | 6. 備蓄食品の配布 <input type="checkbox"/> |
| 2. 賞味期限前の備蓄食料の活用 <input type="checkbox"/> | 7. 備蓄食品の充実 <input type="checkbox"/> |
| 3. 住民対象講演会・研修会の実施 <input type="checkbox"/> | 8. 関係者との協定締結 <input type="checkbox"/> |
| 4. 調理実習・パッキングの実施 <input type="checkbox"/> | 9. マニュアルの作成 <input type="checkbox"/> |
| 5. 普及啓発リーフレット等の配布 | 10. その他 |

- Q 36 地域住民に対して、家庭備蓄の必要性についての普及啓発を行っていますか

（番号は1つ）

1. はい 2. いいえ

1の場合

- Q 36-1 「1. はい」と回答した場合、どのような方法で啓発していますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

（回答例→選択肢2と3の場合は 2、3 又は 2, 3のように記載）

↓「6. その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください

【選択肢】

- | | |
|--|---|
| 1. 広報誌に掲載 <input type="checkbox"/> | 4. 自治体のホームページ <input type="checkbox"/> |
| 2. 啓発ちらしの配布 <input type="checkbox"/> | 5. インスタグラムなどSNSの活用 <input type="checkbox"/> |
| 3. 講演や研修会等の開催 <input type="checkbox"/> | 6. その他 |

質問は終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ファイルは右記に送信をお願いします

eiyou@comon.jp

(2) 設問別集計表（保健所設置市・特別区・市町村＝1,293）

市町村区分

No.	カテゴリー名	n	%
1	政令指定都市	17	1.3
2	保健所設置市	54	4.2
3	特別区	57	4.4
4	市	18	1.4
5	町	537	41.5
6	村	538	41.6
	無回答	126	9.7
	全体	0	0.0
		1,293	100.0

Q1令和7年4月現在の推計人口について、あてはまる選択肢番号をご記入ください

No.	カテゴリー名	n	%
1	1万人未満	388	30.0
2	1万～3万人未満	318	24.6
3	3万～10万人未満	358	27.7
4	40万～30万人未満	152	11.8
5	30万～50万人未満	38	2.9
6	50万人以上	31	2.4
	無回答	8	0.6
	全体	1,293	100.0

Q2令和7年4月現在の常勤の管理栄養士又は栄養士の配置

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	1,125	87.0
2	無	158	12.2
	無回答	10	0.8
	全体	1,293	100.0

Q3東日本大震災（2011年3月）以降、貴自治体において災害救助法が適用された被災経験はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	627	48.5
2	無	655	50.7
	無回答	11	0.9
	全体	1,293	100.0

Q4東日本大震災（2011年3月）以降、貴自治体として、被災地に管理栄養士又は栄養士を派遣した経験はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	74	5.7
2	無	1,206	93.3
	無回答	13	1.0
	全体	1,293	100.0

Q5発災時の栄養・食生活支援活動について、庁内外との連絡調整窓口をどこに設置し、誰が連絡調整の役割を担うか予め決めていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	決めている	413	31.9
2	決めていない	870	67.3
	無回答	10	0.8
	全体	1,293	100.0

Q5-2「2. 決めていない」場合、今後、決める予定はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	220	25.3
2	無	643	73.9
	無回答	7	0.8
	非該当	423	
	全体	870	100.0

Q6本調査の分析および公表について、承諾の可否をご記入ください

No.	カテゴリー名	n	%
1	承諾する	1,293	100.0
2	承諾しない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	1,293	100.0

Q7地域防災計画又は避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プランには、大規模災害時の栄養・食生活支援に関する内容が記載されていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	813	62.9
2	無	471	36.4
	無回答	9	0.7
	全体	1,293	100.0

Q7-1「1. 有り」の場合、計画策定に管理栄養士又は栄養士の参画はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	306	37.6
2	無	502	61.7
	無回答	5	0.6
	非該当	480	
	全体	813	100.0

Q7-2「1. 有」の場合、災害時に、貴自治体の管理栄養士又は栄養士が栄養・食生活支援の担当として従事する活動に関して、計画に明記されている選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	栄養補給に必要な食品（流通備蓄含む）の確認、確保	126	15.5
2	炊き出し等の配食指導、調理従事	159	19.6
3	炊き出し又は弁当等の献立作成や助言	122	15.0
4	避難所等で提供する食事の調査	108	13.3
5	避難所等での食品衛生指導	230	28.3
6	栄養・食生活支援に係る関係団体との連絡、調整	123	15.1
7	栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料の作成	51	6.3
8	栄養補助食品やアレルギー対応食品等の受け入れ、選別、提供	98	12.1
9	普通の食事が食べられない要配慮者への支援	148	18.2
10	被災者への巡回健康相談、栄養指導、健康教育等	436	53.6
11	仮設住宅や復興公営住宅など避難生活の長期化に対する支援	50	6.2
12	特定給食施設指導	36	4.4
13	その他	95	11.7
	無回答	138	17.0
	非該当	480	
	全体	813	100.0

Q8地域防災計画及び災害関連計画以外に、発災時や発災に備えた平時からの栄養・食生活支援について記載がある計画はありますか。あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	保健医療計画	4	0.3
2	食育推進計画	141	10.9
3	健康増進計画	67	5.2
4	老人福祉計画	14	1.1
5	障害者福祉計画	14	1.1
6	地域福祉計画	18	1.4
7	地方創生計画	2	0.2
8	その他	54	4.2
9	該当なし	1,043	80.7
	無回答	31	2.4
	全体	1,293	100.0

Q9固定備蓄についてお尋ねします。被災者へ提供する食料及び水について、現物で備蓄をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有（食料・水）	1,236	95.6
2	一部有（食料のみ）	41	3.2
3	一部有（水のみ）	3	0.2
4	無	5	0.4
	無回答	8	0.6
	全体	1,293	100.0

Q9-1Aアルファ化米等の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	1,195	93.6
2	備蓄なし・不明	82	6.4
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1B米の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	88	6.9
2	備蓄なし・不明	1,189	93.1
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1Cおかゆの備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	570	44.6
2	備蓄なし・不明	707	55.4
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1D缶詰等おかずの備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	314	24.6
2	備蓄なし・不明	963	75.4
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1Eスープ等汁物の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	267	20.9
2	備蓄なし・不明	1,010	79.1
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1F乾パン等固形物の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	688	53.9
2	備蓄なし・不明	589	46.1
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1G高齢・乳幼児用の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	215	16.8
2	備蓄なし・不明	1,062	83.2
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1H粉・液体ミルクの備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	885	69.3
2	備蓄なし・不明	392	30.7
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1Iアレルギー対応食品の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	415	32.5
2	備蓄なし・不明	862	67.5
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1J水以外の飲料の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	108	8.5
2	備蓄なし・不明	1,169	91.5
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q9-1Kその他の備蓄状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	備蓄あり	180	14.1
2	備蓄なし・不明	1,097	85.9
	無回答	0	0.0
	全体	1,277	100.0

Q10被災者へ提供する食料（弁当やおにぎり、パン等の食事及び炊き出しを除く）や水について、流通備蓄（協定締結）をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有（食料・水）	952	73.6
2	一部有（食料のみ）	35	2.7
3	一部有（水のみ）	46	3.6
4	無	252	19.5
	無回答	8	0.6
	全体	1,293	100.0

Q10-1「1. 有（食料・水）」「2. 一部有（食料のみ）」の場合、次の食料のうち、流通備蓄（協定締結）している選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	アルファ化米又はパン缶（災害用主食）	117	11.9
2	米（無洗米含）	206	20.9
3	おかゆ	58	5.9
4	缶詰又はレトルト（おかず）	249	25.2
5	スープ、みそ汁の素（汁物）	109	11.0
6	乾パン、ビスケット（固形物）	102	10.3
7	高齢者・乳幼児用食品（やわらかいおかず）	75	7.6
8	粉ミルク・液体ミルク	200	20.3
9	食物アレルギー対応食品	42	4.3
10	水以外の飲料	232	23.5
11	肉、魚、卵	113	11.4
12	野菜、果物	163	16.5
13	牛乳、乳製品	142	14.4
14	その他	150	15.2
15	具体的に定めていない	604	61.2
	無回答	7	0.7
	非該当	306	
	全体	987	100.0

Q11令和2年4月 厚生労働省発「大規模災害時に備えた栄養に配慮した食料備蓄量の算出のための簡易シミュレーター」は活用したことがありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	49	3.8
2	いいえ	1,231	95.2
	無回答	13	1.0
	全体	1,293	100.0

Q12被災者への食事について、全部又は一部を炊き出しで提供する計画としていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	951	73.5
2	いいえ	328	25.4
	無回答	14	1.1
	全体	1,293	100.0

Q12-1Q12で「1. はい」と回答した場合、炊き出しの調理場を事前に決めていますか（計画書に明記又は協定を締結している）

No.	カテゴリー名	n	%
1	決めている	490	51.5
2	決めていない	457	48.1
	無回答	4	0.4
	非該当	342	
	全体	951	100.0

「1. 決めている」と回答した場合、事前に決めている場所の選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難所内	267	54.5
2	給食施設	119	24.3
3	仮設炊飯施設	23	4.7
4	学校給食施設	282	57.6
5	公共施設調理室	124	25.3
6	民間施設	20	4.1
7	旅館	9	1.8
8	飲食店	9	1.8
9	キッチンカー	40	8.2
10	その他	44	9.0
	無回答	1	0.2
	非該当	803	
	全体	490	100.0

Q12-2 Q12で「1. はい」と回答した場合、避難所の開設が長期にわたる場合に備えて、炊き出しで提供する食事の献立または献立基準を作成していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	作成している	43	4.5
2	作成していない	873	91.8
	無回答	35	3.7
	非該当	342	
	全体	951	100.0

Q12-2 「1. 作成している」場合、何日分かを記入してください

合計	209
平均	6
分散(n-1)	8
標準偏差	3
最大値	10
最小値	1
無回答	5
非該当	1,250
全体	38

Q12-2 「1. 作成している」場合、炊き出しで提供する食事の基準（エネルギーや栄養素量の設定又は食品構成）を設定していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	30	69.8
2	いいえ	13	30.2
	無回答	0	0.0
	非該当	1,250	
	全体	43	100.0

「1. はい」と回答した場合、予め設定している栄養素について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	エネルギー	28	93.3
2	たんぱく質	27	90.0
3	ビタミンB1	20	66.7
4	ビタミンB2	20	66.7
5	ビタミンC	20	66.7
6	食塩量	19	63.3
7	その他	11	36.7
	無回答	0	0.0
	非該当	1,263	
	全体	30	100.0

Q13被災者へ提供する弁当等（おにぎりやパンも含む）について、事前に協定を締結していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	440	34.0
2	いいえ	838	64.8
	無回答	15	1.2
	全体	1,293	100.0

Q13-1Q13で「1. はい」と回答した場合、提供する弁当等の1食又は1日あたりの献立基準（エネルギーや栄養素量、食品構成等）を設定していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	5	1.1
2	いいえ	433	98.4
	無回答	2	0.5
	非該当	853	
	全体	440	100.0

Q13-1で「1. はい」と回答した場合、仕様として、予め設定している栄養又は食品の基準について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	エネルギー	4	80.0
2	たんぱく質	4	80.0
3	ビタミンB1	4	80.0
4	ビタミンB2	4	80.0
5	ビタミンC	4	80.0
6	食塩量	0	0.0
7	食品群別提供量	0	0.0
8	その他	1	20.0
	無回答	0	0.0
	非該当	1,288	
	全体	5	100.0

Q13-2 Q13で「1. はい」と回答した場合、提供する弁当の契約内容について、予め仕様書に記載している選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	食事回数	4	0.9
2	予定価格	5	1.1
3	献立基準	4	0.9
4	その他	290	65.9
	無回答	139	31.6
	非該当	853	
	全体	440	100.0

Q13-3Q13で「1. はい」と回答した場合、提供する弁当等の献立は、毎日同じものではなく、バラエティに富んだ献立になるよう契約の仕様書に記載する予定としていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	27	6.1
2	いいえ	336	76.4
	無回答	77	17.5
	非該当	853	
	全体	440	100.0

Q14被災者に提供する食事や支援物資の食料として、衛生的な保管や適温で提供するために整備している機器等について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	冷蔵庫	71	5.5
2	保温庫	5	0.4
3	電子レンジ	63	4.9
4	キッチンカー	24	1.9
5	キッチンコンテナ	1	0.1
6	簡易厨房	51	3.9
7	冷凍庫	39	3.0
8	発電機	419	32.4
9	その他	124	9.6
10	整備なし	757	58.5
	無回答	20	1.5
	全体	1,293	100.0

Q15災害時に避難所等で提供する食事の栄養量を算出するために、食事調査を実施することとしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	97	7.5
2	いいえ	1,177	91.0
	無回答	19	1.5
	全体	1,293	100.0

Q16支援物資（弁当、おにぎり・パン等を除く食料）を有効活用するために、予め準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	支援物資管理システム（受け入れから仕分けまで）の運用準備	354	27.4
2	物資仕分け・管理担当部署との役割分担	285	22.0
3	特殊栄養食品ステーション設置	11	0.9
4	飼料としての利用	4	0.3
5	その他	38	2.9
6	特に準備はしていることはない	751	58.1
	無回答	15	1.2
	全体	1,293	100.0

Q17【Q17は保健所設置市・特別区のみご回答ください】特定給食施設に対して指導助言していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	喫食者の特性に応じた食料備蓄	79	85.9
2	備蓄食品を活用し、栄養量に配慮した献立作成	58	63.0
3	賞味期限直前の備蓄食品を活用した給食提供	40	43.5
4	緊急時食事提供マニュアルやBCPの作成と定期的見直し	65	70.7
5	給食部門外の職員を交えた備蓄食の食事提供訓練	33	35.9
6	近隣スーパーや給食会社等との食料調達契約	22	23.9
7	ライフライン断絶時の給食提供マネジメントの整備	40	43.5
8	食事提供不能となった場合の代替手段の確保	53	57.6
9	近隣給食施設との緊急時相互支援体制の構築	32	34.8
10	非常用連絡網の作成と関係職員間の共有	59	64.1
11	その他	8	8.7
	無回答	3	3.3
	非該当	1,201	
	全体	92	100.0

Q18災害時に食料品の調達が可能な店（スーパーやコンビニ、飲食店等）に関する情報を住民に発信するために、発災時に店舗情報を把握することとしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	134	10.4
2	いいえ	1,128	87.2
	無回答	31	2.4
	全体	1,293	100.0

Q19災害時の食事提供において、普通の食事が食べられない要配慮者を把握することとしていますか（地域防災計画や避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プランに記載している）

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	561	43.4
2	いいえ	703	54.4
	無回答	29	2.2
	全体	1,293	100.0

Q19-1「1. はい」と回答した場合、把握する対象となっている要配慮者について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	摂食・嚥下困難者	161	28.7
2	アレルギー疾患者	354	63.1
3	疾病で食事制限のある者	173	30.8
4	乳児（母乳、ミルク）	338	60.2
5	離乳食の乳児	231	41.2
6	幼児	211	37.6
7	妊産婦	174	31.0
8	発達障害児・者	108	19.3
9	胃ろうで栄養を摂取する者	66	11.8
10	外国人	102	18.2
11	高齢者	284	50.6
12	宗教等による禁忌食品がある者	115	20.5
13	その他	116	20.7
	無回答	8	1.4
	非該当	732	
	全体	561	100.0

Q20地域防災計画や災害時要配慮者支援プランには、要配慮者の食料備蓄に関する記載はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	530	41.0
2	無	744	57.5
	無回答	19	1.5
	全体	1,293	100.0

Q20-1「1. 有」と回答した場合、記載されている備蓄食品について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	粉ミルク	347	65.5
2	液体ミルク	248	46.8
3	食物アレルギー対応食	299	56.4
4	お粥	240	45.3
5	やわらか食	79	14.9
6	離乳食	50	9.4
7	とろみ剤	14	2.6
8	その他	104	19.6
	無回答	4	0.8
	非該当	763	
	全体	530	100.0

Q21普通の食事が食べられない要配慮者に対応した炊き出しを福祉避難所以外の避難所で提供することとしていますか（地域防災計画や避難所運営マニュアル、災害時要配慮者支援プラン記載している）

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	158	12.2
2	いいえ	1,114	86.2
	無回答	21	1.6
	全体	1,293	100.0

Q21-1 「1. はい」と回答した場合、対応できる内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	軟飯又は粥の提供	95	60.1
2	食べやすい大きさにカット	13	8.2
3	やわらかいおかずの提供	27	17.1
4	疾病用（糖尿病や高血圧等）	12	7.6
5	食物アレルギー対応	105	66.5
6	量を減らす	17	10.8
7	その他	31	19.6
	無回答	1	0.6
	非該当	1,135	
	全体	158	100.0

Q22普通の食事が食べられない要配慮者に対応した弁当等を提供することとしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	178	13.8
2	いいえ	1,096	84.8
	無回答	19	1.5
	全体	1,293	100.0

Q22-1 「1. はい」と回答した場合、対応できる内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	軟飯又は粥の提供	121	68.0
2	食べやすい大きさにカット	6	3.4
3	やわらかいおかずの提供	31	17.4
4	疾病用（糖尿病や高血圧等）	13	7.3
5	食物アレルギー対応	114	64.0
6	量を減らす	9	5.1
7	その他	27	15.2
	無回答	3	1.7
	非該当	1,115	
	全体	178	100.0

Q23避難所及び在宅の被災者に対する個別栄養相談の実施方法について、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	191	14.8
2	無	1,082	83.7
	無回答	20	1.5
	全体	1,293	100.0

Q23-1 「1. 有」と回答した場合、予め定めていることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	個別栄養相談の基準設定	37	19.4
2	個別栄養相談様式の作成	95	49.7
3	JDA-DATとの連携方法	35	18.3
4	特殊栄養食品ステーションの設置基準	6	3.1
5	要フォロー者の他職種への接続方法	19	9.9
6	その他	76	39.8
	無回答	4	2.1
	非該当	1,102	
	全体	191	100.0

Q24仮設住宅入居者への栄養・食生活支援の実施方法について、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	103	8.0
2	無	1,170	90.5
	無回答	20	1.5
	全体	1,293	100.0

Q24-1 「1. 有」と回答した場合、予め定めていることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	個巡回栄養相談の基準設定	23	22.3
2	栄養相談様式の作成	42	40.8
3	JDA-DATとの連携方法	11	10.7
4	特殊栄養食品ステーションの設置基準	2	1.9
5	個別栄養相談の他職種への接続方法	8	7.8
6	栄養健康教育（試食含）の実施方法	13	12.6
7	食事会の実施方法	2	1.9
8	その他	45	43.7
	無回答	3	2.9
	非該当	1,190	
	全体	103	100.0

Q25①防災部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置の有無を記入してください

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	4	0.3
2	無	1,274	98.5
	無回答	15	1.2
	全体	1,293	100.0

Q25②健康部門への管理栄養士又は栄養士の常勤配置の有無を記入してください

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	1,071	82.8
2	無	202	15.6
	無回答	20	1.5
	全体	1,293	100.0

Q26現在、防災部局に所属する職員（事務職等）は、災害時の栄養・食生活支援に関する研修（都道府県、保健所、各種団体等が主催）を受講したことがありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	116	9.0
2	いいえ	1,158	89.6
	無回答	19	1.5
	全体	1,293	100.0

Q27災害時の栄養・食生活対応能力向上に向け、管理栄養士又は栄養士は自治体主催あるいは、関係機関主催の研修等を年1回以上受講していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	339	26.2
2	いいえ	936	72.4
	無回答	18	1.4
	全体	1,293	100.0

Q27-1 「1. はい」と回答した場合、災害時の栄養・食生活支援にかかる研修内容について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難所食事状況調査票（統一様式）の記載方法	30	8.8
2	避難所食事状況調査票（自治体独自）の記載方法	12	3.5
3	避難所食事状況調査集計フォーム（統一様式）の入力方法	12	3.5
4	個別相談指導記録票の記載方法	31	9.1
5	フェーズごとの栄養課題など支援活動に係る全般的な内容	272	80.2
6	その他	60	17.7
	無回答	8	2.4
	非該当	954	
	全体	339	100.0

Q28-1食料の備蓄_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	1,183	91.5
2	農政主管課	4	0.3
3	健康づくり主管課	3	0.2
4	福祉主管課	21	1.6
5	住民課・総務課	20	1.5
6	産業・商工主管課	14	1.1
7	学校教育課	1	0.1
8	学校給食センター	1	0.1
9	財政課	4	0.3
10	その他	16	1.2
11	決まっていない	14	1.1
	無回答	12	0.9
	全体	1,293	100.0

Q28-1食料の備蓄_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	621	48.0
2	健康部門	90	7.0
3	福祉部門	106	8.2
4	食料調達部門	77	6.0
5	ボランティア調整部門	16	1.2
6	医療職能団体	8	0.6
7	栄養士会	3	0.2
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会	27	2.1
10	住民ボランティア組織	16	1.2
11	学校給食センター	24	1.9
12	食品関連事業者	185	14.3
	無回答	368	28.5
	全体	1,293	100.0

Q28-2炊き出し_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	281	21.7
2	農政主管課	21	1.6
3	健康づくり主管課	45	3.5
4	福祉主管課	238	18.4
5	住民課・総務課	101	7.8
6	産業・商工主管課	43	3.3
7	学校教育課	67	5.2
8	学校給食センター	89	6.9
9	財政課	9	0.7
10	その他	132	10.2
11	決まっていない	251	19.4
	無回答	16	1.2
	全体	1,293	100.0

Q28-2炊き出し_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	552	42.7
2	健康部門	77	6.0
3	福祉部門	155	12.0
4	食料調達部門	58	4.5
5	ボランティア調整部門	50	3.9
6	医療職能団体	6	0.5
7	栄養士会	8	0.6
8	大学・研究機関	3	0.2
9	災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会	118	9.1
10	住民ボランティア組織	97	7.5
11	学校給食センター	89	6.9
12	食品関連事業者	53	4.1
	無回答	424	32.8
	全体	1,293	100.0

Q28-3食料調達供給_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	543	42.0
2	農政主管課	87	6.7
3	健康づくり主管課	17	1.3
4	福祉主管課	94	7.3
5	住民課・総務課	100	7.7
6	産業・商工主管課	179	13.8
7	学校教育課	6	0.5
8	学校給食センター	16	1.2
9	財政課	30	2.3
10	その他	125	9.7
11	決まっていない	79	6.1
	無回答	17	1.3
	全体	1,293	100.0

Q28-3食料調達供給_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	632	48.9
2	健康部門	57	4.4
3	福祉部門	111	8.6
4	食料調達部門	127	9.8
5	ボランティア調整部門	18	1.4
6	医療職能団体	7	0.5
7	栄養士会	2	0.2
8	大学・研究機関	1	0.1
9	災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会	27	2.1
10	住民ボランティア組織	11	0.9
11	学校給食センター	23	1.8
12	食品関連事業者	194	15.0
	無回答	377	29.2
	全体	1,293	100.0

Q28-4要配慮者向け_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	367	28.4
2	農政主管課	35	2.7
3	健康づくり主管課	74	5.7
4	福祉主管課	248	19.2
5	住民課・総務課	50	3.9
6	産業・商工主管課	73	5.6
7	学校教育課	1	0.1
8	学校給食センター	8	0.6
9	財政課	15	1.2
10	その他	70	5.4
11	決まっていない	333	25.8
	無回答	19	1.5
	全体	1,293	100.0

Q28-4要配慮者向け_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	508	39.3
2	健康部門	128	9.9
3	福祉部門	270	20.9
4	食料調達部門	85	6.6
5	ボランティア調整部門	15	1.2
6	医療職能団体	5	0.4
7	栄養士会	16	1.2
8	大学・研究機関	0	0.0
9	災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会	48	3.7
10	住民ボランティア組織	6	0.5
11	学校給食センター	13	1.0
12	食品関連事業者	106	8.2
	無回答	479	37.0
	全体	1,293	100.0

Q28-5被災者栄養相談等_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	28	2.2
2	農政主管課	64	4.9
3	健康づくり主管課	774	59.9
4	福祉主管課	151	11.7
5	住民課・総務課	19	1.5
6	産業・商工主管課	0	0.0
7	学校教育課	0	0.0
8	学校給食センター	2	0.2
9	財政課	0	0.0
10	その他	36	2.8
11	決まっていない	200	15.5
	無回答	19	1.5
	全体	1,293	100.0

Q28-5被災者栄養相談等_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	354	27.4
2	健康部門	403	31.2
3	福祉部門	211	16.3
4	食料調達部門	14	1.1
5	ボランティア調整部門	13	1.0
6	医療職能団体	27	2.1
7	栄養士会	89	6.9
8	大学・研究機関	3	0.2
9	災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会	26	2.0
10	住民ボランティア組織	17	1.3
11	学校給食センター	7	0.5
12	食品関連事業者	5	0.4
	無回答	461	35.7
	全体	1,293	100.0

Q28-6避難所食事調査等_A：主な担当部門

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災主管課	107	8.3
2	農政主管課	36	2.8
3	健康づくり主管課	408	31.6
4	福祉主管課	98	7.6
5	住民課・総務課	19	1.5
6	産業・商工主管課	5	0.4
7	学校教育課	8	0.6
8	学校給食センター	6	0.5
9	財政課	3	0.2
10	その他	38	2.9
11	決まっていない	544	42.1
	無回答	21	1.6
	全体	1,293	100.0

Q28-6避難所食事調査等_B：平時からの連携先

No.	カテゴリー名	n	%
1	防災部門	371	28.7
2	健康部門	273	21.1
3	福祉部門	142	11.0
4	食料調達部門	24	1.9
5	ボランティア調整部門	11	0.9
6	医療職能団体	9	0.7
7	栄養士会	47	3.6
8	大学・研究機関	2	0.2
9	災害中間支援組織、NPO法人、社会福祉協議会	22	1.7
10	住民ボランティア組織	9	0.7
11	学校給食センター	11	0.9
12	食品関連事業者	8	0.6
	無回答	631	48.8
	全体	1,293	100.0

Q29被災者の栄養・食生活を支援するにあたり、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請することについて、地域防災計画や栄養・食生活ガイドライン、マニュアル等への記載はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	483	37.4
2	いいえ	797	61.6
	無回答	13	1.0
	全体	1,293	100.0

Q29-1 「1. はい」と回答した場合、どこに応援を要請することとしていますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	都道府県	268	55.5
2	管轄の保健所	149	30.8
3	近隣市町村・区	58	12.0
4	災害協定を結ぶ市町村・区	53	11.0
5	栄養士会	156	32.3
6	施設（病院、福祉施設等）	7	1.4
7	その他	30	6.2
8	特に決めていない	53	11.0
	無回答	2	0.4
	非該当	810	
	全体	483	100.0

Q29-2 「1. はい」と回答した場合、他自治体や関係団体等から管理栄養士又は栄養士の応援を要請する場合、派遣された管理栄養士又は栄養士に、どんな活動を要請しますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難所等の食事摂取状況の調査・評価	225	46.6
2	必要な食品（栄養素）の手配	105	21.7
3	弁当業者等への要請・支援	33	6.8
4	炊き出し団体への支援	93	19.3
5	食品保管場所の整理・確認	91	18.8
6	避難所等での食品衛生助言	242	50.1
7	栄養・食生活支援に必要な情報発信、啓発資料作成	110	22.8
8	避難所等への巡回栄養相談	320	66.3
9	要配慮者用食品の手配・配布	128	26.5
10	派遣管理栄養士の活動調整	58	12.0
11	通常業務の再開計画支援	23	4.8
12	分からない	55	11.4
13	その他	52	10.8
	無回答	5	1.0
	非該当	810	
	全体	483	100.0

Q29-3 Q29で「2. いいえ」と回答した場合、応援を要請しない理由について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	自所属内の管理栄養士・栄養士で十分だと思う	47	5.9
2	受援の受け皿がない（所属に管理栄養士・栄養士の配置なし）	65	8.2
3	どんな活動を支援してもらえるのか分からない	114	14.3
4	どんな活動を要請したらよいのか分からない	146	18.3
5	どこに依頼すればいいのか分からない	110	13.8
6	受援の必要性がない	5	0.6
7	検討自体をしていない	434	54.5
8	その他	119	14.9
	無回答	12	1.5
	非該当	496	
	全体	797	100.0

Q30他自治体や関係団体等からの応援管理栄養士又は栄養士を受け入れるにあたり、平時から準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	受援体制をマネジメントする担当者の明確化	205	15.9
2	フェーズごとの活動計画・マニュアル整備	151	11.7
3	具体的な受援内容と人員配置計画	67	5.2
4	都道府県栄養士会と災害時応援協定の締結	43	3.3
5	関係部署・団体との連絡体制整備	372	28.8
6	その他	395	30.5
	無回答	251	19.4
	全体	1,293	100.0

Q31【Q31、31-1は保健所設置市・特別区のみご回答ください】管理栄養士又は栄養士の被災地への派遣について、平時から派遣体制を整備していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	20	21.7
2	いいえ	71	77.2
	無回答	1	1.1
	非該当	1,201	
	全体	92	100.0

Q31-1「1. はい」と回答した場合、具体的に調整していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	派遣可否名簿の作成	8	40.0
2	DHEAT構成員として調整	5	25.0
3	保健師等帯同チーム構成員として調整	10	50.0
4	都道府県・市町村栄養士も含めて調整	2	10.0
5	JDA-DAT構成員として調整	2	10.0
6	その他	3	15.0
	無回答	0	0.0
	非該当	1,273	
	全体	20	100.0

Q32【Q32、32-1は保健所設置市・特別区のみご回答ください】D24H（災害時保健医療福祉活動支援システム）の周知・活用について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	D24Hの概要について周知	30	32.6
2	D24Hに関する研修を実施	13	14.1
3	D24Hの入力・報告訓練を実施	13	14.1
4	D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施	10	10.9
5	D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施	1	1.1
6	D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施	1	1.1
7	その他	5	5.4
8	特に実施していることはない	53	57.6
	無回答	2	2.2
	非該当	1,201	
	全体	92	100.0

Q32-1Q32で選んだ選択肢番号のうち、「D24Hの周知・活用」に関して、貴自治体の管理栄養士又は栄養士も対象になっているものはどれですか

No.	カテゴリー名	n	%
1	D24Hの概要について周知	19	51.4
2	D24Hに関する研修を実施	10	27.0
3	D24Hの入力・報告訓練を実施	7	18.9
4	D24Hの閲覧・情報集約訓練を実施	5	13.5
5	D24Hを活用した支援の意思決定訓練を実施	0	0.0
6	D24Hを活用し、支援チームの派遣要請訓練を実施	1	2.7
7	その他	2	5.4
8	管理栄養士又は栄養士が対象のものはない	13	35.1
	無回答	0	0.0
	非該当	1,256	
	全体	37	100.0

Q33災害時における栄養・食生活支援活動を円滑に行うため、自治体として整備しているものについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインやマニュアル、手引き等	139	10.8
2	災害時の栄養・食生活支援活動のためのアクションカード	40	3.1
3	その他	42	3.2
4	特に整備しているものはない	1,068	82.6
	無回答	33	2.6
	全体	1,293	100.0

Q33-1Q33で1～3に該当する場合、ガイドライン等を活用する主な対象者は誰ですか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	都道府県栄養士	26	13.5
2	市町村栄養士	167	87.0
3	防災部局	29	15.1
4	食料調達部局	14	7.3
5	病院、施設等栄養士	4	2.1
6	保健医療関係者	19	9.9
7	その他	31	16.1
	無回答	3	1.6
	非該当	1,101	
	全体	192	100.0

Q33-3「4. 特に整備しているものはない」と回答した場合、今後の整備予定はありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	189	17.7
2	無	858	80.3
	無回答	21	2.0
	非該当	225	
	全体	1,068	100.0

Q34キッチンカー、キッチンコンテナなど簡易厨房の整備・予算確保状況について、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	調査回答時点で購入・整備済み	31	2.4
2	令和7年度内に購入予定	29	2.2
3	令和8年度に購入のための予算確保予定	5	0.4
4	令和7～8年度ともに予算確保の予定なし	1,059	81.9
5	災害時に調達可能な事業者と協定締結済	177	13.7
	無回答	28	2.2
	全体	1,293	100.0

Q35災害時の栄養・食生活支援に備えて、平常時に準備していることについて、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	炊き出し訓練の実施	538	41.6
2	賞味期限前の備蓄食料の活用	958	74.1
3	住民対象講演会・研修会の実施	376	29.1
4	調理実習・パッククッキングの実施	233	18.0
5	普及啓発リーフレット等の配布	272	21.0
6	備蓄食品の配布	563	43.5
7	備蓄食品の充実	622	48.1
8	関係者との協定締結	625	48.3
9	マニュアルの作成	111	8.6
10	その他	42	3.2
	無回答	34	2.6
	全体	1,293	100.0

Q36地域住民に対して、家庭備蓄の必要性についての普及啓発を行っていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	1,182	91.4
2	いいえ	96	7.4
	無回答	15	1.2
	全体	1,293	100.0

Q36-1「1. はい」と回答した場合、どのような方法で啓発していますか、あてはまる選択肢番号を記入してください（複数回答可能）

No.	カテゴリー名	n	%
1	広報誌に掲載	689	58.3
2	啓発ちらしの配布	389	32.9
3	講演や研修会等の開催	788	66.7
4	自治体のホームページ	545	46.1
5	インスタグラムなどSNSの活用	91	7.7
6	その他	193	16.3
	無回答	1	0.1
	非該当	111	
	全体	1,182	100.0

被災経験の有無（統合）

No.	カテゴリー名	n	%
1	被災経験有	515	39.8
2	被災経験無	778	60.2
	無回答	0	0.0
	全体	1,293	100.0

令和7年度地域保健総合推進事業 年次報告書

災害時の栄養・食生活支援活動の
マネジメントと連携強化及び災害対応能力の育成

発行：令和8年3月

編集・発行：日本公衆衛生協会

分担事業者 諸岡 歩（兵庫県伊丹健康福祉事務所）

〒664-0898 兵庫県伊丹市千僧 1-51

TEL 072-785-7464 FAX 072-777-4091

E-mail ayumi_morooka@pref.hyogo.lg.jp